

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
三井 由香、白神 俊幸			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	生化学反応の場となる細胞と細胞小器官の構造と機能を理解する。エネルギーATPを産生し、生体成分を作り出す代謝反応が生命活動で果たす役割を理解し、代謝反応での酵素の働きを学ぶ。マクロとミクロの両視点から栄養学の理論を理解し、セルフケアの一つである食事療法の支援において必要となる知識や具体的な指導方法について学ぶ。		
学修目標	1. 細胞の働きを学ぶ。 2. タンパク質、糖質、脂質の性質と働きを学ぶ。 3. タンパク質、糖質、脂質の合成と分解、それに伴うATP合成方法を学ぶ。 4. 酵素の性質と働きを学ぶ。 5. 遺伝子の働きと性質、タンパク質の合成を学ぶ。 6. 人間が健康的な生活を送るために重要な食事や栄養について、疾病との関連に着目して学ぶ。 7. 食事や栄養における看護の役割を学ぶ。		
授業計画	第1回 細胞の働き、細胞内小器官の機能、細胞膜の働き 9/25(木)4限 S201 (担当：三井) 第2回 DNAの働きとタンパク質合成 10/2(木)4限 S201 (担当：三井) 第3回 タンパク質とアミノ酸の性質と働き 10/9(木)4限 S201 (担当：三井) 第4回 糖質の性質と働き 10/16(木)4限 S201 (担当：三井) 第5回 脂質の性質と働き 10/23(木)4限 S201 (担当：三井) 第6回 酵素の性質と働き、糖代謝 10/30(木)4限 S201 (担当：三井) 第7回 タンパク質・アミノ酸代謝、脂質代謝、核酸、ビタミン 11/6(木)4限 S201 (担当：三井) 第8回 食事・栄養の基礎：人間栄養学と看護、栄養素の種類と働き（糖質、脂質、たんぱく質） 11/13(木)4限 S201 (担当：白神) 第9回 食事・栄養の基礎：栄養素の種類と働き（ビタミン、ミネラル、食物繊維、水）、消化・吸収 11/20(木)4限 S201 (担当：白神) 第10回 エネルギー代謝：食品のエネルギー、エネルギーの出納、エネルギー消費 11/27(木)4限 S201 (担当：白神) 第11回 ライフステージと栄養：乳児期～高齢期における栄養 12/4(木)4限 S201 (担当：白神) 第12回 栄養ケアマネジメント：栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養ケア計画、モニタリング、栄養状態の評価・判定 12/11(木)4限 S201 (担当：白神) 第13回 栄養ケアマネジメント：病院食、栄養補給法、経腸栄養製品、循環器疾患の栄養・食事療法 12/18(木)4限 S201 (担当：白神) 第14回 栄養ケアマネジメント：消化器疾患、栄養代謝疾患および腎臓疾患の栄養・食事療法 12/25(木)4限 S201 (担当：白神) 第15回 栄養ケアマネジメント：咀嚼・嚥下障害患者およびがん患者の栄養・食事療法、まとめ 1/8(木)4限 S201 (担当：白神)		
教科書	1. 畠山鎮次 他著：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能②（生化学）第14版 医学書院 2. 小野章史 他著：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能③（栄養学）第13版 医学書院		
参考図書	参考書は指定しない。		
予習・復習内容	三井：講義単元ごとに配る問題プリントを解き、提出すること。その際、講義のノート、教科書を確認しながら解くことで復習となる。その際生じた疑問点は次回質問し、解決してください。 白神：教科書を読んでおき、授業後は配布プリントや補足事項をもとに知識を整理してください。		
成績評価方法	定期試験100%		
履修上の注意	三井：疑問点は教科書で調べる、聞きに来るなど解決して先に進んでください。 白神：分からないときは、まず自ら調べ、そのうえで質問する姿勢を大切にしてください。		

担当教員への連絡方法	三井：E-mail: mitsui.yuka@shitoku.ac.jp 白神：南館事務室へ伝言してください。
授業に関する大学教員以外の実務経験	三井：なし 白神：なし
実務経験と授業科目の関連性	三井：なし 白神：なし
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 （看護師課程） 人体の構造と機能

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	2単位	必修
担当教員			
高山 清茂			
年間授業回数：30回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	看護学を学ぶに当たり、人間はどのようなからだの構造と機能（仕組み）を使って生きているのか、日常生活行動（呼吸すること、食べること、捨てること【排泄】、感じること【感覚機能】、動くこと、眠ること等）を営んでいるのかを理解する。本科目では、からだをつくる基本である各臓器の構造及び機能を学修する。		
学修目標	以下のような日常生活行動は、どのような体の仕組みで行われるのか、説明できる。 1. 呼吸する仕組みを説明できる 2. 食べて消化して吸収し、たくわえる仕組みを説明できる 3. 便の形成と排泄、尿生成と排尿について説明できる 4. 血液、体液が物質や呼吸ガス、pH、浸透圧、水分を一定に保つ必要性和その方法を説明できる 5. 心臓と血管が血圧を保ち、流通を維持する仕組みを説明できる 6. 恒常性維持のための神経性調節について説明できる 7. 脳と脊髄の働きを説明できる 8. ホルモンによる恒常性の調節機構を説明できる 9. ほかの生物が侵入しないように守る仕組み、侵入したら排除できる仕組みを説明できる 10. 動くときの筋収縮の仕組み、運動に際して自律神経とホルモンが、内臓をどのように調節するかを説明できる 11. 眠くなり眠る仕組みを説明できる 12. 子供を作り、産む仕組みを説明できる		
授業計画	第1回	1. 形態機能学のための基礎知識 序論 形・素材（形態、解剖学）から見た人体 4/7(月)1限 S201（担当：高山）	
	第2回	2. 植物性機能 栄養の消化と吸収 1 口・咽頭・食道・腹部消化管の構造と機能 4/7(月)2限 S201（担当：高山）	
	第3回	3. 植物性機能 栄養の消化と吸収 2 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 4/14(月)1限 S201（担当：高山）	
	第4回	4. 植物性機能 血液 血漿と血球 性質とその働き 4/14(月)2限 S201（担当：高山）	
	第5回	5. 植物性機能 呼吸 1 呼吸器の構造 呼吸のメカニズム 4/21(月)1限 S201（担当：高山）	
	第6回	6. 植物性機能 呼吸 2 呼吸の調節機構 4/21(月)2限 S201（担当：高山）	
	第7回	7. 植物性機能 血液循環 1 循環器 血管系 心臓の構造 心臓の拍出機能 4/28(月)1限 S201（担当：高山）	
	第8回	8. 植物性機能 血液循環 2 循環の調節機構 4/28(月)2限 S201（担当：高山）	
	第9回	9. 植物性機能 排泄 1 腎臓・ネフロン構造と機能 5/12(月)1限 S201（担当：高山）	
	第10回	10. 植物性機能 排泄 2 体液の調節と尿の生成 5/12(月)2限 S201（担当：高山）	
	第11回	11. 植物性機能 内臓機能の調節 1 自律神経による調節 5/19(月)1限 S201（担当：高山）	
	第12回	12. 植物性機能 内臓機能の調節 2 内分泌系による調節 5/19(月)2限 S201（担当：高山）	
	第13回	13. 動物性機能 身体支持と運動 骨格筋の収縮メカニズム 6/2(月)1限 S201（担当：高山）	
	第14回	14. 動物性機能 情報の受容と処理 1 ニューロンの構造 6/2(月)2限 S201（担当：高山）	
	第15回	15. 動物性機能 情報の受容と処理 2 ニューロンの興奮と伝導 6/9(月)1限 S201（担当：高山）	
	第16回	16. 動物性機能 脳の構造と機能 1 大脳皮質 大脳辺縁系 大脳基底核 6/9(月)2限 S201（担当：高山）	
	第17回	17. 動物性機能 脳の構造と機能 2 間脳（視床、視床下部） 6/16(月)1限 S201（担当：高山）	
	第18回	18. 動物性機能 脳の構造と機能 3 脳幹（中脳、橋、延髄） 6/16(月)2限 S201（担当：高山）	

	第19回 19. 動物性機能 末梢神経 脳神経と脊髄神経 6/23(月)1限 S201 (担当：高山) 第20回 20. 動物性機能 運動機能と下行伝導路 6/23(月)2限 S201 (担当：高山) 第21回 21. 動物性機能 感覚と上行伝導路 6/30(月)1限 S201 (担当：高山) 第22回 22. 動物性機能 一般感覚 体性感覚 内臓感覚 6/30(月)2限 S201 (担当：高山) 第23回 23. 動物性機能 特殊感覚 視覚 聴覚 平衡覚 味覚 嗅覚 7/7(月)1限 S201 (担当：高山) 第24回 24. 動物性機能 脳の統合機能 I 睡眠 記憶 7/7(月)2限 S201 (担当：高山) 第25回 25. 動物性機能 脳の統合機能 2 中枢神経系の障害 7/14(月)1限 S201 (担当：高山) 第26回 26. 動物性機能 生体防御機構 1 非特異的防御機構 7/14(月)2限 S201 (担当：高山) 第27回 27. 動物性機能 生体防御機構 2 特異的防御機構 免疫機構 7/21(月)1限 S201 (担当：高山) 第28回 28. 動物性機能 生殖と老化 7/21(月)2限 S201 (担当：高山) 第29回 29. 植物性・動物性機能 核酸の構造と働き 7/28(月)1限 S201 (担当：高山) 第30回 30. 植物性・動物性機能 遺伝子の構造と働き 7/28(月)2限 S201 (担当：高山)
教科書	坂井建雄「系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能①解剖生理学」 医学書院
参考図書	初講時に紹介します
予習・復習内容	毎回講義資料を提供します。70分講義した後、講義内容に関する練習問題を課す(20分)。最後に正解を提示。教科書、資料で確認しながら解く。各自よく復習すること。
成績評価方法	期末試験100% 課題を提示してレポート提出を課すこともある
履修上の注意	形態機能学は各単元が独立しているようでいて、実は積み上げ型です。前の学習の理解が次の学習に大きくかわってきます。わからないことがあればそのままにせず、質問などをして理解し、次に進んで下さい
担当教員への連絡方法	Email: takayama@gunma-u.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	群馬大学医学部にて生理学、特に神経生理学を専門として教育と研究を行った。大学教員以外での実務経験はない。
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 人体の構造と機能

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
三井 由香、松石 健太郎、福島 菜奈恵、森泉 哲次			
年間授業回数：30回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	看護学を学ぶに当たり、人間はどのようなからだの構造と機能（仕組み）を使って生きているのか、日常生活行動（呼吸すること、食べること、捨てること【排泄】、感じること【感覚機能】、動くこと、眠ること等）を営んでいるのかを理解する。正常の身体機能・働きをおさえていく。さらに、からだの仕組みが障害された時それが生ずることや、日常生活行動等にどう影響するかを理解する。本科目では、細胞から分化し組織から臓器へと形成されている人体の構造と正常機能を修得する。		
学修目標	ヒトの解剖学、生理学の知識を土台として、看護の専門教育に必要な基礎的な知識、学力、思考力ならびに表現力などの習得を目標とする。更に看護師として必要とされる広範な知識体系への関心を喚起し、幅広い教養と豊かな人間性の育成を図る。 1. 基礎的な人体の正常構造を説明できる。 2. 解剖見学を通して、生命の尊厳・医の倫理について学ぶ。		
授業計画	第1回	1. 解剖生理学のための基礎知識 形・素材（解剖学）と機能（生理学）から見た人体 9/26(金)1限 S201 (担当：三井、松石)	
	第2回	2. 呼吸の働き (1) 呼吸器の構造 9/26(金)2限 S201 (担当：三井、松石)	
	第3回	3. 呼吸の働き (2) 換気の仕組みと呼吸の調節 10/3(金)1限 S201 (担当：三井、松石)	
	第4回	4. 血液の働き (1) 血液と各血球の働き 10/3(金)2限 S201 (担当：三井、松石)	
	第5回	5. 血液の働き (2) 血液凝固と血液型 10/10(金)1限 S201 (担当：三井、松石)	
	第6回	6. 血液の循環とその調節 (1) 循環器の構造 心臓の構造 10/10(金)2限 S201 (担当：三井、松石)	
	第7回	7. 血液の循環とその調節 (2) 心臓の拍出機能 血管 10/17(金)1限 S201 (担当：三井、松石)	
	第8回	8. 血液の循環とその調節 (3) 血圧の調節 リンパとリンパ管 10/17(金)2限 S201 (担当：三井、松石)	
	第9回	9. 栄養素の消化・吸収 (1) 口・咽頭・食道・腹部消化管の構造と機能 10/24(金)1限 S201 (担当：三井、松石)	
	第10回	10. 栄養素の消化・吸収 (2) 消化と吸収、膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 10/24(金)2限 S201 (担当：三井、松石)	
	第11回	11. 尿の生成 (1) 腎臓 排尿路 10/31(金)1限 S201 (担当：三井、松石)	
	第12回	12. 尿の生成 (2) 尿の成分の調節 10/31(金)2限 S201 (担当：三井、松石)	
	第13回	13. 体液の調節 (1) 水の出納と脱水、電解質 11/7(金)1限 S300 (担当：三井、松石)	
	第14回	14. 体液の調節 (2) 酸塩基平衡とその異常 11/7(金)2限 S300 (担当：三井、松石)	
	第15回	15. 体の支持と運動 筋の収縮 11/14(金)1限 S201 (担当：三井、松石)	
	第16回	16. 身体各部の骨格と筋 (1) 骨格 11/14(金)2限 S201 (担当：三井、松石)	
	第17回	17. 身体各部の骨格と筋 (2) 筋 11/21(金)1限 S201 (担当：三井、松石)	
	第18回	18. 神経の構造と機能 11/21(金)2限 S201 (担当：三井、松石)	
	第19回	19. 脊髄と脳 11/28(金)1限 S201 (担当：三井、松石)	
	第20回	20. 脊髄神経と脳神経 11/28(金)2限 S201 (担当：三井、松石)	
	第21回	21. 脳の高次機能	

	12/5(金)1限 S201 (担当：三井、松石) 第22回 22. 特殊感覚 12/5(金)2限 S201 (担当：三井、松石) 第23回 23. 一般感覚 体性感覚 内臓感覚 痛覚 12/12(金)1限 S201 (担当：三井、松石) 第24回 24. 運動機能と下行性伝導路 感覚機能と上行性伝導路 12/12(金)2限 S201 (担当：三井、松石) 第25回 25. 内臓機能の調節 (1) 自律神経系 12/19(金)1限 S201 (担当：三井、松石) 第26回 26. 内臓機能の調節 (2) 内分泌系 ホルモンの化学構造と作用機序 12/19(金)2限 S201 (担当：三井、松石) 第27回 27. 内臓機能の調節 (3) 内分泌系 全身の内分泌腺と内分泌細胞 12/26(金)1限 S201 (担当：三井、松石) 第28回 28. 身体機能の防御と適応 (1) 皮膚の構造と機能 12/26(金)2限 S201 (担当：三井、松石) 第29回 29. 身体機能の防御と適応 (2) 生体の防御機構、体温とその調節 1/9(金)1限 S201 (担当：三井、松石) 第30回 30. 生殖と老化 1/9(金)2限 S201 (担当：三井、松石)
教科書	坂井健雄他編「系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能①解剖生理学」第11版 医学書院
参考図書	三井由香監修「解剖生理学レベルアップテスト50（看護学生のための5分間テスト）」宣広社
予習・復習内容	講義単元ごとに配る問題プリントを解き、提出すること。講義の資料やノート、教科書を確認しながら解くことで復習となる。その際生じた疑問は調べたり質問して解決してください。
成績評価方法	提出課題5%、期末試験95%
履修上の注意	例年形態機能学Ⅱで行っていた解剖見学（2コマ分／担当：福島、森泉）は、2年次に行う予定です。形態機能学Ⅰを復習して講義に臨むこと。形態機能学は各分野独立しているようで実は積み上げ型です。以前の学習の理解が次の学習に大きくかかわってきます。わからないことがあればそのままにせず、質問して、理解して、次に進んでください。
担当教員への連絡方法	三井 Email: mitsui.yuka@shitoku.ac.jp 松石 Email: matsuishi.kentaro@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 （看護師課程） 人体の構造と機能

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
高本 雅哉、齋藤 直人			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	病理では、生理状態の各臓器の構造・機能に係る知識を基に、病的状態での臓器の変化、原因、経過、転帰あるいは死因を学ぶ。さらに、疾病の病態生理を理解するために形態観察に加えて分子レベルでの機能や構造の異常と、個体への影響に関する知識を学修する。		
学修目標	1. 人体の構造と機能において正常から逸脱する場合のさまざまな症状・兆候のメカニズムに共通する現象を理解できる。 2. 人体の構造と機能において正常から逸脱する場合の分類と対処の原則が理解できる。 3. よく遭遇し、かつ重要な症状・兆候の原因・病態生理が理解できる。 4. よく遭遇し、かつ重要な症状・兆候の問診・検査などのポイントがわかる。 5. よく遭遇し、かつ重要な症状・兆候の対応や対処の原則が理解できる。		
授業計画	第1回	I 病理病態論 9/30(火)1限 S201 (担当：高本)	1. 序論、遺伝子異常、細胞傷害・変性と細胞死
	第2回	I 病理病態論 10/7(火)1限 S201 (担当：高本)	2. 遺伝子異常、腫瘍
	第3回	I 病理病態論 10/14(火)1限 S201 (担当：高本)	3. 炎症と修復
	第4回	I 病理病態論 10/21(火)1限 S201 (担当：高本)	4. 循環障害、体液異常
	第5回	I 病理病態論 10/28(火)1限 S201 (担当：高本)	5. 中毒、放射線障害、外傷、感染
	第6回	I 病理病態論 11/4(火)1限 S201 (担当：高本)	6. 血液・造血器の疾患、免疫・アレルギー疾患
	第7回	II 病態症候論 11/11(火)1限 S201 (担当：高本)	7. 内分泌・代謝疾患
	第8回	II 病態症候論 11/18(火)1限 S201 (担当：齋藤)	8. 症候と疾患の関係、序論、痛み、頭痛、胸痛、腹痛、腰背部痛、関節痛
	第9回	II 病態症候論 11/25(火)1限 S201 (担当：齋藤)	9. 高体温、低体温、倦怠感、睡眠障害、皮膚掻痒
	第10回	II 病態症候論 12/2(火)1限 S201 (担当：齋藤)	10. 食欲不振、悪心、嘔吐、体重増加、体重減少、肥満
	第11回	II 病態症候論 12/9(火)1限 S201 (担当：齋藤)	11. 浮腫、脱水、尿量異常、排尿回数の異常、尿所見異常、リンパ節腫脹 ショック
	第12回	II 病態症候論 12/16(火)1限 S201 (担当：齋藤)	12. 意識障害、けいれん、めまい
	第13回	II 病態症候論 12/23(火)1限 S201 (担当：齋藤)	13. 嚔声、呼吸困難、咳嗽、喀痰、咯血、チアノーゼ
	第14回	II 病態症候論 1/6(火)1限 S201 (担当：齋藤)	14. 不整脈、貧血、レイノー症状、感覚過敏、感覚鈍麻、しびれ、運動麻痺、運動失調
	第15回	II 病態症候論 1/13(火)1限 S201 (担当：齋藤)	15. 腹水、腹部膨満、摂食嚥下障害、吐血、下血、下痢、便秘、黄疸
教科書	1. 山内豊明「ナーシンググラフィカ 疾病の成り立ち①病態生理学」 メディカ出版		
参考図書	なし		
予習・復習内容	毎回、教科書の関連する箇所を読んで予習をする。配布したプリントを用い、重要な箇所を復習する		
成績評価方法	定期試験100%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	E-mail:takamoto.masaya@shitoku.ac.jp		
授業に関する大学教員以外の実務経	内科医として臨床経験あり。(齋藤)		

験	
実務経験と授業科目の関連性	臨床経験に基づいて、実臨床を視野に入れた講義を行うことで、学生はより深い理解が可能となる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 （看護師課程） 疾病の成り立ちと回復の促進

講義科目名称： 薬理学

授業コード： 23310

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	必修
担当教員			
若林 雅人、柴田 美恵子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	臨床に応用できる実践薬理を学習する。どうして薬が効くのか（作用機序）、そしてどのような効果を示すか、また副作用はどうか、そのときに看護師として必要な服薬管理の実際について学ぶ。		
学修目標	1. 身体の生理作用に対して、薬物がどのように関与し治療効果を発揮するのか、またどのような副作用に注意する必要があるのか等を講義する。 2. 薬剤の種類や投与経路、対象者の違いによる薬物の体内動態の違い等を理解し、看護師として行う服薬管理について述べるができる。		
授業計画	第1回 薬理学を学ぶにあたって、薬理学の基礎知識 4/7(月)1限 S202 (担当：若林) 第2回 看護業務に必要な薬の知識、抗感染症薬、消毒薬 4/14(月)1限 S202 (担当：若林) 第3回 免疫治療薬、抗アレルギー薬・抗炎症薬 4/21(月)1限 S202 (担当：若林) 第4回 末梢での神経活動に作用する薬物、中枢神経系に作用する薬物 4/28(月)1限 S202 (担当：若林) 第5回 循環器系に作用する薬物 5/12(月)1限 S202 (担当：若林) 第6回 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 5/19(月)1限 S202 (担当：若林) 第7回 物質代謝に作用する薬物、皮膚科用薬・眼科用薬 5/26(月)1限 S202 (担当：若林) 第8回 救急の際に使用される薬物、漢方薬、輸液製剤、 6/2(月)1限 S202 (担当：若林) 第9回 抗がん薬、がん治療に使用される薬物 6/9(月)1限 S202 (担当：若林) 第10回 がん性疼痛に使用される薬物と必要な知識 6/16(月)1限 S202 (担当：若林) 第11回 服薬管理をめぐる現状・社会背景、看護師の役割 6/23(月)1限 S202 (担当：柴田) 第12回 安全な服薬のために必要な知識 6/30(月)1限 S202 (担当：柴田) 第13回 看護師の行う服薬管理 (服薬管理のプロセス) 6/30(月)2限 S202 (担当：柴田) 第14回 看護師の行う服薬管理 (代表的な薬物療法とその看護) 7/7(月)1限 S202 (担当：柴田) 第15回 看護師の行う服薬管理 (服薬に関する患者指導) 7/7(月)2限 S202 (担当：柴田)		
教科書	吉岡充弘 他 「系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進③(薬理学)」 医学書院		
参考図書	参考書は指定しない		
予習・復習内容	授業後に講義内容を復習する		
成績評価方法	期末試験100%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	南館事務室に伝言してください		
授業に関する大学教員以外の実務経験	若林)病院薬剤師として現在勤務している。 柴田)看護師として病棟及び訪問看護において、服薬管理への支援を経験。		
実務経験と授業科目の関連性	上記の実務経験から、薬物の薬理作用のみならず臨床現場における薬物療法の実際を伝えることで、学生はより深い理解が可能となる。		

指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 疾病の成り立ちと回復の促進
-----------	---

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
ミルズ しげ子、今西 亮、小泉 知展、田中 榮司、本郷 実			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	看護学におけるさまざまな対象の病態・診断・治療法に関する知識基盤を構築することを目的とし、主に消化器系、循環器系、呼吸器系を学修する。		
学修目標	1. 消化器系疾患の病態・症状・診断・治療・看護を理解する。 2. 循環器系疾患の病態・症状・診断・治療・看護を理解する。 3. 呼吸器系疾患の病態・症状・診断・治療・看護を理解する。		
授業計画	第1回 消化器の機能と障害 5/12(月)2限 S202 (担当：田中) 第2回 消化器疾患の症状と診断 5/19(月)2限 S202 (担当：田中) 第3回 消化器疾患の診断と治療 5/26(月)2限 S202 (担当：田中) 第4回 消化管疾患の各論 6/2(月)2限 S202 (担当：田中) 第5回 肝胆膵疾患の各論 6/9(月)2限 S202 (担当：田中) 第6回 循環器系の病態・症状・疾患・治療 5/21(水)4限 S202 (担当：本郷) 第7回 循環器系の疾患と治療：心不全・虚血性心疾患 5/21(水)5限 S202 (担当：本郷) 第8回 循環器系の疾患と治療：心筋疾患・先天性心疾患・心臓弁膜症 5/28(水)4限 S202 (担当：本郷) 第9回 循環器系の疾患と治療：不整脈・高血圧 5/28(水)5限 S202 (担当：本郷) 第10回 循環器系の疾患と治療：動脈疾患・静脈疾患 6/4(水)4限 S202 (担当：本郷) 第11回 呼吸器系の病態・症状 6/20(金)4限 S202 (担当：小泉) 第12回 呼吸器系の疾患と治療：気管支喘息・COPD・間質性肺炎 6/20(金)5限 S202 (担当：小泉) 第13回 呼吸器系の疾患と治療：肺がん 6/27(金)4限 S202 (担当：小泉) 第14回 呼吸器系の疾患と治療：肺がん、緩和ケア 6/27(金)5限 S202 (担当：小泉) 第15回 消化器系、循環器系、呼吸器系の看護/まとめ 7/4(金)4限 S202 (担当：ミルズ、今西)		
教科書	看護学テキスト NiCE 病態・疾病治療論【1】～【14】 南江堂 (最新版)		
参考図書	1. 浅野嘉延 「なるほどなっとく！内科学」 南山堂		
予習・復習内容	授業でとりあげられる身体の部位や臓器について既習の形態機能学Ⅰ・Ⅱ、病理・病態生理学を復習して授業に臨むこと		
成績評価方法	定期試験80%、課題20%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	初回時にアナウンスします		
授業に関する大学教員以外の実務経験	各臓器の病態・診断・治療の講義を担当する教員は、専門の診療科で診療業務に従事し、また、従事した経験を有する。看護を担当する看護教員は、看護師として病院に勤務し、患者に対する看護実践の経験を有する。		
実務経験と授業科目の関連性	このことから、看護の対象理解に必要な基本的知識を学修する学生に対して、実践に基づいた知識の教授が可能となる		

指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 疾病の成り立ちと回復の促進
-----------	---

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
林 かおり、今西 亮、金物 壽久、高松 道生、深津 玲子、和食 正久			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	看護学におけるさまざまな対象の病態・診断・治療法に関する知識基盤を構築することを目的とし、主に腎・泌尿器系、脳・神経系、運動器系を学修する。
学修目標	1. 腎・泌尿器系疾患の病態・症状・治療・看護を理解できる。 2. 脳・神経系疾患の病態・症状・治療・看護を理解できる。 3. 運動器系疾患の病態・症状・治療・看護を理解できる。
授業計画	第1回 腎・泌尿器系の病態・症状 4/7(月)2限 S202 (担当：和食) 第2回 腎・泌尿器系の疾患と治療：尿路感染症、前立腺肥大症、神経因性膀胱、ほか 4/14(月)2限 S202 (担当：和食) 第3回 腎・泌尿器系の疾患と治療：前立腺がん、膀胱がん、ほか 4/28(月)2限 S202 (担当：和食) 第4回 脳・神経系の病態・症状：神経診断学、神経症候学 5/9(金)3限 S202 (担当：深津) 第5回 脳・神経系の疾患と治療：脳血管障害 5/9(金)4限 S202 (担当：深津) 第6回 脳・神経系の疾患と治療：神経変性疾患 5/16(金)3限 S202 (担当：深津) 第7回 脳・神経系の疾患と治療：認知症 5/16(金)4限 S202 (担当：深津) 第8回 脳・神経系の疾患と治療：その他の神経疾患 5/23(金)3限 S202 (担当：深津) 第9回 腎・泌尿器系の疾患と治療：糸球体腎炎、腎不全 5/20(火)3限 S202 (担当：高松) 第10回 腎・泌尿器系の疾患と治療：透析療法 5/20(火)4限 S202 (担当：高松) 第11回 運動器系の病態・症状 5/30(金)3限 S202 (担当：金物) 第12回 運動器系の病態・症状 6/6(金)3限 S202 (担当：金物) 第13回 運動器系の疾患と治療：腰痛、椎間板ヘルニア、ほか 6/13(金)3限 S202 (担当：金物) 第14回 運動器系の疾患と治療：骨粗鬆症、サルコペニア、ほか 6/20(金)3限 S202 (担当：金物) 第15回 腎・泌尿器系、脳・神経系、運動器系の看護 6/27(金)3限 S202 (担当：林)
教科書	看護学テキスト NICE 病態・疾病治療論【1】～【14】 南江堂 (最新版)
参考図書	医療情報科学研究所 編「病気がみえるvol.8 腎・泌尿器」メディックメディア
予習・復習内容	授業で扱う身体の部位や臓器について、既習の形態機能学Ⅰ・Ⅱ、病理・病態生理学を復習して授業に臨むこと
成績評価方法	定期試験80%、課題20%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	E-mail: hayashi.kaori@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	各臓器の病態・診断・治療の講義を担当する教員は、専門の診療科で診療業務に従事し、また従事した経験を有する。各疾患における看護を担当する看護教員は、看護師として病院に勤務し、患者に対する看護実践の経験を有する。病院に勤務し、患者に対する看護実践の経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	このことから、看護の対象理解に必要な基本的知識を学修する学生に対して、実践に基づいた知識の教授が可能となる。

指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 疾病の成り立ちと回復の促進
-----------	---

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
ミルズ しげ子、今西 亮、板倉 慈法、高松 道生、浜 善久			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	看護学におけるさまざまな対象の病態・診断・治療法に関する知識基盤を構築することを目的とし、主に血液・造血器系、内分泌系、代謝系、女性生殖器系を学修する。		
学修目標	1. 内分泌系疾患の病態・症状・診断・治療・看護を理解する。 2. 代謝系疾患の病態・症状・診断・治療・看護を理解する（水電解質・酸塩基平衡系の病態・症状・疾患・治療・看護を含む） 3. 血液・造血系疾患の病態・症状・診断・治療・看護を理解する。 4. 乳がんの病態・症状・診断・治療・看護を理解する。		
授業計画	第1回 内分泌系の病態・症状 9/24(水)4限 S202 (担当：浜) 第2回 内分泌系の疾患と治療：脂質異常症 9/24(水)5限 S202 (担当：浜) 第3回 内分泌系の疾患と治療：甲状腺疾患・脳下垂体腫瘍 10/8(水)4限 S202 (担当：浜) 第4回 代謝系の病態・症状 10/8(水)5限 S202 (担当：板倉) 第5回 血液・造血器系の病態・症状 10/21(火)3限 S202 (担当：高松) 第6回 血液・造血器系の疾患と治療：線溶系疾患・血友病・DIC 10/21(火)4限 S202 (担当：高松) 第7回 代謝系の疾患と治療：糖尿病 10/22(水)5限 S202 (担当：板倉) 第8回 代謝系の疾患と治療：糖尿病 11/5(水)5限 S202 (担当：板倉) 第9回 代謝系の疾患と治療：糖尿病 11/18(火)3限 S202 (担当：高松) 第10回 代謝系の疾患と治療：糖尿病 11/18(火)4限 S202 (担当：高松) 第11回 乳がんの病態 11/19(水)4限 S202 (担当：浜) 第12回 乳がんの症状と治療 11/19(水)5限 S202 (担当：浜) 第13回 乳がんの症状と治療・予防 12/10(水)4限 S202 (担当：浜) 第14回 血液・造血器系の疾患と治療：貧血・凝固因子異常症・白血病・リンパ腫 12/16(火)4限 S202 (担当：高松) 第15回 各病態の看護のまとめ 1/7(水)4限 S202 (担当：ミルズ 今西)		
教科書	看護学テキスト NiCe 病態・疾病治療論【1】～【14】 南江堂 (最新版)		
参考図書	1. 浅野嘉延 「なるほどなっとく！内科学」 南山堂 2. 医療情報科学研究所編「病気がみえるvol.3 糖尿病・代謝・内分泌」 メディックメディア		
予習・復習内容	授業でとりあげられる身体の部位や臓器について既習の形態機能学Ⅰ・Ⅱ、病理・病態生理学を復習して授業に臨むこと		
成績評価方法	定期試験80%、課題20%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスします		
授業に関する大学教員以外の実務経験	各臓器の病態・診断・治療の講義を担当する教員は、専門の診療科で診療業務に従事し、また、従事した経験を有する。看護を担当する看護教員は、看護師として病院に勤務し、患者に対する看護実践の経験を有する		

実務経験と授業科目の関連性	看護の対象理解に必要な基本的知識を学修する学生に対して、実践に基づいた知識の教授が可能である
指定規則の位置付け	看護の対象理解に必要な基本的知識を学修する学生に対して、実践に基づいた知識の教授が可能である

講義科目名称： 病態・疾病治療論Ⅳ

授業コード： 23430

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
林 かおり、今西 亮、遊木 正俊、田中 直樹、浅輪 史朗、飯島 富士雄、斉木 実、中島 崇樹、			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	看護学におけるさまざまな対象の病態・診断・治療法に関する知識基盤を構築することを目的とし、主に老年症候群、精神系、眼、耳鼻咽喉、口腔歯科、皮膚を学修する。		
学修目標	1. 老年症候群の病態・症状・治療・看護を理解できる。 2. 精神系疾患の病態・症状・治療・看護を理解できる。 3. 感覚器系疾患の病態・症状・治療・看護を理解できる。		
授業計画	第1回 内科医から見た老年症候群～症状と病態 (1) 10/2(木)4限 S202 (担当：田中) 第2回 内科医から見た老年症候群～症状と病態 (2)、Well-beingのための我々ができること (1) 10/2(木)5限 S202 (担当：田中) 第3回 内科医から見た老年症候群～Well-beingのための我々ができること (2) 10/9(木)5限 S202 (担当：田中) 第4回 精神系の病態・症状 10/1(水)4限 S202 (担当：遊木) 第5回 精神系の疾患と治療：統合失調症 10/1(水)5限 S202 (担当：遊木) 第6回 精神系の疾患と治療：気分障害 10/15(水)4限 S202 (担当：遊木) 第7回 精神系の疾患と治療：神経症、人格障害、摂食障害 10/15(水)5限 S202 (担当：遊木) 第8回 精神系の疾患と治療：依存症、外因性精神障害、知的障害・発達障害 10/22(水)4限 S202 (担当：遊木) 第9回 眼の病態・症状・治療 11/11(火)4限 S202 (担当：飯島) 第10回 耳鼻咽喉の病態・症状 11/25(火)4限 S202 (担当：浅輪) 第11回 耳鼻咽喉の疾患と治療 12/2(火)4限 S202 (担当：浅輪) 第12回 歯・口腔の病態・症状・治療 12/4(木)3限 S202 (担当：中島) 第13回 皮膚の病態・症状・治療：褥瘡 12/8(月)4限 S202 (担当：斎木) 第14回 皮膚の病態・症状・治療 12/8(月)5限 S202 (担当：斎木) 第15回 加齢に伴う高齢者の身体的変化をふまえた看護、Ⅳ全体のまとめ 1/8(木)3限 S202 (担当：林)		
教科書	看護学テキスト NiCE 病態・疾病治療論【1】～【14】 南江堂 (最新版)		
参考図書	1. 中井久夫、山口直彦「看護のための精神医学」医学書院 2. 清水宏「あたらしい皮膚科学」中山書店 3. 宮田和典編「とことん！眼科のベーシック」メディカ出版 4. 落合慈之監修「耳鼻咽喉科疾患ビジュアルブック」学研メディカル秀潤社 5. 池田勝久編「目でみる耳鼻咽喉科疾患」文光堂		
予習・復習内容	授業で扱う身体の部位や臓器について、既習の形態機能学Ⅰ・Ⅱ、病理・病態生理学を復習して授業に臨むこと		
成績評価方法	定期試験80%、課題20%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	E-mail: hayashi.kaori@shitoku.ac.jp		
授業に関する大学教員以外の実務経験	各臓器の病態・診断・治療の講義を担当する教員は、専門の診療科で診療業務に従事し、また従事した経験を有する。各疾患における看護を担当する看護教員は、看護師として病院に勤務し、患者に対する看護実践の経験を有する		

実務経験と授業科目の関連性	このことから、看護の対象理解に必要な基本的知識を学修する学生に対して、実践に基づいた知識の教授が可能となる
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 疾病の成り立ちと回復の促進

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
林 かおり、大井 直往、今西 亮、元山 彩織、高松 道生、小池 健一、小岩井 慶一郎、小泉 知展			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	看護学におけるさまざまな対象の病態・診断・治療法に関する知識基盤を構築することを目的とし、主に小児系、放射線・化学療法、免疫系（アレルギー疾患）、難病の対象疾患について学修する。		
学修目標	1. 小児系の病態・症状・疾患・治療・看護を理解する。 2. 放射線・化学療法対象疾患の病態・症状・疾患・治療・看護を理解する。 3. 免疫系の疾患の病態・症状・疾患・治療・看護を理解する。 4. 難病系疾患の病態・症状・疾患・治療・看護を理解する。		
授業計画	第1回 免疫系アレルギー疾患の病態・症状 4/15(火)3限 S201 (担当：高松) 第2回 免疫系アレルギー疾患の疾患と治療：膠原病・アナフィラキシーショック 4/15(火)4限 S201 (担当：高松) 第3回 運動器系疾病の病態・症状 5/12(月)4限 S201 (担当：大井) 第4回 運動器系疾病の疾患と治療 5/19(月)4限 S201 (担当：大井) 第5回 運動器疾患の中の難病 5/26(月)4限 S201 (担当：大井) 第6回 小児系の病態・疾病・症状 6/2(月)4限 S201 (担当：小池) 第7回 小児系の疾患と治療：感染症（ウイルス感染症・細菌感染症） 6/9(月)4限 S201 (担当：小池) 第8回 小児系の疾患と治療：先天性心疾患・川崎病・ネフローゼ症候群・糸球体腎炎 6/16(月)4限 S201 (担当：小池) 第9回 小児系の疾患と治療：小児がん・染色体異常・代謝性疾患 6/23(月)4限 S201 (担当：小池) 第10回 放射線適応の疾患と治療：対象疾患 7/7(月)4限 S201 (担当：小岩井) 第11回 放射線適応の疾患と治療：治療の特徴・副作用 7/7(月)5限 S201 (担当：小岩井) 第12回 化学療法適応の疾患と治療：対象疾患化学療法、適応の疾患と治療：治療の特徴・副作用 7/9(水)4限 S201 (担当：小泉) 第13回 がんと主な治療：手術療法適応の疾患と治療（呼吸器外科分野） 7/9(水)5限 S201 (担当：小泉) 第14回 小児系の看護・まとめ 7/14(月)4限 S201 (担当：元山) 第15回 各病態についての看護のまとめ 7/21(月)4限 S201 (担当：林、元山)		
教科書	看護学テキスト NiCE 病態・疾病治療論【1】～【14】 南江堂（最新版）		
参考図書	随時紹介をします		
予習・復習内容	授業でとりあげられる身体の部位や臓器について既習の形態機能学Ⅰ・Ⅱ、病理・病態生理学を復習して授業に臨むこと		
成績評価方法	定期試験60%、小テスト30%、課題10%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	初回授業時にアナウンスします		
授業に関する大学教員以外の実務経験	各臓器の病態・診断・治療の講義を担当する教員は、専門の診療科で診療業務に従事し、また、従事した経験を有する。看護を担当する看護教員は、看護師として病院に勤務し、患者に対する看護実践の経験を有する。		
実務経験と授業科目の関連性	このことから、看護の対象理解に必要な基本的知識を学修する学生に対して、実践に基づいた知識の教授が可能となる		

指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 疾病の成り立ちと回復の促進
-----------	---

講義科目名称： 生命倫理

授業コード： 23600

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	看護3年/保健2年	1単位	看護学部 必修/保健科学部 選択
担当教員			
宮島 光志			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	生命倫理が成立した背景や発展の歴史を学び、臨床現場での倫理的葛藤に関する事例検討により、医療行為の倫理的要件を理解する。 生命倫理の基本となる「人権」や「人間の尊厳」について理解を深め、人間性が豊かで創造性に富んだ思考能力と態度を身につける。
学修目標	1. 生命倫理学（医療倫理）に関する基本的な概念や理論を正確に把握し、説明できるようになる 2. 誕生と死をめぐる倫理的な諸問題について、その背景と本質を具体的に指摘できるようになる 3. 理論とアプローチ方法に基づいて、倫理的問題の調整役としての要件を説明できるようになる
授業計画	第1回 (導入) 医療プロフェッショナリズム 5/28(水)3限 S300 (担当：宮島) 第2回 (歴史1) 倫理思想と人権思想の歩み 6/4(水)3限 S300 (担当：宮島) 第3回 (歴史2) 生命倫理と研究倫理の歩み 6/11(水)3限 S300 (担当：宮島) 第4回 (体系1) 生命倫理の四原則と15原則 6/18(水)3限 S300 (担当：宮島) 第5回 (体系2) 各種規範文書の構成と特色 6/25(水)3限 S300 (担当：宮島) 第6回 (事例1) 生命の誕生と心身の統合性 7/2(水)3限 S300 (担当：宮島) 第7回 (事例2) 人生の終焉と生涯の物語り 7/9(水)3限 S300 (担当：宮島) 第8回 (まとめ) 生命倫理の社会実装とSDGs 7/16(水)3限 S300 (担当：宮島)
教科書	教科書は使用せず、毎時間、プリント（講義スライド、予習用の資料を含む）を配付する。
参考図書	「終わりのない生命の物語3：5つのケースで考える生命倫理」DVD全5巻 丸善出版 （講義内のケーススタディで使用するドラマ教材。図書館で視聴可能。） 盛永・松島・小出（編）「いまを生きるための倫理学」丸善出版
予習・復習内容	毎回の授業終了時に課題を具体的に示します（毎回の講義内容をふり返って要点を整理した上で、次回の予習用資料に即して基礎事項の概要をつかんでおく）。
成績評価方法	定期試験70%、課題30%
履修上の注意	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業につき、毎回のケーススタディ（事例検討）に積極的に取り組むこと。
担当教員への連絡方法	初回の授業時にアナウンスする。
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2（作業療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 健康支援と社会保障制度

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	選択
担当教員			
羽田 行男			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	人の心や行動の問題に対して、心理学の知識と技術を用いて、その問題を軽減、解消するために援助することを目的とする。臨床心理学の基本的理論や研究法、発達理論、人格理論、心理査定法や各種心理療法について学習する。		
学修目標	1. 臨床心理学の諸理論についての知識を習得する。 2. 心理アセスメントの基礎について知識を習得し、基本的心理アセスメントを習得する。 3. 心理面接の基礎について知識を習得し、傾聴カウンセリングを軸とした面接技法を習得する。 4. 心理的地域援助について知識を習得し、コンサルテーションを軸とした援助技法を習得する。 5. 心理的研究調査法についての基本知識、スキルを習得する。		
授業計画	第1回 オリエンテーション 9/24(水)3限 S202 (担当：羽田) 第2回 臨床心理学の概要 具体的な事例をもとに 10/1(水)3限 S202 (担当：羽田) 第3回 心理アセスメント 「描画」を介して 10/8(水)3限 S202 (担当：羽田) 第4回 心理アセスメント 「吹き出し」を介して 10/15(水)3限 S202 (担当：羽田) 第5回 心理アセスメント 「反応文」を介して 10/22(水)3限 S202 (担当：羽田) 第6回 心理面接 心理療法から学ぶ (ペア) 10/29(水)3限 S202 (担当：羽田) 第7回 心理面接 心理療法から学ぶ (グループ) 11/5(水)3限 S202 (担当：羽田) 第8回 中間のまとめ 振り返りと質疑応答 11/12(水)3限 S202 (担当：羽田) 第9回 心理臨床事例 「家族」という視点から 11/19(水)3限 S202 (担当：羽田) 第10回 心理臨床事例 「感情」という視点から 11/26(水)3限 S202 (担当：羽田) 第11回 心理臨床事例 「予期」という視点から 12/3(水)3限 S202 (担当：羽田) 第12回 心理臨床事例 「理解」という視点から 12/10(水)3限 S202 (担当：羽田) 第13回 心理臨床事例 「生死」という視点から 12/17(水)3限 S202 (担当：羽田) 第14回 心理的地域支援及び研究調査法 臨床心理学の視点から 12/24(水)3限 S202 (担当：羽田) 第15回 まとめ 本講義のまとめ 質疑応答 1/7(水)3限 S202 (担当：羽田)		
教科書	プリントを配布		
参考図書	エレン・デ・フィッサー「ある特別な患者(That One Patient)」サンマーク出版		
予習・復習内容	予習：配布資料の下読みをする 復習：配布資料の再読し疑問点を抽出する		
成績評価方法	評価配分：振り返りシート50%、課題レポート50%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	事務室に伝言してください		
授業に関する大学教員以外の実務経験	公認心理師・臨床心理士としての実務経験あり		
実務経験と授業科	公立相談機関では教育相談を、公立学校ではカウンセリングを専門に担ってきた		

目の関連性	
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 健康支援と社会保障制度

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
高本 雅哉、今西 亮			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	日々の生活と医療、看護の実際に役立つ微生物、感染症や感染対策の方法について学修する。現代社会の中で人々の生活に影響を及ぼす感染症の特徴を知り人々の健康を守る方法を学ぶ。グローバル化している生活の中で、新興・再興感染症の特徴について知識を深める。		
学修目標	1. 地球上には多くの動植物が生を営んでおり、人間もその中の一つの生き物であることを理解する。 2. 小動物や微生物から身を守るための生体防御機構について理解する。 3. 各種感染症を理解し、その診断、治療、予防について説明できる。 4. 医療関連感染とスタンダードプリコーションについて理解する。		
授業計画	第1回 微生物学総論・感染症の歴史、疫学 9/25(木)3限 S201 (担当：高本) 第2回 微生物学入門：身近な小動物による健康被害 10/2(木)3限 S201 (担当：高本) 第3回 感染と免疫（自然免疫と獲得免疫、液性免疫と細胞性免疫） 10/9(木)3限 S201 (担当：高本) 第4回 細菌感染とウイルス感染 10/16(木)3限 S201 (担当：高本) 第5回 院内感染と市中感染症 10/23(木)3限 S201 (担当：高本) 第6回 さまざまな市中感染症 10/30(木)3限 S201 (担当：高本) 第7回 結核 11/6(木)3限 S201 (担当：高本) 第8回 HIV感染症 11/13(木)3限 S201 (担当：高本) 第9回 真菌感染症、プリオン病 11/20(木)3限 S201 (担当：高本) 第10回 寄生虫感染症 11/27(木)3限 S201 (担当：高本) 第11回 医療関連感染：対策とその歴史、ICTの活動とその役割 12/4(木)3限 S201 (担当：今西) 第12回 医療関連感染：感染経路別感染対策、針刺し事故対策 12/11(木)3限 S201 (担当：今西) 第13回 予防接種と感染症、各種ワクチン 12/18(木)3限 S201 (担当：今西) 第14回 国内と国際保健、次世代に続く感染症の課題 12/25(木)3限 S201 (担当：今西) 第15回 まとめ：院内感染対策における看護師の役割 1/8(木)3限 S201 (担当：今西)		
教科書	田城孝雄、北村聖 著：感染症と生体防御〔三訂版〕 放送大学教育振興会		
参考図書	増澤俊幸 著：感染制御の基本がわかる微生物学・免疫学 羊土社		
予習・復習内容	教科書は2回通読し感染症を理解してください。各論は参考図書で知識を整理すること		
成績評価方法	定期試験100%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	E-mail:takamoto.masaya@shitoku.ac.jp		
授業に関する大学教員以外の実務経験	感染症診療及び病院内感染対策委員会、ICT活動の一員として実務経験を有する教員の協力を得て講義を行う。		
実務経験と授業科目の関連性	上記の実務経験から臨床現場における診療や感染対策の実際を教授することで学生はより深い理解が可能となる		

指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 疾病の成り立ちと回復の促進
-----------	---

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
大井 直住、林 かおり、福谷 保、宮脇 利幸、小林 康子、依田 明子、越智 康詞、島崎 謙治、寺島 さつき、熊本 圭吾			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	病者、患者、障害者、マイノリティ及び健康と病気の概念について理解する。また健康増進や病気を引き起こす様々な要因について理解し、人が健康問題を主体的に解決しながら環境に適応して生きてゆくという視点から、個人と集団の意思決定や行動、責任及びソーシャルキャピタルについて考える。さらに保健・医療・福祉に関わる社会の仕組みや課題を理解するとともに、医療専門職の活動内容と役割について理解する。		
学修目標	1. 病気の捉え方や定義について理解できる 2. 病気を引き起こす様々な要因について理解できる 3. 健康と病気の社会的格差を理解するとともに、適切な健康支援やソーシャルキャピタルの在り方について学ぶ 4. 医療と経済に関する現状と課題について理解できる 5. 保健・医療・福祉を支える社会の仕組みの概要について理解できる 6. 健康支援の専門職と役割、及び連携の重要性について理解できる		
授業計画	第1回 病者、患者、障害者、マイノリティ及び健康と病気、医療の概念 9/30(火)5限 S300 (担当：大井) 第2回 病気を引き起こす要因と健康、医療支援専門職の役割 (医師) 10/7(火)5限 S300 (担当：大井) 第3回 健康と病気の社会学 (健康格差とグローバルヘルスケア) 10/10(金)3限 S300 (担当：越智) 第4回 進化・人類学的視点から見た現代社会の病 10/17(金)3限 S300 (担当：越智) 第5回 家族・福祉・医療の社会学 (包括的ケアシステムへ) 10/24(金)3限 S300 (担当：越智) 第6回 医療と経済 10/24(金)5限 S300 (担当：島崎) 第7回 特別支援教育とマイノリティ (社会モデルを掘り下げる) 10/31(金)3限 S300 (担当：越智) 第8回 人間・看護・倫理 (制度論的精神療法の視点から) 11/7(金)3限 S300 (担当：越智) 第9回 現代社会とケア・福祉・環境 11/14(金)3限 S300 (担当：越智) 第10回 医療・福祉の仕組み 11/18(火)5限 S300 (担当：依田) 第11回 医療支援専門職の役割 (言語聴覚士) 11/25(火)5限 S300 (担当：寺島) 第12回 医療支援専門職の役割 (看護師・保健師・助産師) 12/2(火)5限 S300 (担当：林、依田、小林康) 第13回 医療支援専門職の役割 (理学療法士) 12/9(火)5限 S300 (担当：福谷) 第14回 医療支援専門職の役割 (作業療法士) 12/16(火)5限 S300 (担当：宮脇) 第15回 医療支援専門職の役割 (社会福祉士)、まとめ 12月 未定 S300 (担当：熊本)		
教科書	特に指定しない。		
参考図書	適宜紹介する。		
予習・復習内容	授業終了時に提示する。		
成績評価方法	15回講義のまとめ60%、最終レポート40%		
履修上の注意	なし。		
担当教員への連絡方法	南館事務室へ伝言する。		

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	医療関係職としての実務経験がある。
実務経験と授業科 目の関連性	実務経験を踏まえ事例を交えながら科目を展開することができる。
指定規則の位置付 け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2（作業療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 （保健師課程） 保健医療福祉行政論 別表3 （看護師課程） 健康支援と社会保障制度

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
依田 明子、島崎 謙治、中村 秀一、堀内 和子、松本 あつ子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	保健医療福祉行政の理念、行政の役割と行政活動の目的、根拠に基づく行政活動の展開について学ぶとともに、地域に暮らす人びとを対象とした看護活動および地域保健活動を行ううえで不可欠な法・制度について理解する。		
学修目標	1. わが国の保健医療福祉行政の理念、変遷、行政の仕組み・機能、財政の仕組みについて説明できる。 2. 保健医療福祉行政の組織と地域保健活動について説明できる。 3. 近年の行政、改革の方向を考えながら、それぞれの制度がどのような役割を果たし、どのような課題があるか述べることができる。 4. 保健医療福祉行政と地域保健活動について理解を深め、述べることができる。		
授業計画	第1回 オリエンテーション 保健医療福祉と法の関わりかた 9/30(火)3限 S202 (担当：依田、堀内) 第2回 看護をめぐる法制度 (1) 看護活動に関連する法・制度 10/7(火)3限 S202 (担当：松本) 第3回 社会保障の目的、機能と体系について 10/14(火)3限 S202 (担当：中村) 第4回 社会保障制度、医療保障制度の歴史 10/25(土)1限 S300 (担当：島崎) 第5回 医療制度と医療政策 10/25(土)2限 S300 (担当：島崎) 第6回 医療提供体制と関連法・制度 10/25(土)3限 S300 (担当：島崎) 第7回 保健医療福祉行政の構造 (仕組み、概要) 10/28(火)3限 S202 (担当：中村) 第8回 保健医療福祉財政 11/4(火)3限 S202 (担当：中村) 第9回 老人福祉法と介護保険制度 -措置から契約へ- 11/11(火)3限 S202 (担当：中村) 第10回 公的年金と生活保護制度 -最低生活の保障と生活困窮者の支援- 11/25(火)3限 S202 (担当：中村) 第11回 地域包括ケアシステムと地域共生社会 12/2(火)3限 S202 (担当：中村) 第12回 看護をめぐる法制度 (2) 保健活動に関連する法・制度 12/9(火)3限 S202 (担当：堀内) 第13回 看護をめぐる法制度 (3) 医薬品等医療に関連する法・制度 12/16(火)3限 S202 (担当：堀内) 第14回 看護をめぐる法制度 (4) 労働・生活に関連する法・制度 12/23(火)3限 S202 (担当：堀内) 第15回 まとめ 人々の健康と生活を守る法・制度 1/6(火)3限 S202 (担当：依田、堀内)		
教科書	1. 平林勝正他編 ナーシング・グラフィカ「健康支援と社会保障④看護をめぐる法律と制度」 メディカ出版 2. 厚生労働統計協会 国民衛生の動向 (8月発刊最新版)		
参考図書	適宜資料を配布 必要時に提示します。		
予習・復習内容	事前に授業内容に該当する教科書の箇所を読んで参加すること		
成績評価方法	定期試験 (筆記) 100%		
履修上の注意	保健医療福祉についての時事問題に関心を持ち、授業に参加してください。授業内容の順番は変更する場合があります。		
担当教員への連絡方法	初回の講義で説明します		
授業に関する大学教員以外の実務経験	行政保健師 (都道府県、市町村)、地域保健行政での実務経験あり		

実務経験と授業科目の関連性	行政での経験を踏まえた事例を交えながら科目を展開することができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (保健師課程) 保健医療福祉行政論 別表3 (看護師課程) 健康支援と社会保障制度

講義科目名称： 保健統計学 I

授業コード： 24210

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
井手野 由季			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	保健統計学の基礎知識、標準的な統計手法を学び、保健・医療・福祉に関するデータベースや文献、図書を検索し、利用して、健康課題解決に役立てる力を養う。		
学修目標	1. 保健統計を読み解く資料の見方を学ぶ。 2. 統計資料の解析法について学ぶ。		
授業計画	第1回 データの要約と図示 9/22(月)3限 S202 (担当：井手野) 第2回 代表値と散布度 9/22(月)4限 S202 (担当：井手野) 第3回 統計学的推定 9/29(月)3限 S202 (担当：井手野) 第4回 統計学的仮説検定 9/29(月)4限 S202 (担当：井手野) 第5回 平均の差の検定 10/6(月)3限 S202 (担当：井手野) 第6回 四分表の分析 10/6(月)4限 S202 (担当：井手野) 第7回 相関と回帰 10/20(月)3限 S202 (担当：井手野) 第8回 まとめ これまでの講義のレビュー&質疑応答 10/20(月)4限 S202 (担当：井手野)		
教科書	1. 豊田修一ほか 「看護師・保健師をめざす人のやさしい統計処理 -保健・医療データの活用-」 (2020年) 実教出版		
参考図書	1. 高木廣文ら 「エビデンスのための看護研究の読み方・進め方 EBN BOOKS」 中山書店 2. 佐藤俊哉 「宇宙怪人しまりす 医療統計を学ぶ」 岩波科学ライブラリー 3. 佐藤俊哉 「宇宙怪人しまりす 医療統計を学ぶ 検定の巻」 岩波科学ライブラリー		
予習・復習内容	予習：教科書の該当章を読む、復習：毎回配布のプリントや演習課題の復習		
成績評価方法	評価配分：演習課題 50%、期末試験 50%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	南館事務室に連絡		
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士としての実務経験有り		
実務経験と授業科目の関連性	経験を踏まえ事例を交えながら科目を展開することができる		
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (保健師課程) 保健統計学 別表3 (看護師課程) 健康支援と社会保障制度		

講義科目名称：保健統計学Ⅱ

授業コード：24220

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	選択
担当教員			
井手野 由季			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	健康に関する各種統計資料(人口統計、各種保健・医療・福祉・介護に関する統計や指標)の目的並びに研究調査における統計学の基礎知識、標準的な統計手法を学び、保健・医療・福祉に関するデータベースや文献、図書を検索し、利用して健康課題解決に役立てる力を養う。		
学修目標	1. 保健統計を読み解く資料の見方を学ぶ。 2. データ収集の方法について学ぶ。 3. 各種保健指標の性格と意味について学ぶ。 4. 統計資料の解析法について学ぶ。		
授業計画	第1回 保健統計学の歴史 4/7(月)3限 S201 (担当：井手野) 第2回 調査計画での統計学：系統的誤差と偶然誤差、データ収集における抽出法 4/7(月)4限 S201 (担当：井手野) 第3回 調査計画での統計学：データの特性と尺度、疾病量の尺度と比較の尺度 4/14(月)3限 S201 (担当：井手野) 第4回 調査計画での統計学：計画書・調査票の作成、検出力とサンプルサイズ 4/14(月)4限 S201 (担当：井手野) 第5回 保健統計資料の見方：保健統計の歴史、人口動態統計、人口静態統計 4/21(月)3限 S201 (担当：井手野) 第6回 保健統計資料の見方：出生と人口再生産、死亡および死産死、年齢調整、生命表 4/21(月)4限 S201 (担当：井手野) 第7回 保健統計資料の見方：保健統計調査 基幹統計、その他の統計調査 4/28(月)3限 S201 (担当：井手野) 第8回 まとめ これまでの講義のレビュー&質疑応答 4/28(月)4限 S201 (担当：井手野)		
教科書	1. 豊田修一ほか「看護師・保健師をめざす人のやさしい統計処理 -保健・医療データの活用-」(2020年)実教出版		
参考図書	1. 高木廣文ら「エビデンスのための看護研究の読み方・進め方 EBN BOOKS」中山書店 2. 「国民衛生の動向」一般財団法人厚生労働統計協会		
予習・復習内容	予習：教科書の該当章を読む、復習：毎回配布のプリントや演習課題の復習		
成績評価方法	評価配分：演習課題 50%、期末試験 50%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	南館事務室に連絡		
授業に関する大学教員以外の実務経験	作業療法士としての実務経験有り		
実務経験と授業科目の関連性	経験を踏まえ事例を交えながら科目を展開することができる		
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (保健師課程) 保健統計学 別表3 (看護師課程) 健康支援と社会保障制度		

講義科目名称： 疫学

授業コード： 24100

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
丸井 英二			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	根拠に基づいた看護を实践する基礎となる疫学の知識、疫学データの解釈（因果関係の推定）疫学調査の計画・実施・解析方法について学ぶ。		
学修目標	1. 疫学の基本的な方法論や概念について理解できる。 2. 疫学の指標について理解できる。 3. 疫学研究調査の組み立てが理解できる。 4. 疫学研究の種類を理解できる。 5. 因果関係の評価ができる。		
授業計画	第1回 疫学の基本的概念と方法論 5/8(木)3限 S202 (担当：丸井) 第2回 疫学発展の歴史と現代における展開 5/15(木)3限 S202 (担当：丸井) 第3回 疫学で用いられる指標 (1) さまざまな健康事象とその指標 5/15(木)4限 S202 (担当：丸井) 第4回 疫学で用いられる指標 (2) 疾病量の指標 5/22(木)3限 S202 (担当：丸井) 第5回 疫学で用いられる指標 (3) 比較の指標 5/22(木)4限 S202 (担当：丸井) 第6回 疫学研究調査の組み立て 研究デザイン概論 5/29(木)3限 S202 (担当：丸井) 第7回 疫学研究の種類 (1) 記述疫学 5/29(木)4限 S202 (担当：丸井) 第8回 疫学研究の種類 (2) 分析疫学 コホート研究 6/5(木)3限 S202 (担当：丸井) 第9回 疫学研究の種類 (3) 分析疫学 症例対照研究 6/5(木)4限 S202 (担当：丸井) 第10回 因果関係 バイアス、交絡因子 6/12(木)3限 S202 (担当：丸井) 第11回 疫学データの表現方法 6/12(木)4限 S202 (担当：丸井) 第12回 スクリーニング 6/19(木)3限 S202 (担当：丸井) 第13回 疫学と公衆衛生看護 6/19(木)4限 S202 (担当：丸井) 第14回 まとめ(+倫理について)問題演習 6/26(木)3限 S202 (担当：丸井) 第15回 これまでの学習成果の確認とまとめ 6/26(木)4限 S202 (担当：丸井)		
教科書	1. 丸井英二 「わかる公衆衛生学たのしい公衆衛生学（第2版）」（2023年） 弘文堂 2. 丸井英二 「最新 保健学講座 6 疫学/保健統計」（2016年）メヂカルフレンド社（2についてはデジタル配布します）		
参考図書	1. 厚生労働統計協会 「国民衛生の動向」（最新版） 2. 日本疫学会「疫学辞典」（第5版）日本公衆衛生協会 3. 日本疫学会「はじめて学ぶやさしい疫学～日本疫学会標準テキスト～」(改訂第3版)南江堂		
予習・復習内容	予習：教科書の該当章を読む、復習：毎回配布のプリントやクイズの復習		
成績評価方法	期末試験 100%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	南館事務室に連絡		
授業に関する大学教員以外の実務経	講師は疫学に関する豊富な実務経験を有する		

験	
実務経験と授業科目の関連性	専門分野での豊富な実務経験方学生に理論と実践を伝えることで深い理解が可能となる
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (保健師課程) 疫学 別表3 (看護師課程) 健康支援と社会保障制度

講義科目名称： リハビリテーション概論

授業コード： 24420

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	選択
担当教員			
鈴木 真理子、道木 恭子、福谷 保、宮脇 利幸、春原 るみ、古川 智巳、松下 雅子、倉澤 康之、杉本 穂高			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	理学療法・作業療法の専門性を概括的に学び、特性を理解した上で、リハビリテーション分野における看護の役割を考え、様々な対象に対する包括的リハビリテーションについて学ぶ。		
学修目標	1. リハビリテーションにおける理学療法、作業療法の役割とそれぞれの専門職の特性について説明することができる。 2. チーム医療および他職種との連携において、看護の果たす役割を述べるができる。		
授業計画	第1回 授業ガイダンス 4/9(水)2限 S204 (担当：鈴木) 第2回 リハビリテーション看護概論、運動器系の障害・中枢神経系の障害とリハビリテーション看護 4/9(水)3限 S204 (担当：道木) 第3回 突然「車いす生活」になった私が感じてきたこと、そして伝えたいこと 4/16(水)2限 S204 (担当：道木) 第4回 障害者のセクシュアリティ：グループワーク 4/16(水)3限 S204 (担当：道木) 第5回 障害と家族支援：二分脊椎児の母親の体験談から家族看護を考える 5/21(水)2限 S204 (担当：道木) 第6回 障害と家族支援：グループワーク 5/21(水)3限 S204 (担当：道木) 第7回 精神領域の作業療法 5/26(月)3限 S204 (担当：春原) 第8回 身体領域の作業療法 5/28(水) 2限 S204 (担当：古川) 第9回 発達領域の作業療法 6/2(月)3限 S204 (担当：松下) 第10回 高齢期の作業療法 6/9(月)3限 S204 (担当：宮脇) 第11回 理学療法の教育内容について（概論） 6/16(月)3限 S204 (担当：福谷) 第12回 急性期の離床について 6/23(月)3限 S204 (担当：倉澤) 第13回 演習：ベッド周辺動作と起立 6/30(月)3限 実Ⅰ、実Ⅱ (担当：倉澤、杉本) 第14回 演習：ベッド周辺動作と起立 6/30(月)4限 実Ⅰ、実Ⅱ (担当：倉澤、杉本) 第15回 まとめ 7/7(月)3限 S204 (担当：鈴木)		
教科書	なし（必要時資料を配付します）		
参考図書	必要時提示します		
予習・復習内容	授業で配布した資料を熟読し、必要時自らも調べ、理解を深める努力をして下さい		
成績評価方法	評価配分：課題レポート100%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	初回の授業でアナウンスします		
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当講師はそれぞれ豊富な臨床、教育、研究の実務経験を有する		
実務経験と授業科目の関連性	それぞれの実務経験をもとにリハビリテーション分野での実践を伝えることで、学生はより深い理解が可能となる。		
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 疾病の成り立ちと回復の促進		

講義科目名称： 遺伝学の基礎

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	選択
担当教員			
鈴木 真理子、中村 由唯、古庄 知己			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	遺伝性疾患とは何かを学ぶ。遺伝性疾患の機序・特徴・後世へのつながりを医学的見地を知り、当該患者および家族の現状・影響を知る。その中で遺伝子治療、出生前診断、遺伝子疾患の告知等に関する倫理的問題について考察を深める。患者および家族に対して看護がどのような立場であるべきかを考えていく。
学修目標	1. 遺伝医学の知識を理解し、看護に適用することができる 2. 遺伝に関するさまざまな話題に関心をもち、仲間と議論することができる 3. さまざまな状況における遺伝的課題と看護について考えを述べるることができる
授業計画	第1回 授業ガイダンス 6/23(月)4限 S202 (担当：鈴木) 第2回 遺伝/ゲノム看護に必要な基礎知識 (1) ゲノム・遺伝子の構造と機能 6/30(月)4限 S202 (担当：中村) 第3回 遺伝/ゲノム看護に必要な基礎知識 (2) 家族歴・家系図とリスクアセスメント 7/7(月)3限 S202 (担当：中村) 第4回 遺伝/ゲノム看護の実際 (1) : 成人期 (がん) 7/7(月)4限 S202 (担当：中村) 第5回 遺伝/ゲノム看護の実際 (2) : 成人期 (神経筋疾患) 7/14(月)3限 S202 (担当：中村) 第6回 遺伝/ゲノム看護のまとめ 7/14(月)4限 S202 (担当：中村) 第7回 遺伝・ゲノム医療の定義 7/17(木)4限 S202 (担当：古庄) 第8回 遺伝・ゲノム医療の現状と課題 7/17(木)5限 S202 (担当：古庄)
教科書	有森直子 他編 「遺伝/ゲノム看護」 (2018年) 医歯薬出版
参考図書	必要時提示します
予習・復習内容	授業内容に関する教科書の該当箇所を予め読んでおくこと
成績評価方法	評価配分：課題レポート100%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	初回の授業で説明します
授業に関する大学教員以外の実務経験	講師は遺伝診療に携わる実務経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	専門分野での豊富な実務経験から学生に理論と実践を伝えることで深い理解が可能となる
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 疾病の成り立ちと回復の促進

講義科目名称： 看護学概論NS

授業コード： 50000

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
松本 あつ子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	看護学の主要な概念である人間、環境（社会）、健康、看護の基本的な理論を学習し、各自が看護学について考える土台を形成し、看護実践の基礎力を培う。		
学修目標	1. 看護の本質と倫理を理解する。 2. 看護の対象である人間・生活を理解する。 3. 人びとの健康生活とライフサイクルを理解する。 4. 職業としての看護と看護提供のしくみを理解する。		
授業計画	第1回 看護学概論の学習について(オリエンテーション) 4/11(金)4限 S201 (担当：松本) 第2回 看護の本質と機能 4/18(金)4限 S201 (担当：松本) 第3回 看護の対象者の理解 4/25(金)4限 S201 (担当：松本) 第4回 健康と病気 5/2(金)4限 S201 (担当：松本) 第5回 看護ケアの基本 5/9(金)4限 S201 (担当：松本) 第6回 ライフサイクルと健康 5/16(金)4限 S201 (担当：松本) 第7回 看護実践のための理論 5/23(金)4限 S201 (担当：松本) 第8回 看護における価値と倫理 6/6(金)4限 S201 (担当：松本) 第9回 看護過程という方法論 6/13(金)4限 S201 (担当：松本) 第10回 看護と法 6/20(金)4限 S201 (担当：松本) 第11回 保健医療福祉システム 6/27(金)4限 S201 (担当：松本) 第12回 看護の展開と継続性 7/4(金)4限 S201 (担当：松本) 第13回 看護サービスマネジメント 7/11(金)4限 S201 (担当：松本) 第14回 災害看護 7/18(金)4限 S201 (担当：松本) 第15回 国際看護 7/25(金)4限 S201 (担当：松本)		
教科書	1. 志自岐康子 他編「ナースング・グラフィカ基礎看護学①（看護学概論）第7版」 (2022年) メディカ出版 2. フローレンス・ナイティンゲール著 小玉香津子 他訳 「看護覚え書き 新装版」 (2019年) 日本看護協会出版会		
参考図書	1. ダニエル F. チャンプリス 著、浅野祐子 訳 「ケアの向こう側」 日本看護協会出版会 2. 小西恵美子「看護倫理を考える言葉」 日本看護協会出版		
予習・復習内容	教科書1をもとに「授業内容」に沿った予習・復習をすること		
成績評価方法	評価配分：期末試験100%小グループで実施する意見交換に積極的に参加してください		
履修上の注意	小グループで実施する意見交換に積極的に参加してください		
担当教員への連絡方法	e-mail:matsumoto.atsuko@shitoku.ac.jp		
授業に関する大学教員以外の実務経	病院における看護管理者として教育プログラムを立案し実施した		

験	
実務経験と授業科目の関連性	病院における看護実践を有する。各概念について具体例をあげて解説することで学生の理解を深めることができる
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 基礎看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	3単位	必修
担当教員			
西村 明子、小林 由枝、松石 健太郎、宮越 由賀			
年間授業回数：45回	授業形態：演習		主要授業科目：○
添付ファイル			

授業目標	看護技術の特性を理解し、看護実践に共通するコミュニケーション技法、安全・安楽への配慮、倫理的態度養う。また、対象の安全・安楽・自立を目指した日常生活援助技術の基本的知識を学び、作成した事例を通して看護の対象と看護者の相互行為を展開しながら科学的根拠に基づいた看護技術を習得する。		
学修目標	1. 看護技術の目的や特徴について説明できる。 2. 対象者の安全・安楽・自立を目指した看護技術を提供する看護職者の機能について説明できる。 3. 基本的看護技術の科学的根拠を述べるができる。 4. 日常生活援助技術の科学的根拠を述べるができる。 5. 多様な場における療養生活を支援するための日常生活援助技術の基本を実施できる。 6. 対象者の健康レベルに応じた基本的看護技術を実施するために、知識、技術、態度を統合する姿勢を獲得することができる。		
授業計画	第1回 ガイダンス、看護技術とは何か：看護技術の特徴、看護技術における倫理 9/22(月)2限 実Ⅲ (担当：西村) 第2回 感染予防の技術 (1)：感染と感染予防の基礎的知識、感染源対策と標準予防策 9/22(月)3限 実Ⅲ (担当：小林) 第3回 コミュニケーションの技術 (1)：コミュニケーションとは 9/22(月)4限 実Ⅲ (担当：西村) 第4回 感染予防の技術 (2)：手指衛生、個人防護用具の適用法 (演習) 9/29(月)2限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：小林) 第5～6回 コミュニケーションの技術 (2)：看護におけるコミュニケーション (演習) 9/29(月)3、4限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：西村) 第7回 安全管理の技術：医療・看護における安全の意義、看護事故の構造、事故防止と対策 10/6(月)2限 実Ⅲ (担当：西村) 第8回 環境を整える技術 (1)：環境の諸要素と調整、療養生活における環境の調整 10/6(月)3限 実Ⅲ (担当：宮越) 第9回 活動・運動の援助技術 (1)：活動・運動の基礎的知識、援助の方法、ボディメカニクス 10/6(月)4限 実Ⅲ (担当：松石) 第10回 環境を整える技術 (2)：毛布・シーツ類のたたみ方、ベッドへの置き方 (演習) 10/20(月)2限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：宮越) 第11～12回 環境を整える技術 (3)：環境・ベッドメイキング (演習) 10/20(月)3、4限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：宮越) 第13回 活動・運動の援助技術 (2)：体位変換、運動の援助、褥瘡予防、体位ドレナージ 10/27(月)2限 実Ⅲ (担当：松石) 第14回 活動・運動の援助技術 (3)：車椅子・ストレッチャーの構造、移乗、移送、歩行の援助 10/27(月)3限 実Ⅲ (担当：松石) 第15回 休息・睡眠の援助技術：休息と睡眠の基礎的知識と援助方法 10/27(月)4限 実Ⅲ (担当：宮越) 第16～17回 活動・運動の援助技術 (4)：体位変換、車椅子の移乗・移送、歩行の援助 (演習) 11/10(月)2、3限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：松石) 第18回 活動・運動の援助技術 (5)：ストレッチャー移送 (演習) 11/10(月)4限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：松石) 第19回 排泄の援助技術 (1)：排泄、排尿の基本的知識 11/17(月)2限 実Ⅲ (担当：宮越) 第20回 排泄の援助技術 (2)：オムツ交換・陰部洗浄の実施法 11/17(月)3限 実Ⅲ (担当：宮越) 第21回 清潔・衣生活の援助技術 (1)：清潔の意義、基礎的知識、援助方法 11/17(月)4限 実Ⅲ (担当：小林) 第22回 清潔・衣生活の援助技術 (2)：更衣、ベッドバス、部分浴、シャワー浴、洗髪 11/24(月)2限 実Ⅲ (担当：小林) 第23～24回 排泄の援助技術 (3)：陰部洗浄とオムツ交換 (演習) 11/24(月)3、4限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：宮越) 第25回 看護実践における教育・相談：看護における教育機能、教育・相談の援助方法		

	12/1(月)2限 実Ⅲ (担当：西村) 第26～27回 排泄の援助技術 (4) : ベッド上での排泄の援助 (演習) 12/1(月)3, 4限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：宮越) 第28～30回 清潔・衣生活の援助技術 (3) : ベッドバス (演習) 12/8(月)2～4限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：小林) 第31～33回 清潔・衣生活の援助技術 (4) : 部分浴 (演習) 12/15(月)2～4限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：小林) (担当：小林) 第34～36回 既技術の統合 (1) 日常生活援助技術の確認 (演習)、(2) 事例展開 日常生活援助技術 (演習) 12/22(月)2～4限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：西村) 第37～39回 清潔・衣生活の援助技術 (5) : 洗髪 (演習) 1/5(月)2～4限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：小林) 第40回 既技術の統合 (3) 事例展開 まとめ (演習) 1/14(水)2限 実Ⅲ (担当：西村) 第41～42回 食事・栄養の援助技術 (1) : 食事・栄養摂取の意義と基礎的知識、(2) : 食事・栄養摂取の援助方法と口腔ケア 1/14(水)3, 4限 実Ⅲ (担当：松石) 第43～44回 食事・栄養の援助技術 (3) : 食事の援助、口腔ケア (演習) 1/19(月)2～3限 実Ⅲ (担当：松石) 第45回 授業の振り返り・まとめ 1/19(月)4限 実Ⅲ (担当：西村)
教科書	茂野香おる他 系統看護学講座 専門分野Ⅰ「基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ」 医学書院
参考図書	医療情報科学研究所編「看護がみえるVol.1 基礎看護技術」メディックメディア
予習・復習内容	教科書の該当項目を確認しておくこと
成績評価方法	評価配分：筆記試験40%、課題30%、演習における実技の評価30%の総合評価
履修上の注意	・看護技術は、人間と人間の相互行為によって展開される技術です。自身の日常の生活行動に関心を持ち、専門基礎分野の科目の学修内容と関連づけながら授業に参加しましょう。 ・演習はグループワーク中心です。各自、学習準備状況を整えて授業に参加しましょう。
担当教員への連絡方法	E-mail : nishimura.akiko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当教員は看護師として病院に勤務し、患者に対する看護の実践経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	このことから、日常生活行動を支援する看護技術について、理論と実践に基づいた授業を提供することができ
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 基礎看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	3単位	必修
担当教員			
西村 明子、小林 由枝、松石 健太郎、宮越 由賀			
年間授業回数：45回	授業形態：演習		主要授業科目：○
添付ファイル			

授業目標	看護技術の特性を踏まえ、診療場面において安全・安楽に治療が受けられるように対象を支援するための基本的知識を学ぶ。侵襲的な技術の習得にはトレーニング用モデル等を活用し、作成した事例を通して看護の対象と看護者の相互行為を展開しながら科学的根拠に基づいた看護技術を習得する。		
学修目標	1. 診療に伴う看護技術の基礎的知識について学ぶ。 2. 診療に伴う看護技術の科学的根拠について説明できる。 3. 科学的根拠に基づいた看護技術の援助方法を習得する。 4. 対象の最適な健康状態を生み出すために、科学的根拠に基づいた看護技術を修得する意義を認める。		
授業計画	第1回	ガイダンス、診療に伴う技術 (1) 診療過程における看護技術 (無菌操作) 4/9(水)1限 実Ⅲ (担当：松石)	
	第2回	診療に伴う技術 (2) 滅菌物の取り扱い、滅菌手袋の着脱 4/9(水)2限 実Ⅲ (担当：松石)	
	第3回	創傷管理技術 (1) 創傷処置、止血法、ドレッシング法の基礎知識、種類と適用 4/9(水)3限 実Ⅲ (担当：西村)	
	第4～5回	診療に伴う技術 (3) 無菌操作：滅菌物の取り扱い、滅菌手袋の着脱 (演習) 4/16(水)1、2限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：松石)	
	第6回	創傷管理技術 (2) 創傷処置、止血法、ドレッシング法 (演習) 4/16(水)3限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：小林)	
	第7回	呼吸を整える技術 (1) 呼吸を整える援助の基本、援助の方法、体位の調整 4/23(水)1限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第8～9回	呼吸を整える技術 (2) 酸素吸入方法、(3) 吸引法の実施、援助方法、排痰援助 4/23(水)2、3限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第10回	呼吸を整える技術 (4) ネブライザーを用いた気道内加湿、酸素吸入療法 (演習) 4/30(水)1限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：宮越)	
	第11～12回	呼吸を整える技術 (5) 一時的吸引：吸引・鼻腔・気管内吸引、安楽な姿勢 (演習) 4/30(水)2、3限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：宮越)	
	第13回	検査に伴う技術 (1) 検体の種類と方法 5/7(水)1限 実Ⅲ (担当：松石)	
	第14回	検査に伴う技術 (2) 検体の採取と取扱い (採血法を含む) 5/7(水)2限 実Ⅲ (担当：松石)	
	第15回	検査に伴う技術 (3) 検査に伴う看護の役割、放射線の被ばく対策 5/7(水)3限 S202 (担当：松石)	
	第16回	与薬に伴う技術 (1) 与薬に関する基礎知識 5/14(水)1限 実Ⅲ (担当：松石)	
	第17回	与薬に伴う技術 (2) 与薬法の種類と方法 (経口薬、経皮・外用薬、座薬等) 5/14(水)2限 実Ⅲ (担当：松石)	
	第18回	与薬に伴う技術 (3) 注射法の基礎知識と方法 5/14(水)3限 S202 (担当：松石)	
	第19～21回	検査に伴う技術 (4) 採血法 (演習) 5/21(水)1～3限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：松石)	
	第22回	栄養療法の援助技術 (1) 栄養療法の基礎知識、種類と方法、静脈・経腸栄養法 6/2(月)3限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第23回	栄養療法の援助技術 (2) 栄養療法の実施方法 6/2(月)4限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第24回	排泄の援助技術 (1) 排尿の援助 6/2(月)5限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第25～26回	与薬に伴う技術 (4) 経口薬、経皮・外用薬、座薬の投与 (演習) 6/4(水)1、2限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：松石)	
	第27回	排泄の援助技術 (2) 排便の援助 6/4(水)3限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第28～29回	与薬に伴う技術 (5) 筋肉内注射、皮下注射 (演習)	

	6/11(水)1、2限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：松石) 第30回 症状緩和技術 温熱刺激・寒冷刺激の基礎知識、効用と適用 6/11(水)3限 実Ⅲ (担当：小林) 第31～33回 与薬に伴う技術 (6) 点滴静脈内注射 (演習) 6/18(水)1～3限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：松石) 第34～36回 栄養療法の援助技術 (3) 胃チューブの挿入・温罨法・冷罨法 (演習) 6/25(水)1～3限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：宮越) 第37～39回 排泄の援助技術 (3) グリセリン浣腸、摘便、導尿 (演習) 7/2(水)1～3限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：小林) 第40回 事例展開 (1) 診療に伴う看護技術の援助が必要な患者 事例提示 7/9(水)1限 実Ⅲ (担当：西村) 第41～42回 事例展開 (2) 診療に伴う看護技術の援助が必要な患者 (演習) 7/9(水)2、3限 実Ⅰ・Ⅲ (担当：西村) 第43～44回 事例展開 (3) 診療に伴う看護技術の援助が必要な患者 まとめ (演習) 7/16(水)1、2限 実Ⅲ (担当：西村) 第45回 授業の振り返り・まとめ 7/16(水)3限 実Ⅲ (担当：西村)
教科書	松尾ミヨ子他 「基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ」 ナーシンググラフィカ MCメディカ出版
参考図書	1. 医療情報科学研究所編「看護がみえるVol.1 基礎看護技術」メディックメディア 2. 医療情報科学研究所編「看護がみえるvol.2 臨床看護技術」メディックメディア
予習・復習内容	教科書の該当項目を確認しておくこと
成績評価方法	評価配分：筆記試験60%、課題40%の総合評価
履修上の注意	・看護技術は、人間と人間の相互行為によって展開される技術です。自身の日常の生活行動に関心をもち、専門基礎分野の科目の学修内容と関連づけながら授業に参加しましょう。 ・演習はグループワーク中心です。各自、学習準備状況を整えて授業に参加しましょう。
担当教員への連絡方法	E-mail:nishimura.akiko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当教員は病院勤務経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	担当教員は病院勤務経験を有することから、治療過程における看護技術について、理論と実践に基づいた授業を提供することができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 基礎看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
西村 明子、小林 由枝、松石 健太郎、宮越 由賀			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	対象者の健康状態について、身体的・心理的・社会的な視点から総合的にアセスメントする方法について学ぶ。		
学修目標	1. ヘルスアセスメントに必要な基礎的知識と基本概念を理解することができる。 2. フィジカルアセスメントに必要な物品を適切に使用することができる。 3. 系統的なフィジカルアセスメント技法を習得することができる。 4. 対象の健康状態を心理的・身体的・社会的側面から包括的にアセスメントすることができる。 5. アセスメントした結果をケアにつなげ、適切に・報告・記録することができる。”		
授業計画	第1回	ヘルスアセスメントの目的・意義を理解する。問診の基本（情報収集・健康歴・セルフケア能力・コミュニケーションなど）について理解する。（講義） 9/25(木)1限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：西村）	
	第2回	身体診察（視診・触診・聴診・打診）、バイタルサインの基本について理解し、全身状態の把握ができ記録・報告ができる。（講義・演習） 解する。（講義） 9/25(木)2限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：小林）	
	第3回	身体計測・バイタルサインの測定について演習を通して学ぶ。①体温・呼吸・脈拍測定（演習） 10/2(木)1限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：小林）	
	第4回	バイタルサインの測定について演習を通して学ぶ。②血圧測定（演習） 10/2(木)2限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：小林）	
	第5回	呼吸系のフィジカルアセスメントについて演習を通して学ぶ。（講義・演習） 10/9(木)1限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：西村）	
	第6回	呼吸系のフィジカルアセスメントについて演習を通して学ぶ。（演習） 10/9(木)2限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：西村）	
	第7回	循環器系のフィジカルアセスメントについて演習を通して学ぶ。（講義・演習） 10/16(木)1限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：宮越）	
	第8回	循環器系のフィジカルアセスメントについて演習を通して学ぶ。（演習） 10/16(木)2限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：宮越）	
	第9回	事例を通して（フィジカルアセスメントを活用し、得た情報から患者の状態を把握しケアにつなげる） 10/23(木)1限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：西村、小林、宮越、松石）	
	第10回	事例を通して（フィジカルアセスメントを活用し、得た情報から患者の状態を把握しケアにつなげる） 10/23(木)2限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：西村、小林、宮越、松石）	
	第11回	腹部のフィジカルアセスメントについて演習を通して学ぶ。（講義・演習） 10/30(木)1限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：宮越）	
	第12回	腹部のフィジカルアセスメントについて演習を通して学ぶ。（演習） 10/30(木)2限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：宮越）	
	第13回	頭頸部のフィジカルアセスメントについて演習を通して学ぶ。（講義・演習）経系・筋骨格系のフィジカルアセスメントについて演習を通して学ぶ。（講義・演習） 11/6(木)1限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：松石）	
	第14回	神経系・筋骨格系のフィジカルアセスメントについて演習を通して学ぶ。（講義・演習） 11/6(木)2限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：松石）	
	第15回	技術チェック（バイタルサイン） 11/13(木)1限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：西村、小林、宮越、松石）	
教科書	基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ 第19版（2023年）医学書院		
参考図書	医療情報科学研究所「看護がみえるvol.1.3 フィジカルアセスメント」第1版 メディックメディア		
予習・復習内容	事前学習として、フィジカルアセスメントに関連する形態機能学のレポートを課します。		
成績評価方法	評価配分：期末試験60%、課題40%の総合評価		
履修上の注意	毎回聴診器を持参してください。演習時は、指示がなければユニホーム着用。		
担当教員への連絡方法	E-mail: nishimura.akiko@shitoku.ac.jp		

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	担当教員は病院勤務経験を有する。
実務経験と授業科 目の関連性	担当教員は病院勤務経験を有することから、ヘルスアセスメント技術について、 理論と実践に基づいた授業を提供することができる。
指定規則の位置付 け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 基礎看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
西村 明子、小林 由枝、松石 健太郎、宮越 由賀			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	対象者について、看護者として意図的に情報収集し、看護上の課題・問題点をアセスメントし、適切に看護を展開する方法について学ぶ
学修目標	1. 看護実践における看護過程の意義を説明することができる。 2. 看護過程の基盤になる理論について説明することができる。 3. 健康障害を持つ対象について健康上の問題と看護問題をアセスメントすることができる。 4. 健康障害を持つ事例について事例を用いて看護計画を立案・実施・評価することができる。
授業計画	第1回 看護過程とは/看護過程の構成要素とそのステップ【小テスト①】講義 4/10(木)1限 S300 (担当：西村、小林、宮越、松石) 第2回 アセスメントとは/情報をもつ意味 講義 4/17(木)1限 S300 (担当：西村、小林、宮越、松石) 第3回 事例を通して看護過程を学ぶ (1) 情報の整理とアセスメント、看護問題①講義 4/24(木)1限 S300 (担当：西村、小林、宮越、松石) 第4回 事例を通して看護過程を学ぶ (2) 情報の整理とアセスメント、看護問題②演習 5/1(木)3限 S202, S204 (担当：西村、小林、宮越、松石) 第5回 事例を通して看護過程を学ぶ (3) 情報の整理とアセスメント、看護問題③演習 5/8(木)1限 S300 (担当：西村、小林、宮越、松石) 第6回 事例を通して看護過程を学ぶ (4) 関連図①【小テスト②】講義 5/15(木)1限 S300 (担当：西村、小林、宮越、松石) 第7回 事例を通して看護過程を学ぶ (5) 関連図②演習 5/22(木)1限 S300 (担当：西村、小林、宮越、松石) 第8回 事例を通して看護過程を学ぶ (6) 関連図③演習 5/29(木)1限 ※S202 (担当：西村、小林、宮越、松石) 第9回 事例を通して看護過程を学ぶ (7) 看護目標の設定と看護計画①【小テスト③】講義 6/5(木)1限 S300 (担当：西村、小林、宮越、松石) 第10回 事例を通して看護過程を学ぶ (8) 看護目標の設定と看護計画②演習 6/12(木)1限 S300 (担当：西村、小林、宮越、松石) 第11回 事例を通して看護過程を学ぶ (8) 看護目標の設定と看護計画③演習 6/19(木)1限 S300 (担当：西村、小林、宮越、松石) 第12回 事例を通して看護過程を学ぶ (10) 看護計画の実施と評価①講義 6/26(木)1限 S300 (担当：西村、小林、宮越、松石) 第13回 事例を通して看護過程を学ぶ (11) 看護計画の実施と評価②演習 7/3(木)1限 S300 (担当：西村、小林、宮越、松石) 第14回 事例を通して看護過程を学ぶ (12) ゴードンのデータベースによる展開 講義/演習 7/10(木)1限 S300 (担当：西村、小林、宮越、松石) 第15回 看護診断、まとめ【小テスト④】講義 7/17(木)1限 S300 (担当：西村、小林、宮越、松石)
教科書	松尾ミヨ子他編：基礎看護技術Ⅰ，コミュニケーション/看護の展開/ヘルスアセスメント，メディカ出版。
参考図書	1. ヴァージニア・ヘンダーソン、湯槇ます訳：看護の基本となるもの、日本看護協会出版会 2. 秋葉公子他：看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 第4版、ヌーヴェルヒロカワ 3. ロザリング・アルファロール・ルフィーヴァ、本郷久美子監訳：基本から学ぶ看護過程と看護診断 第7版、医学書院 4. 古橋洋子監修「患者さんの情報収集ガイドブック」メヂカルフレンド社
予習・復習内容	授業に対応した課題を課します
成績評価方法	評価配分：期末試験60%、小テスト40%、の総合評価
履修上の注意	授業中にディスカッションをしますので、積極的に参加してください。質問や疑問はそのままにしないでください。
担当教員への連絡方法	E-mail: nishimura.akiko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経	担当教員は、一般病棟、精神科病棟、ICU、救急救命センターでの実務経験を有する

験	
実務経験と授業科目の関連性	幅広い実務経験により、ヘルスアセスメントの知識と技術を実践的に教授することができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 基礎看護学

講義科目名称： 看護教育論

授業コード： 50400

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	2単位	必修
担当教員			
小林 由枝			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	専門職教育としての看護教育を理解するために、看護教育の歴史の変遷を踏まえて、現状と問題点を考える。准看講師制度、看護教育制度、高度実践看護師制度など看護学教育を取り巻く様々な問題を検討し、今後どのような看護学教育が必要とされるかを考える。さらに、看護職のキャリア開発と継続教育の関連性を考える。		
学修目標	1. 看護教育の歴史と看護教育制度を理解する。 2. 看護教育の現状と課題を理解し、今後どのような看護学教育が必要とされるのかを考える。 3. 臨床における看護教育の実際を知り、看護者個人と組織が担う看護教育の役割を考える。 4. 看護専門職として、反省的实践家としての基礎的能力を身につける。 5. 自身のキャリアプランニングについて検討し、めざす将来像について考えることができる。		
授業計画	第1回	1. 看護教育学とは何か 4/10(木)3限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第2回	実践の学問としての看護学 4/10(木)4限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第3回	看護教育制度 4/17(木)3限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第4回	4. 看護学教育の基盤 ①職業アイデンティティ ②クリティカルシンキング 4/17(木)4限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第5回	看護学教育の基盤 ③リフレクション ④キャリアマネジメントと 4/24(木)3限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第6回	看護学教育の基盤 ⑤自己主導型学習 ⑥ダイバーシティとインクルージョン 4/24(木)4限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第7回	5. カリキュラム ①カリキュラム開発 5/1(木)3限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第8回	カリキュラム ②カリキュラムデザインと評価 5/1(木)4限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第9回	6. 学習理論と学習方法 5/8(木)3限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第10回	7. 臨地実習 ①教育的ケアリングモデル 5/8(木)4限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第11回	臨地実習 ②経験型実習教育 5/15(木)3限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第12回	8. 教育評価 ①教育評価の考え方 5/15(木)4限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第13回	教育評価 ②授業設計と評価 5/22(木)3限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第14回	9. 欧米における看護学教育 5/22(木)4限 実Ⅲ (担当：小林)	
	第15回	まとめ ― 看護教育学を学んで ― 5/29(木)3限 実Ⅲ (担当：小林)	
教科書	グレック美鈴 他 著 「看護学テキストNiCE 看護教育学」 改訂第3版 (2024年) 南江堂		
参考図書	杉森みど里 他著 「看護教育学」 医学書院		
予習・復習内容	予習：教科書の関連箇所を読んでくる		
成績評価方法	評価配分：課題レポート80%、演習課題20%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	南館事務室へ伝言して下さい		
授業に関する大学教員以外の実務経験	看護基礎教育に長年携わっており、学校管理者としてカリキュラムの構築や自己評価・点検等を実施した		
実務経験と授業科	教育経験をもとに学生に具体的に解説することができる		

目の関連性	
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 基礎看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	2単位	必修
担当教員			
横関 祐子、奥野 ひろみ、依田 明子、山本 順子、吉澤 恵子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		主要授業科目：○
添付ファイル			

授業目標	地域・在宅看護の理念、目的、基本的な概念（プライマリ・ヘルスケア、ヘルスプロモーション等）、地域包括ケア・地域包括ケアシステムの基本を学ぶとともに、地域の生活者としての人（個）と家族、ライフサイクルや健康レベルごとの支援ニーズを理解する。また、地域・在宅看護活動の実際を通して、地域における看護職の役割を学ぶ。		
学修目標	1. 地域で生活する人びとを対象とする地域・在宅看護の理念、目的、基本的な概念を述べることができる。 2. 地域看護の対象である、歴史や文化を備えた生活者としての人（個）についての理解を深めることができる 3. 地域で生活する人びとをライフサイクルで捉えたとともに、地域看護の対象とする場と集団の特性を理解することができる 4. 地域および看護職が果たしている役割を理解することができる。 5. ニーズにあった支援のあり方について考察できる。		
授業計画	第1回 全体オリエンテーション 地域・在宅看護学の基本的な概念 9/26(金)3限 S300 (担当：奥野) 第2回 地域の生活者としての人 -ライフサイクルと健康課題 9/26(金)4限 S300 (担当：奥野) 第3回 地域の生活者としての人 -支援対象となる場と集団 10/1(水)3限 S300 (担当：依田) 第4回 地域・在宅看護活動の実際①地域包括支援センター 10/8(水)2限 S300 (担当：横関) 第5回 地域・在宅看護活動の実際②保健所・保健センター 10/8(水)3限 S300 (担当：依田) 第6回 演習① 地域での支援 オリエンテーション 10/15(水)3限 S300 (担当：吉澤) 第7回 演習① グループ・ディスカッション 10/22(水)2限 S300 (担当：吉澤、依田) 第8回 演習① グループ・ディスカッション 10/22(水)3限 S300 (担当：吉澤、依田) 第9回 演習① グループ発表準備 10/29(水)3限 S300 (担当：吉澤、依田) 第10回 演習① グループ発表 11/12(水)2限 S300 (担当：横関、依田、吉澤、山本) 第11回 演習② 地域に暮らす人の個の理解 -聞き書き人のまなざし- 12/12(金)3限 S300 (担当：横関) 第12回 演習② 地域に暮らす人の個の理解 -聞き書き人のまなざし- 12/12(金)4限 S300 (担当：横関) 第13回 演習②「聞き書き」のオリエンテーション 12/17(水)3限 S300 (担当：横関) 第14回 演習② グループ・ディスカッション 1/8(木)1限 S300 (担当：横関、山本) 第15回 演習② 発表とまとめ 地域在宅看護学Ⅰ まとめ 1/8(木)2限 S300 (担当：横関、依田、吉澤、山本)		
教科書	河野あゆみ編・地域・在宅看護論・メヂカルフレンド社 河野あゆみ編・地域・在宅看護論まとめノート・メヂカルフレンド社		
参考図書	適宜、紹介いたします		
予習・復習内容	事前に授業内容に該当する教科書・参考図書・資料を読んで参加すること		
成績評価方法	演習課題・グループ発表・リフレクションペーパー 60%、定期試験（筆記） 40%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	初回授業で連絡します		
授業に関する大学教員以外の実務経	行政機関での訪問指導、高齢者の相談業務経験を有する		

験	
実務経験と授業科目の関連性	経験を踏まえ事例を交えながら科目を展開することができる
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表 3 (看護師課程) 地域・在宅看護論 別表 1 (保健師課程) 個人・家族・集団・組織の支援

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	必修
担当教員			
横関 祐子、山本 順子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	在宅看護の目的・場、基本的な理念を学ぶ。在宅看護の対象者の特性と支援のあり方、並びにその支援の基盤となる制度を学ぶ。さらに、在宅看護における支援方法や多職種・他機関との連携、地域包括ケアシステムについて学ぶ。		
学修目標	1. 在宅看護の目的・場について述べることができる。 2. 在宅看護の対象者の特性とその支援の特性を述べることができる。 3. 在宅ケアを支える制度や社会資源を説明できる。 4. 在宅看護の支援方法（訪問看護、退院調整、リスクマネジメント、医療ケア、ケアマネジメント、倫理的実践）について述べることができる。 5. 在宅ケアにおける多職種・他機関連携を述べることができる。 6. 地域包括ケアについて述べるができる。		
授業計画	第1回 在宅看護の目的と場 4/7(月)3限 実Ⅲ（担当：横関） 第2回 在宅看護の対象：その多様性と家族支援 4/7(月)4限 実Ⅲ（担当：横関） 第3回 在宅看護にかかわる法令・制度とその活用 4/14(月)3限 実Ⅲ（担当：横関） 第4回 在宅療養の支援：訪問看護 4/14(月)4限 実Ⅲ（担当：山本） 第5回 在宅療養の支援：退院調整 4/21(月)3限 実Ⅲ（担当：山本） 第6回 在宅ケアにおける多職種・他機関連携 4/21(月)4限 実Ⅲ（担当：山本） 第7回 在宅におけるリスクマネジメント 4/28(月)3限 実Ⅲ（担当：横関） 第8回 在宅における医療ケア 4/28(月)4限 実Ⅲ（担当：山本） 第9回 訪問看護の実際 5/12(月)3限 実Ⅲ（担当：山本） 第10回 訪問看護の実際 5/12(月)4限 実Ⅲ（担当：横関） 第11回 ケアマネジメントと社会資源の活用 5/19(月)3限 実Ⅱ、実Ⅲ（担当：横関、山本） 第12回 事例検討：在宅看護におけるケアマネジメント 5/19(月)4限 実Ⅱ、実Ⅲ（担当：横関） 第13回 在宅看護における倫理的課題 5/26(月)3限 実Ⅱ、実Ⅲ（担当：横関、山本） 第14回 事例検討：在宅における倫理的課題 5/26(月)4限 実Ⅱ、実Ⅲ（担当：横関、山本） 第15回 まとめ及び訪問看護事例検討 7/7(月)3限 実Ⅲ（担当：横関）		
教科書	河野あゆみ編・地域・在宅看護論・メヂカルフレンド社 河野あゆみ編・地域・在宅看護論まとめノート・メヂカルフレンド社		
参考図書	講義中に適宜示します。		
予習・復習内容	予習：教科書の関連箇所を読んでくる		
成績評価方法	定期試験100%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	yokoseki.yuko@shitoku.ac.jp yamamoto.junko@shitoku.ac.jp		
授業に関する大学教員以外の実務経	担当教員は、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、行政機関での訪問指導、高齢者の相談業務経験を有する。また赤十字健康生活支援講習の指導員として地域の講習会の指導経験の実務経験を有する。		

験	
実務経験と授業科目の関連性	経験を踏まえ事例を交えながら科目を展開することができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (保健師課程) 個人・家族・集団・組織の支援 別表3 (看護師課程) 地域・在宅看護論

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	必修
担当教員			
横関 祐子、山本 順子			
年間授業回数：30回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	地域・在宅看護の基盤となる知識・実践方法および多職種連携の活動の実際を学び、地域の人々、家族、コミュニティの健康を支援する方法を学ぶ。		
学修目標	1. 在宅における具体的な援助技術を習得することができる。 2. 在宅をサポートする他職種との連携の重要性を理解できる。 3. 訪問看護における看護過程の特徴を述べるができる。 4. 事例に沿った看護過程の展開を作成できる。 5. 訪問時のマナーや在宅における感染防止の重要性について理解できる。		
授業計画	第1回	在宅看護学方法論の学習内容と目的。訪問看護の事例展開の概要説明。 4/10(木)1限 実Ⅲ (担当：横関)	
	第2回	訪問看護の事例展開 4/10(木)2限 実Ⅲ (担当：横関、山本)	
	第3回	〔演習〕訪問看護の事例展開 情報整理 (自己ワーク) 4/17(木)1限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：横関、山本)	
	第4回	〔演習〕訪問看護の事例展開 情報整理 (グループワーク) 4/17(木)2限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：横関、山本)	
	第5回	〔演習〕訪問看護の事例展開 総合的機能関連図の説明 4/24(木)1限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：横関、山本)	
	第6回	〔演習〕訪問看護の事例展開 関連図 (自己ワーク) 4/24(木)2限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：横関、山本)	
	第7回	〔演習〕訪問看護の事例展開 関連図 (グループワーク) 5/1(木)1限 S201、S202 (担当：横関、山本)	
	第8回	〔演習〕訪問看護の事例展開 関連図 (グループワーク) 5/1(木)2限 S201、S202 (担当：横関、山本)	
	第9回	〔演習〕在宅における基本的看護技術および留意点 (身体の移動) / 自己学習① 5/7(水)3限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：横関)	
	第10回	〔演習〕在宅における基本的看護技術および留意点 (身体の移動) / 自己学習① 5/7(水)4限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：横関)	
	第11回	〔演習〕在宅における基本的看護技術および留意点 清潔の援助(熱布浴、洗髪) / 自己学習② 5/14(水)3限 実Ⅰ、Ⅲ (担当：横関)	
	第12回	〔演習〕在宅における基本的看護技術および留意点 清潔の援助(熱布浴、洗髪) / 自己学習② 5/14(水)4限 実Ⅰ、Ⅲ (担当：横関)	
	第13回	慢性疾患及び認知症療養者の在宅看護 5/22(木)1限 実Ⅰ、Ⅲ (担当：山本)	
	第14回	在宅における基本的看護技術および留意点 (食事・衣服の交換の援助) 5/22(木)2限 実Ⅰ、Ⅲ (担当：山本)	
	第15回	在宅におけるエンドオブライフケア① (在宅における緩和ケア) 5/29(木)1限 実Ⅲ (担当：横関)	
	第16回	在宅におけるエンドオブライフケア② (遺族への支援、グリーフケア) 5/29(木)2限 実Ⅲ (担当：横関)	
	第17回	精神疾患療養者の在宅看護 6/5(木)1限 実Ⅲ (担当：横関)	
	第18回	在宅におけるケアマネージャーの役割とチームケアの協働・連携 6/5(木)2限 実Ⅲ (担当：横関)	
	第19回	在宅における訪問診療医の役割とチームケアの協働・連携 6/12(木)1限 実Ⅲ (担当：横関)	
	第20回	在宅における理学療法士の役割とチームケアの協働・連携 6/12(木)2限 実Ⅲ (担当：横関)	
	第21回	在宅における言語聴覚士の役割とチームケアの協働・連携 6/19(木)1限 実Ⅲ (担当：横関)	
	第22回	在宅における作業療法士の役割とチームケアの協働・連携	

	6/19(木)2限 実Ⅲ (担当：横関) 第23回 在宅における医療処置（褥瘡、CVポートなど） 6/27(金)3限 S203、実Ⅱ、実Ⅲ (担当：山本) 第24回 在宅における医療処置（褥瘡、CVポートなど） 6/27(金)4限 S203、実Ⅱ、実Ⅲ (担当：山本) 第25回 〔演習〕医療器具装着者の在宅ケア技術（在宅酸素など）/自己学習③ 7/4(金)3限 S300、実Ⅱ、実Ⅲ (担当：横関、山本) 第26回 〔演習〕医療器具装着者の在宅ケア技術（在宅酸素など）/自己学習③ 7/4(金)4限 S300、実Ⅱ、実Ⅲ (担当：横関、山本) 第27回 〔演習〕在宅における基本的看護技術および留意点（訪問時のマナー等）/自己学習④ 7/11(金)3限 S202、実Ⅲ (担当：横関、山本) 第28回 〔演習〕在宅における基本的看護技術および留意点（訪問時のマナー等）/自己学習④ 7/11(金)4限 S202、実Ⅲ (担当：横関、山本) 第29回 まとめ 在宅看護の専門性と今後の課題 7/17(木)1限 実Ⅲ (担当：横関) 第30回 在宅看護論実習に向けて 7/17(木)2限 実Ⅲ (担当：横関)
教科書	河野あゆみ編・地域・在宅看護論・メヂカルフレンド社 河野あゆみ編・地域・在宅看護論まとめノート・メヂカルフレンド社
参考図書	適宜紹介いたします
予習・復習内容	毎回、教科書の指定されたページを読んでもくる
成績評価方法	課題 40%、定期試験 60%
履修上の注意	受講にあたって必ず持参すべきものがあれば明示いたします
担当教員への連絡方法	yokoseki.yuko@shitoku.ac.jp yamamoto.junko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当教員は、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、行政機関での訪問指導、高齢者の相談業務経験を有する。また赤十字健康生活支援講習の指導員として地域の講習会の指導経験の実務経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	経験を踏まえ事例を交えながら、学生とともに考えることができる
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (保健師課程) 個人・家族・集団・組織の支援 別表3 (看護師課程) 地域・在宅看護論

講義科目名称： 成人看護学概論

授業コード： 51000

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	必修
担当教員			
林 かおり			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	成人看護学の基礎となる考え方や態度を養い、病気やストレスの侵襲とそれに対する患者、家族の反応をアセスメントし、侵襲からの保護、侵襲に対する反応を最適化し、回復を促進するための援助を学修する。成人期特有の役割を理解し、予防、治療、家族の支援を学修する。		
学修目標	1. 成人の発達段階における特徴および健康問題の特徴を説明できる。 2. 成人の健康レベル（急性期、慢性期、終末期）の特徴と必要な看護の概要を説明できる。 3. 成人の健康上の問題解決に理論やモデルを活用する仕方がわかる。 4. 自身の生活や健康行動を振り返ることで、健康問題に対する生活調整が必要な成人の体験や反応を理解し、看護について考察できる。		
授業計画	第1回 講義の進め方、成人期にある人の理解 4/8(火)4限 S202 (担当：林) 第2回 成人の発達段階 4/15(火)4限 S202 (担当：林) 第3回 成人期の特徴を理解する 4/22(火)4限 S202 (担当：林) 第4回 成人を取り巻く環境を理解する 4/29(火)4限 S202 (担当：林) 第5回 成人期の健康を理解する 5/6(火)4限 S202 (担当：林) 第6回 成人を対象とした看護援助：患者の意思を尊重した看護 5/13(火)4限 S202 (担当：林) 第7回 健康障害の段階に応じた看護① ヘルスプロモーションと疾病予防・急性期・周手術期看護 5/27(火)4限 S202 (担当：林) 第8回 健康障害の段階に応じた看護② 慢性期疾患看護・リハビリテーション看護・ターミナル期看護 6/3(火)4限 S202 (担当：林) 第9回 健康障害の特徴に応じた看護/治療・処置を受ける患者の看護① 6/10(火)4限 S202 (担当：林) 第10回 健康障害の特徴に応じた看護/治療・処置を受ける患者の看護② 6/17(火)4限 S202 (担当：林) 第11回 多様なケア環境とチーム医療における看護援助：地域で療養する人と家族について 6/24(火)4限 S202 (担当：林) 第12回 チーム医療、多職種連携と看護の役割 7/1(火)4限 S202 (担当：林) 第13回 社会資源の活用・保健・医療・福祉政策について 7/8(火)4限 S202 (担当：林) 第14回 科学的根拠にもとづく看護過程の展開/成人看護学に活用される理論・モデル① 7/15(火)4限 S202 (担当：林) 第15回 成人看護学に活用される理論・モデル②/全体のまとめ 7/15(火)5限 S202 (担当：林)		
教科書	大西和子 藤田佐和編「成人看護学概論」 第3版（2022年） ニューベルヒロカワ		
参考図書	講義内で随時紹介をします		
予習・復習内容	シラバス記載の講義内容、講義内で提出する課題及び自己学習の方法を初回に説明をする		
成績評価方法	評価配分：定期試験80%、レポート20%（指示される講義のまとめについての課題内容）		
履修上の注意	講義内で指定される事項の予習をし受講すること		
担当教員への連絡方法	初回授業日にアナウンスします		
授業に関する大学教員以外の実務経験	形成外科病棟勤務の実務を有する		
実務経験と授業科	座学と実践を結びつけて教授できる		

目の関連性	
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 成人看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
ミルズ しげ子、林 かおり、寺島 公江、今西 亮、中村 あんず			
年間授業回数：30回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	急性期における身体への侵襲および生命の危機的状態にある患者に対するアセスメントの方法を理解し、患者への安全・安楽の確保、重症化の回避、回復促進をするための援助を学修する。さらに、危機的状態にある患者の家族を支えるための考え方を学修する。		
学修目標	1. 疾病や侵襲の治療による身体機能の急激な変化についてのメカニズム、生命や生活に及ぼす影響や心理社会的反応を考え、理解し、説明することができる。 2. 身体機能に急激な変化が起こった急性期の成人の生命と生活を支えるための必要な看護について考えることができる。 3. 救急医療・集中治療を必要とする患者の家族の特徴とその看護の概要について説明することができる。 4. 救急医療・集中治療における倫理的問題と看護の役割について考えることができる。		
授業計画	第1回	授業ガイダンス 導入：成人期における急性期とは？ 急性期：急性増悪、周術期、外傷性など 9/26(金)1限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ)	
	第2回	急性期看護に必要な能力（看護過程・クリティカルシンキング・臨床判断）・急激な状態の変化への対応ショック 9/26(金)2限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ)	
	第3回	周手術期看護①（周手術期看護の概要） 10/3(金)1限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ)	
	第4回	周手術期看護②（術前アセスメント） 10/3(金)2限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ)	
	第5回	周手術期看護③（麻酔による侵襲と生体反応） 10/10(金)1限 S202, 実Ⅲ (担当：中村)	
	第6回	周手術期看護④（様々な麻酔方法と身体への影響：全身麻酔、腰椎麻酔、局所麻酔など） 10/10(金)2限 S202, 実Ⅲ (担当：中村)	
	第7回	周手術期看護⑤（手術による侵襲：様々な術式と身体侵襲） 10/17(金)1限 S202, 実Ⅲ (担当：中村)	
	第8回	周手術期看護⑥（手術室看護の実際） 10/17(金)2限 S202, 実Ⅲ (担当：中村)	
	第9回	周手術期看護⑦（術後合併症①：呼吸、循環） 10/24(金)1限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ)	
	第10回	周手術期看護⑧（術後合併症②：腸管麻痺・DVT・術後感染・術後せん妄・縫合不全・術後疼痛） 10/24(金)2限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ)	
	第11回	周手術期看護⑨（消化器） 10/31(金)1限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ)	
	第12回	周手術期看護⑩（運動器） 10/31(金)2限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ)	
	第13回	周手術期看護⑪（循環器） 11/7(金)1限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ)	
	第14回	周手術期看護⑫（呼吸器・乳腺外科） 11/7(金)2限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ)	
	第15回	周手術期看護演習①（事例展開：消化器疾患の術後のケアを考える） 11/14(金)1限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ、林、羽田、寺島、今西)	
	第16回	周手術期看護演習②（手術を受けた患者のケアの実際：ルート・ドレーン管理、疼痛管理など） 11/14(金)2限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ、林、羽田、寺島、今西)	
	第17回	周手術期看護⑬（回復促進のための看護・退院に向けての看護） 11/21(金)1限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ)	
	第18回	急性・クリティカルの特徴：急性の状態にある患者の身体的、心理的反応 11/21(金)2限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ)	
	第19回	急性・クリティカルの特徴：家族の特徴と家族ケア、多職種連携 11/28(金)1限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ)	
	第20回	救急患者に対する援助：緊急度と重症度、トリアージ 11/28(金)2限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ)	

	第21回 救急患者に対する援助：全身状態のアセスメント 12/5(金)1限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ) 第22回 救急患者に対する援助：急変した患者への対応 12/5(金)2限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ) 第23回 救命救急処置：心肺蘇生の実際と生命維持、人工呼吸器管理 12/12(金)1限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ) 第24回 治療下での看護：呼吸、循環、栄養管理 12/12(金)2限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ) 第25回 集中治療下での看護と早期リハビリテーション 12/19(金)1限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ) 第26回 急性期看護：家族支援・倫理的課題と看護の役割・急性期の看護展開 12/19(金)2限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ) 第27回 演習：クリティカルケアの実際・事例から考えるクリティカルケア② 12/26(金)1限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ、林、羽田、寺島、今西) 第28回 演習：クリティカルケアの実際・事例から考えるクリティカルケア② 12/26(金)2限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ、林、羽田、寺島、今西) 第29回 侵襲的治療（手術以外）や検査を受ける患者への看護 1/9(金)1限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ) 第30回 まとめ 1/9(金)2限 S202, 実Ⅲ (担当：ミルズ)
教科書	1. 雄西智恵美 他著「成人看護学 周手術期看護論」 第3版 ヌーヴェルヒロカワ 2. 佐藤まゆみ 他編「急性期看護Ⅱ・クリティカルケア」 改訂第4版 南江堂
参考図書	1. 鎌倉やよい、深田順子著「周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反応から導く看護」第1版 医学書院 2. 寺町優子編「クリティカルケア看護 理論と臨床への応用」 日本看護協会出版会 3. 林直子 他編「急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護」 南江堂 4. 宇都宮明美 編「誰でもわかる人工呼吸器 ばじめの一步」 照林社 5. 道又元裕 編「ICUケアメソッド クリティカルケア領域の治療と看護」 学研
予習・復習内容	予習内容の詳細については随時伝えますが、講義内容に関連する既習科目（形態機能学、病理病態生理学、病態疾病治療論、薬理学服薬管理論等）の修得内容については予習すること。また小テスト（詳細については初回授業でお知らせします）は正解/不正解だけではなく、問われた内容の理解度を深めるためのツールの1つとして活用すること。
成績評価方法	評価配分：課題レポート：20% 定期試験：80%
履修上の注意	講義内容に関連する既習科目の教科書や資料ならびに本科目での配布資料は持参すること。演習時は原則、実習ユニフォームで参加すること。
担当教員への連絡方法	初回の授業でアナウンスします
授業に関する大学教員以外の実務経験	救命救急センター、手術室での勤務を有する
実務経験と授業科目の関連性	急性期の患者への看護について、実践と理論を結び付けられ、学生の理解に繋げることが可能
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 成人看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	必修
担当教員			
林 かおり、ミルズ しげ子、寺島 公江、今西 亮、小野 章夫			
年間授業回数：30回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	慢性的な健康問題をもつ人・家族が、自律的にセルフケア能力を高め、その人にとって最適な健康状態を継続できるような看護に関連する理論と方法を習得する。現代の生活習慣に伴う疾患の早期発・予防、疾患を持ちながらの生活をしていく対象を理解する。		
学修目標	1. 慢性的な健康問題のある人の特徴を理解することができる。 2. 慢性的な健康問題の特徴から看護上の問題を見出すことができる。 3. 健康維持、増進及び回復に必要な方法について理解をすることができる。 4. 健康状態を維持、増進するための自律・自立的セルフケア支援（患者教育）方法を理解をすることができる。 5. 疾患とその特徴を理解し患者へのセルフケア行動の支援、家族への支援について述べるすることができる。 6. 事例を通して慢性的な健康問題をもつ人及び家族への看護援助について看護展開をすることができる。		
授業計画	第1回	慢性期看護とは：慢性疾患のとらえ方、対象となる人々の特徴 4/10(木)3限 S300、実I（担当：林）	
	第2回	成人の発達課題と慢性疾患の特徴・治療・予防の考え方、慢性期にある人を取り巻く社会、医療環境、社会資源の活用 4/10(木)4限 S300、実I（担当：林）	
	第3回	生活習慣病とは、慢性疾患とその障害 4/17(木)3限 S300、実I（担当：林）	
	第4回	慢性疾患の治療の特徴とその人・家族への理解、慢性期看護で用いられる理論、用語の定義 4/17(木)4限 S300、実I（担当：林）	
	第5回	慢性疾患の急性増悪について：機序、経過、転帰、急性増悪時の特徴と種類 4/24(木)3限 S300、実I（担当：ミルズ）	
	第6回	慢性疾患の急性増悪時と必要な看護：看護師のとるべき行動、援助の手順、観察の基本、慢性疾患の急性増悪時における患者家族への対応 4/24(木)4限 S300、実I（担当：ミルズ）	
	第7回	診断・継続する各種検査・治療：検査への援助方法 5/1(木)3限 S300、実I（担当：今西）	
	第8回	画像の見方とアセスメント、基本的な検査値の読み方 5/1(木)4限 S300、実I（担当：今西）	
	第9回	代表的な慢性疾患の特徴と看護①循環機能障害を持つ患者の看護 5/8(木)3限 S300、実I（担当：林）	
	第10回	代表的な慢性疾患の特徴と看護②代表的な慢性疾患の特徴と看護：栄養摂取・消化機能代謝機能障害を持つ患者の看護 5/8(木)4限 S300、実I（担当：寺島）	
	第11回	代表的な慢性疾患の特徴と看護③脳・神経機能障害を持つ患者の看護 5/15(木)3限 S300、実I（担当：林・今西）	
	第12回	代表的な慢性疾患の特徴と看護④運動機能障害を持つ患者の看護 5/15(木)4限 S300、実I（担当：今西）	
	第13回	回復期・リハビリ期の考え方 5/22(木)3限 S300、実I（担当：今西）	
	第14回	代表的な慢性疾患の特徴と看護⑤慢性的な内部環境をもつ患者の看護 5/22(木)4限 S300、実I（担当：林）	
	第15回	人工透析の基礎知識と看護：透析室での看護、日常生活上の看護 5/29(木)3限 S300、実I（担当：林）	
	第16回	代表的な慢性疾患の特徴⑥排泄機能障害を持つ患者の看護 5/29(木)4限 S300、実I（担当：林）	
	第17回	代表的な慢性疾患の特徴と看護⑦呼吸器疾患を持つ患者の看護 6/5(木)3限 S300、実I（担当：寺島）	
	第18回	ステロイド療法を継続する患者の看護・生体防御機能障害の患者への看護 6/5(木)4限 S300、実I（担当：林・今西）	
	第19回	慢性疾患としてのがん患者、がん患者とその家族の特徴と必要な看護について（痛みのコントロール） 6/12(木)3限 S300、実I（担当：未定）	

	第20回	化学療法を受ける患者の看護/放射線療法を受ける患者の看護 6/12(木)4限 S300、実I (担当：未定)
	第21回	緩和ケア病棟で患者を支える多職種からの視点 6/19(木)3限 S300、実I (担当：林・ミルズ・今西・寺島)
	第22回	緩和ケア病棟の実際の看護、看護師としての関わり方 6/19(木)4限 S300、実I (担当：林・ミルズ・今西・寺島)
	第23回	様々な臨床での看取りについて① 若年性認知症・高齢者の看取り看取りについて 6/26(木)3限 S300、実I (担当：林・小野)
	第24回	様々な臨床での看取りについて② 現代社会の看取りについて (デジタル遺産など) 6/26(木)4限 S300、実I (担当：林・小野)
	第25回	成人看護技術：看護OSCEについて (演習) 7/3(木)3限 S300、実I (担当：林・ミルズ・今西・寺島)
	第26回	成人看護技術：演習の進め方と実際、事例紹介 (演習) 7/3(木)4限 S300、実I (担当：林・ミルズ・今西・寺島)
	第27回	成人看護技術：看護OSCE (演習) 7/10(木)3限 S300、実I (担当：林・ミルズ・今西・寺島)
	第28回	成人看護技術：看護OSCE (演習) 7/10(木)4限 S300、実I (担当：林・ミルズ・今西・寺島)
	第29回	食品モデル、塩分測定の実習から患者指導案作成 7/17(木)3限 S300、実I (担当：林・ミルズ・今西・寺島)
	第30回	慢性期看護の今後の展望・まとめ 7/17(木)4限 S300、実I (担当：林・ミルズ・今西・寺島)
教科書	鈴木志津枝 藤田佐和編集「成人看護学 慢性期看護論」 第3版 (2014年) ヌーベルヒロカワ	
参考図書	随時紹介をします	
予習・復習内容	シラバス記載の講義内容について事前に予習ポイントを伝えます。講義時までには指定される書式でまとめて下さい。2年次修得した成人看護学概論を参考にして下さい。	
成績評価方法	評価配分：定期試験80%、課題20% (提示されるの課題レポート・演習時の課題内容20%)	
履修上の注意	病態・疾病治療論Ⅰ・Ⅱ、形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、薬理学・成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰで使用した教科書、その他の教科書、配布されたプリント類、ノート及び事前課題を持参すること。演習は着脱しやすい服装、動きやすい服装で参加すること。	
担当教員への連絡方法	初回目講義オリエンテーション時にアナウンスします	
授業に関する大学教員以外の実務経験	各担当教員は、看護師として病院に勤務し、患者に対する看護実践の経験を有する	
実務経験と授業科目の関連性	看護の対象理解に必要な基本的知識を学修する学生に対して、実践に基づいた知識の教授が可能となる	
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 成人看護学	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	必修
担当教員			
鈴木 真理子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	加齢による高齢者特有の身体的・心理的・社会的変化を包括的に理解する。また、多様な健康レベルにある高齢者がその人らしく生きるために、地域包括ケアや専門職連携の観点から高齢者を取り巻く課題を考察する。そして、生活機能障害や健康障害をもちながら生活を営む高齢者とその家族に対する老年看護の役割と責任、援助の基本を理解する。		
学修目標	1. 高齢者の健康を支える意義について理解し、説明できる。 2. 加齢が高齢者の身体面・心理面・社会面に及ぼす影響について理解し、説明できる。 3. 多様な健康レベルにある高齢者を包括的に捉える視点を理解し、説明できる。 4. 高齢者を取り巻く保健医療福祉における課題、老年看護の役割と責任、援助の基本について理解し、説明できる。 5. 高齢者を介護する家族への支援とその必要性について理解し、説明できる。		
授業計画	第1回 高齢者の理解と老年看護学（発達課題） 4/10(木)2限 S202（担当：鈴木） 第2回 高齢者の身体的特徴 4/17(木)2限 S202（担当：鈴木） 第3回 高齢者の知的機能・認知機能・心理的特徴 4/24(木)2限 S202（担当：鈴木） 第4回 グループA：高齢者疑似体験 グループB：グループワーク（保健医療福祉制度） 5/1(木)1限 実I、実III（担当：鈴木） 第5回 グループB：高齢者疑似体験 グループA：グループワーク（保健医療福祉制度） 5/1(木)2限 実I、実III（担当：鈴木） 第6回 高齢者の療養生活の支援（社会的特徴） 5/8(木)2限 S202（担当：鈴木） 第7回 家族介護者の生活支援 5/15(木)2限 S202（担当：鈴木） 第8回 老年看護における看護理論 5/22(木)2限 S202（担当：鈴木） 第9回 高齢者のリハビリテーション 5/29(木)2限 S202（担当：鈴木） 第10回 高齢者のヘルスプロモーション—フレイル、サルコペニア、ロコモティブ・シンドローム 6/5(木)2限 S202（担当：鈴木） 第11回 高齢者のヘルスプロモーション—認知症予防 6/12(木)2限 S202（担当：鈴木） 第12回 高齢者の権利擁護 高齢者虐待・身体拘束 6/19(木)2限 S202（担当：鈴木） 第13回 高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア 6/26(木)2限 S202（担当：鈴木） 第14回 高齢者の包括的アセスメント—高齢者総合機能評価（CGA） 7/3(木)2限 S202（担当：鈴木） 第15回 老年看護領域におけるIPW 7/10(木)2限 S202（担当：鈴木）		
教科書	1. 正木治恵他編 「看護学テキストNiCE 老年看護学概論」 改訂第4版 南江堂		
参考図書	1. 水野敏子他編「最新 老年看護学」日本看護協会出版会 2. 北川公子他「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学」医学書院 3. 亀井智子編「新体系看護学全書 老年看護学①（老年看護学概論・老年保健）」メヂカルフレンド社 4. 亀井智子編「新体系看護学全書 老年看護学②（健康障害をもつ高齢者の看護）」メヂカルフレンド社 5. 堀内ふき他編「ナーシング・グラフィカ 老年看護学①（高齢者の健康と障害）」メディカ出版 6. 亀井智子他編「高齢者看護学」中央法規出版 その他、参考図書、参考資料等については随時授業の中で提示する。		
予習・復習内容	提示した教科書を用いて予習し、授業に臨んでください。復習内容は授業で配布した資料を熟読し、疑問点、関心を抱いたことについては、次の授業で質問してください。		
成績評価方法	評価配分：期末試験80%、課題レポート20%による総合評価		

履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	E-mail:suzuki.mariko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	最先端医療を担う医療機関の勤務経験
実務経験と授業科目の関連性	幅広い臨床経験があり、座学と実践を結びつけて教授できる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 老年看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
鈴木 真理子			
年間授業回数：30回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	高齢者の健康増進・疾病予防から意思決定支援に至るまでの連続した健康と生活に焦点を置き、多様な方向から高齢者看護を考え学ぶ		
学修目標	1. 高齢者に生じやすい健康障害や生活機能障害とその予防に向けた援助について理解し、説明できる 2. 高齢者および家族の「できる能力（強み）」に着眼し、その人らしく生きることを支える看護過程を展開できる 3. 高齢者の治療・療養の場の特徴、その場における看護の役割について説明できる 4. 高齢者の尊厳と意思を尊重した看護のあり方について、自分の考えを説明できる 5. 高齢者とその家族を取り巻く環境および倫理的課題について検討することができる		
授業計画	第1回 オリエンテーション 9/30(火)1限 S300 (担当：鈴木) 第2回 高齢者とのコミュニケーション 9/30(火)2限 S300 (担当：鈴木) 第3回 摂食嚥下機能障害をもつ高齢者の看護 10/7(火)1限 S300 (担当：鈴木) 第4回 摂食嚥下機能障害をもつ高齢者の看護 10/7(火)2限 S300 (担当：鈴木) 第5回 高齢者の皮膚排泄ケア 10/14(火)1限 S300 (担当：鈴木) 第6回 高齢者の皮膚排泄ケア 10/14(火)2限 S300 (担当：鈴木) 第7回 せん妄 10/21(火)1限 S300 (担当：鈴木) 第8回 高齢者のせん妄に対する予防ケア 10/21(火)2限 S300 (担当：鈴木) 第9回 老年看護の実践 10/28(火)1限 S300 (担当：鈴木) 第10回 老人看護専門看護師としての活動・役割 10/28(火)2限 S300 (担当：鈴木) 第11回 認知症高齢者への看護 11/4(火)1限 S300 (担当：鈴木) 第12回 認知症高齢者への看護（ご家族・介護者への支援） 11/4(火)2限 S300 (担当：鈴木) 第13回 認知症ケアと日常倫理 11/11(火)1限 S300 (担当：鈴木) 第14回 認知症ケアと日常倫理 11/11(火)2限 S300 (担当：鈴木) 第15回 施設に暮らす高齢者の看護 11/18(火)1限 S300 (担当：鈴木) 第16回 施設に暮らす高齢者の看護 11/18(火)2限 S300 (担当：鈴木) 第17回 高齢者の倫理的課題 11/25(火)1限 S300 (担当：鈴木) 第18回 高齢者の倫理的課題 11/25(火)2限 S300 (担当：鈴木) 第19回 高齢者と薬/感染症 12/2(火)1限 S300 (担当：鈴木) 第20回 急性期病院における高齢者の看護 12/2(火)2限 S300 (担当：鈴木) 第21回 事例を用いた看護展開 12/9(火)1限 S300 (担当：鈴木)		

	第22回 事例を用いた看護展開（グループワークの導入） 12/9(火)2限 S300（担当：鈴木） 第23回 看護展開：事例提示 12/16(火)1限 S300（担当：鈴木） 第24回 看護展開：データベースアセスメント（自己学習） 12/16(火)2限 S300（担当：鈴木） 第25回 看護展開：データベースアセスメント（グループワーク） 12/23(火)1限 S300（担当：鈴木） 第26回 看護展開：関連図（グループワーク） 12/23(火)2限 S300（担当：鈴木） 第27回 看護展開：看護問題の抽出（グループワーク） 1/6(火)1限 S300（担当：鈴木） 第28回 看護展開：看護計画立案 1/6(火)2限 S300（担当：鈴木） 第29回 看護展開：発表 1/13(火)1限 S300（担当：鈴木） 第30回 看護展開：発表・まとめ 1/13(火)2限 S300（担当：鈴木）
教科書	1. 堀内ふき他編「ナースンググラフィカ老年看護学②高齢者看護の実践」メディカ出版
参考図書	1. Jacqueline Kindell著「金子芳洋訳認知症と食べる障害」医歯薬出版株式会社 2. 一般社団法人日本看護協会監修 亀井智子編集「認知症高齢者のチーム医療と看護」中央法規 3. 亀井智子編集「老年看護技術」医学書院 4. 正木治恵、真田弘美編集「老年看護学概論」南江堂 5. 真田弘美、正木治恵編集「老年看護学技術」南江堂 6. 亀井智子編「老年看護学①老年看護学概論・老年保健」メヂカルフレンド社 7. 亀井智子編「老年看護学②健康障害をもつ高齢者の看護」メヂカルフレンド社
予習・復習内容	提示した教科書を用いて予習し、授業に臨んでください。復習内容は授業で配布した資料を熟読し、疑問点、関心を抱いたことについては、次回の授業で質問してください。
成績評価方法	評価配分：期末試験80%、課題レポート20%による総合評価
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	E-mail:suzuki.mariko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	急性期医療を担う医療機関の勤務経験
実務経験と授業科目の関連性	老人看護専門看護師の実務経験があり、臨床現場の経験を踏まえた実践事例を提供できる
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 老年看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
元山 彩織			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		主要授業科目：○
添付ファイル			

授業目標	子どもが健全に発育し、家族とともに健全に発達するために必要な知識・技術・態度を養う。また、社会情勢および子どもと家族を取り巻く法律と保健行政について学ぶ。		
学修目標	1. 子どもの健康状態とヘルスプロモーションについて理解する。 2. 小児と家族の諸統計、児童福祉、母子保健、医療費支援、特別支援教育から子どもを取り巻く環境について理解する。 3. 子どもの権利について説明できる。 4. 小児の成長・発達や生活の特徴を理解し、子どもと家族への生活支援について説明できる。 5. 小児期に生じやすい健康問題とその支援について法律や保健政策を含めて理解する。 6. 子どもの成長・発達や健康を支えるための看護職の役割について説明できる。		
授業計画	第1回 コースオリエンテーション・小児看護の特徴と理念 9/26(金)4限 S202 (担当：元山) 第2回 子どもの健康増進に関する法律や制度（母子保健・学校保健など） 10/3(金)4限 S202 (担当：元山) 第3回 子どもの健康増進に関する法律や制度（感染症予防・予防接種など） 10/10(金)4限 S202 (担当：元山) 第4回 児童虐待の特徴と子どもの権利 10/17(金)4限 S202 (担当：元山) 第5回 児童虐待と看護 10/24(金)4限 S202 (担当：元山) 第6回 子どもの口腔内状況の特徴・う蝕と虐待およびマルトリートメント 10/31(金)4限 S202 (担当：元山) 第7回 子どもの成長と発達（成長発達の原則・発達の評価など） 11/7(金)4限 S202 (担当：元山) 第8回 子どもの成長発達の特徴と健康増進のための看護（新生児～思春期：身体的特徴） 11/14(金)4限 S202 (担当：元山) 第9回 子どもの成長発達の特徴と健康増進のための看護（新生児～思春期：社会的特徴） 11/21(金)4限 S202 (担当：元山) 第10回 子どもの成長発達の特徴と健康増進のための看護（新生児～思春期：心理的特徴） 11/28(金)4限 S202 (担当：元山) 第11回 障害のある子どもと家族の看護（子どもの身体的障害の特徴と在宅医療/看護） 12/5(金)4限 S202 (担当：元山) 第12回 障害のある子どもと家族の看護（子どもの精神障害の特徴とその看護） 12/12(金)4限 S202 (担当：元山) 第13回 障害のある子どもと家族の看護（子どもの発達障害の特徴とその看護） 12/19(金)4限 S202 (担当：元山) 第14回 障害のある子どもと家族の看護（子どもの性同一性障害の特徴とその看護） 12/26(金)4限 S202 (担当：元山) 第15回 まとめ 1/9(金)4限 S202 (担当：元山)		
教科書	1. 系統看護学講座 専門分野 小児看護学[1]小児概看護学論／小児臨床看護総論（2025年）医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論（2025年）医学書院 3. 新体系看護学全書 小児看護学概論/小児保健 （2025年）メヂカルフレンド社		
参考図書	なし。講義毎に資料を配布する。		
予習・復習内容	予習（講義予定箇所のテキストを読み内容を網羅する）復習（成果物を次回講義までに完成させる）		
成績評価方法	本試験70%，講義毎の小テスト10%，成果物20%		
履修上の注意	小テストと成果物は最終講義後に提出。不備あれば再提出。必ず毎回講義終了後に完成させる。		
担当教員への連絡方法	大学Mail Address		
授業に関する大学教員以外の実務経	担当者は小児に関する医療・児童福祉施設等での十分な実務・研究経験がある。これらの実務経験・研究等の知識を総合的に踏まえながら、担当科目授業で教授する。		

験	
実務経験と授業科目の関連性	子どもの成長発達や健康課題に対するIPWの意義を踏まえた総合的アセスメント教育
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程）小児看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	必修
担当教員			
元山 彩織、箕口 ゆう子			
年間授業回数：30回	授業形態：講義 演習		
添付ファイル			

授業目標	さまざま発達段階・健康レベルにある子どもと家族を理解し、解決のための支援・援助について学修する。病気や入院が子どもと家族に与える影響について、小児看護に必要な基礎的知識・技術・態度について、子どもの生活や診療に関する基礎的な援助技術について、急性期・慢性期（在宅支援含む）・終末期における子どもと家族への支援・援助を代表的な疾患により学び、その中で他職種、他機関、地域との連携について学ぶ。子どもと家族を個別的・全人的視点で捉えて小児の看護過程を展開する具体的な方法について学修する。		
学修目標	1. 小児看護に必要な概念（セルフケア、プレパレーション、ストレス・コーピングなど）について理解する。 2. 子どもの発達段階および様々な健康状態に応じた看護援助について理解する。 3. 健康課題が子どもの成長・発達や生活、家族に与える影響について説明できる。 4. 子どもの生活や診療に関する基礎的な援助技術を習得する。 5. 小児各期におけるヘルスアセスメントの技術を習得する。 6. 様々な状況にある子どもの看護について、他職種・他機関との連携を踏まえて学習し、小児看護のあり方について説明できる。		
授業計画	第1回 子どもの成長発達について基礎知識 4/7(月)1限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：元山） 第2回 子どもの健康や病気の認識と発達 4/7(月)2限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：箕口） 第3回 子どもの健康や病気の認識と発達（グループワーク） 4/14(月)1限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：箕口） 第4回 子どもの健康や病気の認識と発達（グループワーク・発表） 4/14(月)2限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：箕口） 第5回 状況別にみる子どもと家族の看護：外来・入院 4/21(月)1限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：箕口） 第6回 状況別にみる子どもと家族の看護：在宅・災害時 4/21(月)2限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：箕口） 第7回 疾病の経過別看護③：急性期・慢性期にある子どもと家族の看護、移行期支援 4/28(月)1限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：箕口） 第8回 疾病の経過別看護④：周手術期・終末期にある子どもと家族の看護 4/28(月)2限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：箕口） 第9回 重症心身障害児の看護 5/12(月)1限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：元山） 第10回 発達障害の子どもの看護 5/12(月)2限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：元山） 第11回 症状を示す子どもの看護①：痛み・呼吸困難・痙攣・発熱 5/19(月)1限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：箕口） 第12回 症状を示す子どもの看護②：下痢・嘔吐・脱水・発疹 5/19(月)2限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：箕口） 第13回 子どものフィジカルアセスメントと技術：バイタルサインズ(演習) 5/26(月)1限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：元山、箕口） 第14回 子どものフィジカルアセスメントと技術：救急蘇生法(演習) 5/26(月)2限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：元山、箕口） 第15回 チャイルドライフスペシャリストの活動(外部講師) 6/2(月)1限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：元山） 第16回 プレパレーションの実践(演習) 6/2(月)2限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：元山、箕口） 第17回 子どもへの検査・治療の説明①(グループワーク) 6/9(月)1限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：元山、箕口） 第18回 子どもへの検査・治療の説明②(グループワーク) 6/9(月)2限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：元山、箕口） 第19回 子どもへの検査・治療の説明③ 発表(ロールプレイ含む) 6/16(月)1限 実Ⅱ、Ⅲ（担当：元山、箕口） 第20回 子どもへの検査・治療の説明③ 発表(ロールプレイ含む)		

	6/16(月)2限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：元山、箕口) 第21回 小児看護に必要な技術：身体計測・経口与薬・採血(固定)(グループワーク) 6/23(月)1限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：元山、箕口) 第22回 小児看護に必要な技術：身体計測・経口与薬・採血(固定)(グループワーク) 6/23(月)2限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：元山、箕口) 第23回 小児看護に必要な技術：鼻腔・口腔吸引・経鼻胃管チューブ挿入・吸入(グループワーク) 6/30(月)1限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：元山、箕口) 第24回 小児看護に必要な技術：鼻腔・口腔吸引・経鼻胃管チューブ挿入・吸入(グループワーク) 6/30(月)2限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：元山、箕口) 第25回 小児看護に必要な技術：発表(ロールプレー)(演習) 7/7(月)1限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：元山、箕口) 第26回 小児看護に必要な技術：発表(ロールプレー)(演習) 7/7(月)2限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：元山、箕口) 第27回 看護過程の展開 グループ(演習) 7/14(月)1限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：元山、箕口) 第28回 看護過程の展開 グループ(演習) 7/14(月)2限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：元山、箕口) 第29回 看護過程の展開 グループ(演習) 7/21(月)1限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：元山、箕口) 第30回 看護過程の展開(発表)(演習) 7/21(月)2限 実Ⅱ、Ⅲ (担当：元山、箕口)
教科書	1. 系統看護学講座 専門分野 小児看護学[1]小児概看護学論／小児臨床看護総論 (2025年) 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論 (2025年) 医学書院 3. 新体系看護学全書 小児看護学概論/小児保健 (2025年) メヂカルフレンド社
参考図書	1. 筒井真優美監修「小児看護学 子どもと家族の示す行動への判断とケア」日総研
予習・復習内容	各授業には予習と復習をして臨みましょう
成績評価方法	期末試験70%、課題30%
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	授業内で周知する
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 人間と生活・社会の理解

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
小林 康子、西村 良平			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		主要授業科目：○
添付ファイル			

授業目標	家族が子どもの誕生をめぐる変化し、新たな関係に移行していく妊娠、分娩、産褥及び育児期に焦点を当て、看護を展開していく上で必要な知識および医学知識について学ぶ。また、セクシュアリティ、リプロダクティブヘルス・ライツの概念を理解するとともに、母性看護学の対象となる人々への支援の考え方や重要性について学ぶ。		
学修目標	1. 妊娠の成立過程と妊娠・分娩・産褥経過の概要および健康を阻害する要因について理解し、述べることができる。 2. 親と子のきずなおよび家族の形成と阻害要因について理解し、説明できる。 3. ハイリスク母子・家族の心理社会的特徴を理解し、必要なケアについて考えられる。 4. 人の性の発達と特有な健康問題および人間関係について理解し、考えられる。 5. 妊娠・出産・子育てに関する社会の仕組みおよび母子保健情報について理解し、説明できる。 6. 母性看護の展開に必要な医学的知識を理解し、述べることができる。 7. 母性看護学の対象および看護の考え方について理解し、述べることができる。		
授業計画	第1回 性と生殖に関わる体の仕組み 9/26(金)3限 S202 (担当：小林) 第2回 妊娠の成立と胎児の環境としての母体 10/3(金)3限 S202 (担当：小林) 第3回 分娩経過と看護の必要性の理解 10/10(金)3限 S202 (担当：小林) 第4回 産褥経過と看護の必要性の理解 10/17(金)3限 S202 (担当：小林) 第5回 親と子のきずな (母子関係・父子関係の成立) 10/24(金)3限 S202 (担当：小林) 第6回 家族の成立と親の役割・母子保健統計 10/31(金)3限 S202 (担当：小林) 第7回 母子保健を支える関係法規と社会の仕組み 11/7(金)3限 S202 (担当：小林) 第8回 リプロダクティブヘルスケア 11/14(金)3限 S202 (担当：小林) 第9回 ハイリスク母子及び家族の心理的特徴と必要な支援 11/21(金)3限 S202 (担当：小林) 第10回 母性看護学の目指すもの 11/28(金)3限 S202 (担当：小林) 第11回 母性看護の展開に必要な医学知識 (妊娠の異常) 12/5(金)3限 S202 (担当：西村) 第12回 母性看護の展開に必要な医学知識 (妊娠の異常) 12/12(金)3限 S202 (担当：西村) 第13回 母性看護の展開に必要な医学知識 (分娩の異常) 12/19(金)3限 S202 (担当：西村) 第14回 母性看護の展開に必要な医学知識 (分娩の異常) 12/26(金)3限 S202 (担当：西村) 第15回 母性看護の展開に必要な医学知識 (不妊症・婦人科疾患) 1/9(金)3限 S202 (担当：西村)		
教科書	1. 森恵美他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ母性看護学①(母性看護学概論)」医学書院 2024年出版 2. 森恵美他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ母性看護学②(母性看護学各論)」医学書院 2024年出版 3. 百枝幹雄 他「NICE看護学テキスト病態・治療13 産科婦人科疾患」改訂第2版 南江堂 2025年出版		
参考図書	1. 医療情報科学研究所「病気がみえる Vol.10 産科」メディックメディア		
予習・復習内容	必要な予習と復習を行うこと		
成績評価方法	レポート40%、期末試験60% 計100点満点の総合点を算出する		
履修上の注意	1～9回の授業は3限に行うが、10～14回の講義は産婦人科医師による講義を予定しており、開始時間が4～5限目となる。なおこの講義では適宜課題レポートや小テストを行う		

担当教員への連絡方法	e-mail:kobayashi.yasuko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	産科病棟での実務経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	助産師としての産科病棟での実務経験を有することから、母子及び家族に対する看護について理論と実践を伝えていくことで、より理解や興味が深まる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 母性看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	必修
担当教員			
小林 康子、ヒー チン ピン、廣間 武彦			
年間授業回数：30回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	妊娠、分娩、産褥及び育児期にある母体の生理的変化と胎児・新生児の成長・発達や胎外生活適応への過程に関する理解を踏まえ、母子及び家族を対象として健康を保持・増進するためのアセスメント及び必要な看護の知識と技術並びに家族成員がそれぞれの役割を遂行し、家族のもつ力を最大限に活かす看護を展開するために必要な知識・技術・態度について学ぶ。		
学修目標	1. 妊娠期における妊婦の生理的変化と心理的変化（家族を含む）およびその関連要因を学ぶと共に、胎児の成長発達とその関連要因について理解し、述べることができる。 2. 妊娠期における母児の健康診査と、母・児・家族の健康維持増進に必要な看護を理解し、述べるができる。 3. 分娩による母児への影響について理解し、安全で快適な出産のために母・児・家族に対して必要な看護を述べるができる。 4. 産褥期における母親の身体的・心理的変化および正常からの逸脱とその関連要因を学ぶと共に、退行性変化、進行性変化に基づく健康診査と必要な看護について述べるができる。 5. 母性・父性意識や母子および家族関係への支援について理解し、考えられる。 6. 新生児における子宮外生活への適応過程とその後の成長・発達について理解し、述べることができる。 7. 新生児の健康診査と発育の評価に基づき、新生児・母親・家族に必要な看護について理解し、述べることができる。 8. 妊娠・出産・子育て期における関係法規と利用できる社会資源について理解し、説明できる。		
授業計画	第1回 妊娠期の身体的特性 4/11(金)1限 S300、実Ⅱ（担当：小林） 第2回 妊娠期の心理・社会的特徴 4/11(金)2限 S300、実Ⅱ（担当：小林） 第3回 妊婦と胎児のアセスメント 4/18(金)1限 S300、実Ⅱ（担当：小林） 第4回 妊婦と家族の看護 4/18(金)2限 S300、実Ⅱ（担当：小林） 第5回 分娩期の要素と分娩経過 4/25(金)1限 S300、実Ⅱ（担当：小林） 第6回 産婦・胎児、家族のアセスメント 4/25(金)2限 S300、実Ⅱ（担当：小林） 第7回 産婦と家族の看護 5/2(金)1限 S300、実Ⅱ（担当：小林） 第8回 分娩期の看護の実際 5/2(金)2限 S300、実Ⅱ（担当：Hii） 第9回 産褥期の身体的・心理的変化、母親・父親役割と家族の発達 5/9(金)1限 S300、実Ⅱ（担当：Hii） 第10回 産褥期のアセスメント 5/9(金)2限 S300、実Ⅱ（担当：Hii） 第11回 産褥期の看護（1）身体機能の回復および進行性変化への看護 5/16(金)1限 S300、実Ⅱ（担当：Hii） 第12回 産褥期の看護（2）産婦と家族への看護・施設退院後の看護 5/16(金)2限 S300、実Ⅱ（担当：Hii） 第13回 新生児の身体的・生理的特徴と子宮外生活への適応 5/23(金)1限 S300、実Ⅱ（担当：廣間） 第14回 新生児の異常と特有な疾患 5/23(金)2限 S300、実Ⅱ（担当：廣間） 第15回 新生児のアセスメント 5/30(金)1限 S201、実Ⅱ（担当：Hii） 第16回 新生児の看護 5/30(金)2限 S201、実Ⅱ（担当：Hii） 第17回 正常経過から逸脱した妊産褥婦の看護 6/6(金)1限 S300、実Ⅱ（担当：小林） 第18回 正常経過から逸脱した妊産褥婦の看護 6/6(金)2限 S300、実Ⅱ（担当：小林）		

	第19回 母性看護学領域における看護過程 6/13(金)1限 S300、実Ⅱ (担当：小林、Hii) 第20回 妊娠期・分娩期における事例展開 6/13(金)2限 S300、実Ⅱ (担当：小林、Hii) 第21回 産褥期における事例展開 6/20(金)1限 実Ⅱ、実Ⅲ (担当：小林、Hii) 第22回 新生児期における事例展開 6/20(金)2限 実Ⅱ、実Ⅲ (担当：小林、Hii) 第23回 【演習】妊娠・分娩期の看護技術（レオポルド触診法・胎児心音聴取・NST装着と判読）】 6/27(金)1限 実Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ (担当：小林、Hii) 第24回 【演習】妊娠・分娩期の看護技術（産痛緩和） 6/27(金)2限 実Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ (担当：小林、Hii) 第25回 産褥期のフィジカルアセスメント（1）生殖器の復古・全身復古新生児のアセスメント 7/4(金)1限 実Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ (担当：小林、Hii) 第26回 【演習】産褥期のフィジカルアセスメント（2）進行性変化新生児の看護 7/4(金)2限 実Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ (担当：小林、Hii) 第27回 【演習】新生児に必要なフィジカルアセスメント 7/11(金)1限 実Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ (担当：小林、Hii) 第28回 【演習】新生児に必要な看護ケア 7/11(金)2限 実Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ (担当：小林、Hii) 第29回 思春期及び更年期の特徴と看護 7/18(金)1限 S300、実Ⅱ (担当：小林、Hii) 第30回 母性看護学実習について 7/18(金)2限 S300、実Ⅱ (担当：小林、Hii)
教科書	1. 森恵美 他著 系統看護学講座「専門分野Ⅱ母性看護学①(母性看護学概論)」 医学書院 2024年出版 2. 森恵美 他著 系統看護学講座「専門分野Ⅱ母性看護学②(母性看護学各論)」 医学書院 2024年出版
参考図書	1. 医療情報科学研究所 「病気がみえる Vol.10 産科」第4版 メディックメディア 2. 百枝幹雄、他 NICE看護学テキスト「病態治療論13 産科婦人科疾患」 南江堂
予習・復習内容	必要に応じて予習と復習を行うこと
成績評価方法	レポート30%、小テスト30%、期末試験40% 計100点満点の総合点を算出する
履修上の注意	適宜課題レポートや小テストを行う
担当教員への連絡方法	E-mail:kobayashi.yasuko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	産科病棟、周産期病棟での実務経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	担当する教員はそれぞれが助産師としての産科病棟での実務経験を有することから、母子及び家族に対する看護について理論と実践を伝えていくことで、より理解や興味が深まる
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 母性看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	必修
担当教員			
田中 高政、高野 隆善			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	心のはたらきとメカニズムを概観し、精神的健康の保持・増進及び疾病の予防に関する要因について理解する。精神保健医療福祉に関する法律・制度・歴史を学習し、精神疾患を抱えながら生活している人の福祉や人権、権利擁護について理解する。また、心の健康を保つために必要な基礎理論と技術を学び、精神看護の機能や専門性について理解できる。		
学修目標	1. こころの健康を支える精神保健・精神看護について理解を深める。 2. 人間の生涯のこころの発達を理解し、こころの健康を守るための理論と技術を理解できる。 3. 精神医療・精神保健福祉の現状と課題について理解できる。 4. 精神障がい者の支援と権利擁護について理解できる。 5. 諸外国と日本の精神医療・看護の歴史的変遷について理解できる。		
授業計画	第1回 オリエンテーション 精神看護学で学ぶこと 4/8(火)5限 S202 (担当：田中) 第2回 精神保健の考え方について学ぶ 4/15(火)3限 S202 (担当：田中) 第3回 精神(心)と脳の構造について学ぶ 4/22(火)3限 S202 (担当：田中) 第4回 精神(心)と脳の機能について学ぶ 4/29(火)3限 S202 (担当：田中) 第5回 精神(心)のはたらきについて学ぶ 5/6(火)3限 S202 (担当：田中) 第6回 精神(心)の健康とストレス・危機について学ぶ 5/13(火)3限 S202 (担当：田中) 第7回 精神(心)の健康と人格の形成・発達について学ぶ 5/27(火)3限 S202 (担当：田中) 第8回 精神(心)の健康と家族について学ぶ 6/3(火)3限 S202 (担当：田中) 第9回 精神(心)の健康と集団について学ぶ 6/10(火)3限 S202 (担当：田中) 第10回 精神(心)の健康と学校・社会・地域について学ぶ 6/17(火)3限 S202 (担当：田中) 第11回 精神保健と現代社会の問題について学ぶ①：貧困、ジェンダー、ひきこもり、不登校、いじめ、虐待、ドメスティックバイオレンス、非行、犯罪、自傷、自殺 6/24(火)3限 S202 (担当：田中) 第12回 精神保健と現代社会の問題について学ぶ②：アルコール依存、薬物依存、ギャンブル依存、IT依存 7/1(火)3限 S202 (担当：田中・高野) 第13回 精神医療・精神看護の歴史について学ぶ①諸外国について 7/8(火)3限 S202 (担当：田中) 第14回 精神医療・精神看護の歴史について学ぶ②日本について 7/8(火)5限 S202 (担当：田中) 第15回 精神保健に関係する法律・制度・倫理について学ぶ・まとめ 7/15(火)3限 S202 (担当：田中)		
教科書	1. 武井麻子 他著 「系統看護学講座 専門 精神看護学①(精神看護の基礎)」 第6版 医学書院 2. 武井麻子 他編集 「系統看護学講座 専門 精神看護学②(精神看護の展開)」 第6版 医学書院		
参考図書	授業内で随時紹介します		
予習・復習内容	授業に対応した課題を課します		
成績評価方法	期末試験60%、課題40%の総合評価		
履修上の注意	授業中にディスカッションをしますので、積極的に参加してください。質問や疑問はそのままにしないでください。		
担当教員への連絡方法	E-mail:tanaka.takamasa@shitoku.ac.jp		

授業に関する大学 教員以外の実務経 験	担当教員は、精神科病棟だけでなく一般病棟、ICU、救急救命センター、小児病棟、透析室、手術室での実務経 験を有する。
実務経験と授業科 目の関連性	幅広い実務経験により、精神看護の知識と技術を実践的に教授することができる。
指定規則の位置付 け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 （看護師課程） 精神看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
田中 高政、高野 隆善			
年間授業回数：30回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	精神疾患の病態や症状、経過、検査、治療法を学び、患者及び家族への看護援助方法と技術について習得する。また精神疾患を持ちながら自立して日常生活を送るための支援や、看護の役割について理解する。		
学修目標	1. 主な精神疾患の概念・病態・症状・経過・原因・検査・治療・看護について理解できる。 2. 精神に健康問題を抱えている方の生活を理解できる。 3. 精神症状によって影響を受けている患者の状態をアセスメントし、その人らしく生きる力を支えるための看護援助について理解できる。 4. 治療的コミュニケーション技術について理解できる。 5. 精神障がい者の回復を支える医療チームの機能(多職種連携)と看護の役割について理解できる。		
授業計画	第1回 オリエンテーション 精神(心)を病むことと生きること(病いの体験)について学ぶ 9/30(火)4限 S202 (担当：田中) 第2回 精神障害をもつ人の抱える症状について学ぶ 9/30(火)5限 S202 (担当：田中) 第3回 精神障害の診察と検査について学ぶ 10/7(火)4限 S202 (担当：田中) 第4回 主な精神疾患/障害と看護について学ぶ①神経発達疾患/障害 10/7(火)5限 S202 (担当：田中) 第5回 主な精神疾患/障害と看護について学ぶ②双極性障害および関連障害群、抑うつ障害群 10/14(火)4限 S202 (担当：田中) 第6回 主な精神疾患/障害と看護について学ぶ③統合失調症スペクトラム 10/14(火)5限 S202 (担当：田中) 第7回 主な精神疾患/障害と看護について学ぶ④不安症群/不安障害群、強迫症および関連症群 10/28(火)4限 S202 (担当：田中) 第8回 主な精神疾患/障害と看護について学ぶ⑤心的外傷およびストレス関連障害群、解離症群/解離性障害群、身体症状症および関連症群 10/28(火)5限 S202 (担当：田中) 第9回 主な精神疾患/障害と看護について学ぶ⑥食行動障害および摂食障害群、睡眠覚醒障害群、神経認知障害群 11/4(火)4限 S202 (担当：田中) 第10回 主な精神疾患/障害と看護について学ぶ⑦物質関連障害群および嗜癖性障害群 11/4(火)5限 S202 (担当：高野) 第11回 主な精神疾患/障害と看護について学ぶ⑧パーソナリティ障害群、てんかん、その他 11/10(月)3限 S202 (担当：田中) 第12回 精神科での主な治療法について学ぶ(薬物療法)①統合失調症 11/10(月)4限 S202 (担当：田中) 第13回 精神科での主な治療法について学ぶ(薬物療法)②統合失調症その他 11/17(月)3限 S202 (担当：田中) 第14回 精神科での主な治療法について学ぶ(電気けいれん療法、リハビリテーション療法、精神療法) 11/17(月)4限 S202 (担当：田中) 第15回 精神科病棟という治療的環境と患者の生活について学ぶ(入院治療の意味・安全をまもる・精神看護とレクリエーション) 11/24(月)3限 S202 (担当：田中) 第16回 精神障害をもつ人への看護援助について学ぶ(ケアの人間関係・精神科看護と身体ケア) 11/24(月)4限 S202 (担当：田中) 第17回 精神科以外での精神看護について学ぶ 12/1(月)3限 S202 (担当：田中) 第18回 精神障害をもつ人との「患者-看護師関係」の構築・看護師のメンタルヘルスについて 学ぶ 12/1(月)4限 S202 (担当：田中) 第19回 看護場面の再構成・人間関係のアセスメントについて学ぶ(プロセスレコード) 12/8(月)2限 S202 (担当：田中、高野) 第20回 事例について精神看護を考える①情報収集とアセスメント 12/8(月)3限 S202 (担当：田中、高野)		

第21回	事例について精神看護を考える②全体像の把握・関連図の作成 12/15(月)3限 S202 (担当: 田中、高野)
第22回	事例について精神看護を考える③看護課題・看護計画 12/15(月)4限 S202 (担当: 田中)
第23回	精神障害をもつ人の家族への支援について学ぶ 12/22(月)3限 S202 (担当: 田中)
第24回	精神障害をもつ人の地域生活支援の実践について学ぶ 12/22(月)4限 S202 (担当: 田中)
第25回	地域精神保健福祉と社会参加・当事者からのメッセージ 1/5(月)3限 S202 (担当: 田中)
第26回	精神看護と倫理について学ぶ 1/5(月)4限 S202 (担当: 田中)
第27回	リエゾン精神看護について学ぶ 1/14(水)3限 S202 (担当: 田中)
第28回	災害時のメンタルヘルスと精神看護について学ぶ 1/14(水)4限 S202 (担当: 田中)
第29回	司法精神医学と看護について学ぶ 1/19(月)3限 S202 (担当: 田中、高野)
第30回	まとめ、学びのふりかえりを行う 1/19(月)4限 S202 (担当: 田中)
教科書	1. 武井麻子 他著「系統看護学講座 専門Ⅱ精神看護学①(精神看護の基礎)」第6版 医学書院 2. 武井麻子 他編集「系統看護学講座 専門Ⅱ精神看護学②(精神看護の展開)」第6版 医学書院
参考図書	1. 中井久夫「こんなとき私はどうしてきたか」医学書院
予習・復習内容	授業に対応する事前課題を課します
成績評価方法	期末試験60%、課題40%の総合評価
履修上の注意	授業中にディスカッションをしますので積極的に参加してください。質問や疑問はそのままにしないでください。
担当教員への連絡方法	E-mail: tanaka.takamasa@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当教員は精神科病棟だけでなく精神科外来、一般病棟、ICU、救急救命センター、小児病棟、透析室、手術室での実務経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	幅広い実務経験により精神看護の知識と技術を実践的に教授することができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 精神看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	1単位	必修
担当教員			
宮越 幸代、大町 かおり、近藤 優樹			
年間授業回数：8回	授業形態：講義		主要授業科目：○
添付ファイル			

授業目標	医療にかかわる専門職および多職種等が連携した「専門職連携医療」の基本と原則を学ぶとともに、職種間の意思疎通や医療倫理等についての事例を通して、患者・利用者中心の支援の方法について考える。また、自分が目指す職種およびそれ以外の関係職種についての理解を深め、互いの強みを活かした効果的な連携について考える。
学修目標	1. 専門職連携の意味と医療における専門職連携の意義をその歴史的背景から理解し、医療における専門職連携の機能を発揮するための能力(行動特性)について、コア・コンピテンシーをもとに列挙できる。 2. 自職種の特徴や他職種との対象の共通理解に必要な視点を踏まえ、対象とそのサービスの基本構造を具体的に説明できる。 3. 専門職連携医療における意思疎通の基本と対立の対処を踏まえ効果的な多職種カンファレンスを実施するための方法や態度、リフレクションの考え方を整理して述べるができる。 4. 連携のシミュレーションをもとにチーム形成と対象の課題解決のサイクルに沿ったリフレクションができる。 5. 専門職連携医療における倫理的課題の事例を知り、その解決について専門職連携医療の意義と関連付けて説明できる。
授業計画	第1回 専門職連携医療概論【専門職連携医療の意義、メリットとデメリット、コア・コンピテンシー、多職種カンファレンスの基本】（講義・意見交換） 9/22(月)2限 S300 (担当：宮越) 第2回 専門職連携医療における意思疎通①【専門職連携の構造とチーム形成、対立の対処】（講義・意見交換） 9/29(月)2限 S300 (担当：宮越) 第3回 専門職連携医療における意思疎通②【問題解決のシミュレーション】（グループワーク） 10/6(月)2限 S300 (担当：宮越) 第4回 専門職連携医療における意思疎通③【問題解決のリフレクション】（講義） 10/20(月)2限 S300 (担当：宮越) 第5回 自職種と他職種の理解①【対象の共通理解のための構造化と支援計画、専門職連携の実践例および各専門職の特徴と連携の視点】（講義・意見交換） 10/27(月)2限 S300 (担当：宮越) 第6回 自職種と他職種の理解②【各専門職による事例解釈と連携方法】（講義） 11/10(月)2限 S300 (担当：宮越、大町、近藤) 第7回 自職種と他職種の理解③【各専門職による事例解釈と連携方法】（講義） 日程調整中 S300 (担当：宮越) 第8回 医療倫理に基づいた専門職連携医療の意義と方法（意見交換・講義） 11/17(月)2限 S300 (担当：宮越)
教科書	1. 北島政樹「医療福祉をつなぐ関連職種連携 講義と実習にもとづく学習のすべて」南江堂 2. 篠田道子「チームを成長させる会議・カンファレンス35のスキル」日本看護協会出版会 他にプリントを配布。
参考図書	1. 大嶋伸雄編「はじめてのIP 連携を学びはじめる人のためのIP入門」協同医書出版社 2018 2. 内山 靖ほか編「リハベシク コミュニケーション論・他職種連携論」医歯薬出版株式会社 2021 3. 大塚真理子ほか編「地域共生社会をつくる 多職種連携・協働のあり方とは」ワールドプランニング 2023 4. 福澤一吉「看護学生が身につけたい論理的に書く・読むスキル」医学書院 2018 5. 河野哲也「レポート・論文の書き方入門 第4版」慶應義塾大学出版会 2018
予習・復習内容	・指定された事前課題・事後課題がある場合は、指定する期日までに提出すること。また教科書で指定された部分も一読してくること ・自職種の説明やシミュレーションでは、既習科目「健康科学概論」で学んだ内容や資料を常に活用できるように、各自で準備すること ・図書館にはIPWの図書を集めたコーナーが配架されているので、活用すること
成績評価方法	1. 事前課題・事後課題のワークシートの提出および内容 60% 2. グループワーク 40%（一部「ピア評価」を実施）*状況により他の方法に変更する可能性もある ・グループワークでは課題を多面的な視点から分析し、意見交換のプロセスも深く省察すること ・ワークシートやグループワークでは学んだ原理原則、実例を引用するなど根拠が明らかなら、具体的に説明できること
履修上の注意	・課題においては論理的な文章表現（大学におけるレポート執筆方法の基本）、専門文献の正しい活用・引用方法の手引きとなる資料を手元に準備し、適宜参照しながら力をつける ・自職種と他職種の違いや多様な考え方を【表面的な調和】でなく、共に学び、お互いから学び、お互いについて学ぶ積極的な姿勢を期待する。疑問や違和感は率直に表現し、葛藤を超えて連携から得られる成果を意識すること ・内容により授業中に「TEAMS」を使うこともある。各回に必要な準備は各自やグループで注意深く確認すること

担当教員への連絡方法	Email: miyakoshi.sachiyo@shitoku.ac.jp ohmachi.kaori@shitoku.ac.jp kondo.yuuki@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	大町・近藤は病院および福祉施設等での多職種連携医療の経験があり、宮越は臨床や災害派遣および国際協力の現場での多職種連携の協働経験と多職種連携に関連した参考書の分担執筆を担当した経験を持つ。
実務経験と授業科目の関連性	それぞれの専門職経験の中で持つ多職種との専門職連携について、当事者やその重要な人々を含めた具体的な事例をもとに基本的知識を解説し、学ぶことへの関心を高めることができる。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2（作業療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 統合分野 看護の統合と実践

講義科目名称： IPW方法論

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	1単位	必修
担当教員			
宮越 幸代、大町 かおり、近藤 優樹、松本 あつ子、鈴木 真理子、田中 高政、依田 明子、宮脇 利幸、山本良彦			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	IPW論で学んだ専門職連携医療の基本と原則を基に、具体的な事例への支援方法をチームで検討し、そのプロセスを振り返ることで、医療従事者が患者・利用者等と連携して対象に最も望ましい結果をもたらすための方法を具体的に考える。またそのための個人およびチームとしての課題と展望を明確にする。これに加えて、病院から地域・在宅へ「つなぐ」を視点に、医師や看護職、ケアマネジャー、理学療法士、作業療法士、介護士、及び地域包括支援センターの活動や役割など地域における退院後の支援の実践について学ぶ。		
学修目標	1. 典型的な事例について事前に理解・学習し、自職種の役割と連携方法について具体的に説明できる 2. 専門職連携について、典型的な事例をもとに意見交換し、他職種の役割と連携方法について具体的に説明できる 3. 医療専門職が多職種で連携・協調するための意見交換を行い、合意形成した具体的な支援目標を説明できる 4. 事例のグループダイナミックスのプロセスを通して振り返りができる 5. 専門職連携の実践の事例を通して、多職種の役割と機能について具体的に説明できる		
授業計画	第1回 IPW論の振り返り、学習目標および演習方法（オリエンテーション） 6/4(水)1限 講堂ほか（担当：大町・宮越・近藤） 第2回 チームビルディングおよび対象の理解（3事例・21グループ）（グループワーク①） 6/4(水)2限 講堂ほか（担当：大町・宮越・近藤） 第3回 事例の分析（グループワーク②） 6/11(水)1限 講堂ほか（担当：大町・宮越・近藤） 第4回 事例がめざす支援目標と自職種のかかわり（グループワーク③） 6/11(水)2限 講堂ほか（担当：大町・宮越・近藤） 第5回 事例に関連する職種間の連携①（グループワーク④） 6/18(水)1限 講堂ほか（担当：大町・宮越・近藤） 第6回 事例に関連する職種間の連携②（グループワーク⑤） 6/18(水)2限 講堂ほか（担当：大町・宮越・近藤） 第7回 事例に対する支援計画と質疑応答①（グループワーク⑥） 6/25(水)1限 講堂ほか（担当：大町・宮越・近藤） 第8回 学習のまとめ 6/25(水)2限 講堂ほか（担当：大町・宮越・近藤） 第9回 専門職連携の事例に対する振り返りおよび後半オリエンテーション 6/26(木)2限 実Ⅲ（担当：宮越） 第10回 臨地における専門職連携の事例検討①（対象の理解と疑問点の整理）振り返りおよび事前学習の共有 7/2(水)1限 S300（担当：宮越） 第11回 臨地における専門職連携の事例検討②（支援課題の分析と方法）グループワーク 7/2(水)2限 S300（担当：宮越） 第12回 グループ発表および事例の実践についての解説 7/9(水)1限 S300（担当：宮越・ゲスト講師） 第13回 臨地における専門職連携の実践例（事業やサービス） 7/9(水)2限 S300（担当：宮越・ゲスト講師） 第14回 事例検討の振り返り・連携上の課題や可能性、展望 7/16(水)1限 S300（担当：宮越） 第15回 まとめ 専門職連携医療における看護職の可能性と役割および自己の学習課題（意見交換、レポート作成） 7/16(水)2限 S300（担当：宮越）		
教科書	1. 北島政樹「医療福祉をつなぐ関連職種連携 講義と実習にもとづく学習のすべて」南江堂 2. 篠田道子「チームの連携を高めるカンファレンスの進め方」日本看護協会出版会 2年次「IPW論」で購入したものを使用。他にプリントを配布。		
参考図書	1. 大嶋伸雄「はじめてのIP 連携を学びはじめる人のためのIP入門」協同医書出版社 2. 細田満和子「『チーム医療』とは何か 第2版 患者・利用者本位のアプローチに向けて」日本看護協会出版会 3. 京極真「信念対立解明アプローチ入門—チーム医療・多職種連携の可能性をひらく」中央法規出版 4. 福澤一吉「看護学生が身につけたい論理的に書く・読むスキル」医学書院 5. 河野哲也「レポート・論文の書き方入門 第4版」慶應義塾大学出版会		

	6. 水本清久「実践チーム医療論 実際と教育プログラム」医歯薬出版
予習・復習内容	1. 2年次「IPW論」で意識した他職種に対する自職種についての説明を、具体的かつ正確にわかりやすく説明できるようにしておく。 2. 専門職連携医療における各事例の理解に必要な基礎知識を自己学習（復習）した上で事例の分析・解釈し、グループワークで根拠とともに自分の考えを説明できるように準備してくる。 3. 専門職連携医療における各事例の支援目標についての自分の考えを整理し、説明できるようにしてくる。 4. 各グループごとに分担した役割や共同部分に対する各自の責任と協働をはたせるようにする。 5. リフレクションの意味と方法を復習し、自己及びグループの協働プロセスを具体的に振り返り説明できるようにしておく。
成績評価方法	・個人課題と振り返り（20%） ・グループ課題と発表及びグループダイナミックスのプロセスに関する振り返り（30%） ・レポート内容（50%）
履修上の注意	2年次の「IPW論」を事前に履修することが望ましい。IPW論で学んだ原則や基本を具体的な事例に適用し、対象の分析と支援計画の立案に具体的に反映できることを期待します。Webを利用した演習を含む授業であるためTeamsが使用できるようパスワードの確認を事前にしておいてください。
担当教員への連絡方法	Teamsでなくメールで受け付けます。miyakoshi.sachiyo@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	チーム医療の臨床経験や国際協力、災害支援でのIPW経験を持つ。
実務経験と授業科目の関連性	国際協力や災害支援でのIPW経験、IPE関連の参考書の分担執筆の経験を活かすことができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 統合分野 看護の統合と実践

講義科目名称： 看護研究法

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	必修
担当教員			
西村 明子、高本 雅哉、林 かおり、ミルズ しげ子、小林 由枝、依田 明子、倉澤 康之			
添付ファイル			

授業目標	自らの研究課題について研究計画書を作成するための基本的知識を習得する。看護学領域の研究論文を理解するための基礎的知識を習得する。また、看護を体系的に探究し、主体的に看護の課題に取り組む体験を通して、研究的思考並びに態度を養う。		
学修目標	1. 看護研究の目的と意義および研究のプロセスについて説明できる 2. 研究における問いと研究のタイプやデザイン、データ収集方法との関連を説明できる 3. 研究計画書の基本的構成とその内容について説明できる 4. 研究テーマに沿って文献検索を行える 5. 研究論文を精読するための視点を述べることができる 6. 研究における倫理的配慮の重要性を理解し、必要な倫理的事項を列挙できる		
授業計画	第1回 看護研究とは何か、看護研究の目的・意義 4/8(火)2限 S201 (担当：西村) 第2回 研究課題と文献検索 4/15(火)2限 S201 (担当：高本) 第3回 研究デザイン 4/22(火)2限 S201 (担当：高本) 第4回 論文クリティーク 4/29(火)2限 S201 (担当：高本) 第5回 量的研究：質問紙調査の進め方 5/6(火)2限 S201 (担当：高本) 第6回 量的研究：実験研究の進め方 5/13(火)2限 S201 (担当：林) 第7回 量的研究：基本的な統計解析1 5/20(火)2限 S201 (担当：倉澤) 第8回 量的研究：基本的な統計解析2 5/27(火)2限 S201 (担当：倉澤) 第9回 質的研究：質的研究の意義と種類、研究方法 6/3(火)2限 S201 (担当：小林) 第10回 質的研究：質的研究における分析方法、信頼性・妥当性の確保 6/10(火)2限 S201 (担当：依田) 第11回 質的研究：事例研究の進め方・まとめ方 6/17(火)2限 S201 (担当：ミルズ) 第12回 研究における倫理/研究計画書の書き方 6/24(火)2限 S201 (担当：西村) 第13回 論文の書き方 7/1(火)2限 S201 (担当：西村) 第14回 効果的なプレゼンテーション 7/8(火)2限 S201 (担当：林) 第15回 具体的な看護研究の紹介 7/15(火)2限 S201 (担当：西村)		
教科書	教科書は指定しない。資料を作成して授業ごとに配布する。		
参考図書	1. 黒田裕子「黒田裕子の看護研究 Step by Step」医学書院 2. 南裕子 野嶋佐由美(編)「看護における研究」日本看護協会出版会 3. 大木秀一「看護研究・看護実践の質を高める文献レビューのきほん」医歯薬出版 4. 前田樹海 江藤裕之「APAに学ぶ看護系論文執筆のルール」医学書院 5. 山崎茂明 六本木淑恵「看護研究のための文献検索ガイド」日本看護協会出版会 6. 大木秀一「量的な看護研究のきほん」医歯薬出版 7. 石井京子 多尾清子「ナースのための質問紙調査とデータ分析」医学書院 8. 松本孚 森田夏実(編)「看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方」照林社 9. 鎌倉やよい 深谷安子(編)「看護学生のためのケース・スタディ」メヂカルフレンド社		
予習・復習内容	業で配布した資料を熟読してください。不明な点、疑問点、関心を抱いたことについては、提示した参考図書に当たって理解したうえで、次回の授業に臨んでください。		
成績評価方法	期末試験50%、課題レポート50%による総合評価		

履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	sakaguchi.kesami@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	総合病院の産科病棟に助産師として勤務し、臨床での看護研究に取り組んだ経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	このことから、看護実践の中に問いを見出して看護を探究していく一連のプロセスを、事例や取り組んだ研究に触れながら教授することで学生の理解を促すことが可能となる
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 看護の統合と実践

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	必修
担当教員			
松本 あつ子、ミルズ しげ子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	看護を必要としている人々に対して、継続して看護を提供するためにどのようなしくみがあり、どのような人が関わっているのかを学修する。		
学修目標	1. 看護提供システムに関連した基礎理論を理解する。（組織化、マネジメント、人材育成、質保証） 2. 看護提供システムに影響を及ぼす制度・政策を理解する。 3. 看護職を規定している要因について理解する。		
授業計画	第1回	看護提供システム論の概要と学習のすすめ方（看護管理を学ぶ） 4/11(金)1限 実Ⅲ（担当：松本、ミルズ）	
	第2回	医療政策と看護管理 4/11(金)2限 実Ⅲ（担当：松本、ミルズ）	
	第3回	現代法制度と看護管理 4/18(金)1限 実Ⅲ（担当：松本、ミルズ）	
	第4回	看護管理と倫理 4/18(金)2限 実Ⅲ（担当：松本、ミルズ）	
	第5回	看護サービス管理 4/25(金)1限 実Ⅲ（担当：松本、ミルズ）	
	第6回	看護組織と管理 4/25(金)2限 実Ⅲ（担当：松本、ミルズ）	
	第7回	看護管理プロセス 5/2(金)1限 実Ⅲ（担当：松本、ミルズ）	
	第8回	資源の獲得と配分 5/2(金)2限 実Ⅲ（担当：松本、ミルズ）	
	第9回	人的資源管理 5/9(金)1限 実Ⅲ（担当：松本、ミルズ）	
	第10回	情報の管理 5/9(金)2限 実Ⅲ（担当：松本、ミルズ）	
	第11回	管理行動、自己管理、連携と協働 5/16(金)1限 実Ⅲ（担当：松本、ミルズ）	
	第12回	看護の質マネジメント 5/16(金)2限 実Ⅲ（担当：松本、ミルズ）	
	第13回	安全管理 5/23(金)1限 実Ⅲ（担当：松本、ミルズ）	
	第14回	働きやすい職場環境づくり 5/23(金)2限 実Ⅲ（担当：松本、ミルズ）	
	第15回	長寿化時代の新しいステージ 5/30(金)2限 実Ⅲ（担当：松本、ミルズ）	
教科書	1. 手島恵、藤本幸三編集「看護管理学 自律し協働する専門職の看護マネジメントスキル」改訂第3版 南江堂		
参考図書	授業の進行に合わせて必要時提示する		
予習・復習内容	指定した資料(文献)を読んでもくる		
成績評価方法	評価配分：筆記試験100%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	E-mail:matsumoto.atsuko@shitoku.ac.jp		
授業に関する大学教員以外の実務経験	病院における看護管理者として教育プログラムを立案し実施した		
実務経験と授業科目の関連性	看護管理者としての経験を学生の教育に活かすことができる		

指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (保健師課程) 公衆衛生看護管理論 別表3 (看護師課程) 看護の統合と実践
-----------	---

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	必修
担当教員			
山本 良彦、大町 かおり、近藤 優樹、鈴木 真理子、田中 高政、松本 あつ子、宮越 幸代、宮脇 利幸、依田 明子			
年間授業回数：15回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	ヒューマンケア論、IPW論、IPW演習Ⅰで学んだことを基に、地域の病院・施設で実際に活躍している保健・医療・福祉に携わる人々の経験談を聞き、様々な場面での援助者間の「連携と統合」における実践上の基盤をつくる。また、専門性の異なる学びをしている学生同士がグループワークを行い、討論・発表を通して専門職連携（チーム医療）について理解を深める。		
学修目標	1. 保健・医療・福祉に携わる人々と直接関わり、多職種連携の実例に触れる 2. 専門職の役割を理解し説明できる 3. 専門職による連携の内容とその必要性を説明できる		
授業計画	第1回 科目オリエンテーション① 4/7(月)1限 講堂 (担当：山本 他) 第2回 科目オリエンテーション② 4/7(月)2限 講堂 (担当：山本 他) 第3回 科目オリエンテーション③ 4/7(月)3限 講堂 (担当：山本 他) 第4回 回復期医療における専門職連携の実例① 4/14(月)1限 講堂 (担当：山本 他) 第5回 回復期医療における専門職連携の実例② 4/14(月)2限 講堂 (担当：山本 他) 第6回 回復期医療における専門職連携の実例③ 4/14(月)3限 講堂 他 (担当：山本 他) 第7回 回復期医療における専門職連携の実例④ 4/14(月)4限 講堂 他 (担当：山本 他) 第8回 総合病院における専門職連携の実例① 4/21(月)1限 講堂 (担当：山本 他) 第9回 総合病院における専門職連携の実例② 4/21(月)2限 講堂 (担当：山本 他) 第10回 総合病院における専門職連携の実例③ 4/21(月)3限 講堂 他 (担当：山本 他) 第11回 総合病院における専門職連携の実例④ 4/21(月)4限 講堂 他 (担当：山本 他) 第12回 災害医療における専門職連携の実例① 4/28(月)1限 講堂 (担当：山本 他) 第13回 災害医療における専門職連携の実例② 4/28(月)2限 講堂 (担当：山本 他) 第14回 災害医療における専門職連携の実例③ 4/28(月)3限 講堂 他 (担当：山本 他) 第15回 災害医療における専門職連携の実例④ 4/28(月)4限 講堂 他 (担当：山本 他)		
教科書	必要に応じて資料、ワークブックを配付する。		
参考図書	水本清久ほか：実践チーム医療論、実際と教育プログラム、医歯薬出版 北島政樹：医療福祉をつなぐ関連職種連携、南江堂 篠田道子：チームの連携力を高めるカンファレンスの進め方、日本看護協会出版会		
予習・復習内容	ヒューマンケア論、IPW論、IPW演習Ⅰにおいて学んだ内容を再確認しておくこと。		
成績評価方法	レポート内容 (100%)		
履修上の注意	保健科学部と看護学部の学生が合同でグループワークを行う。専門性の異なる学びをしている学生がグループワークの過程を通して学部・学科を超えた関係性を構築することも目的の一つとしている。積極的に講義に参加し、互いの専門性に理解を深めることを望む。		
担当教員への連絡方法	E-mail: yamamoto.yoshihiko@shitoku.ac.jp		
授業に関する大学	理学療法士として臨床経験あり。		

教員以外の実務経験	
実務経験と授業科目の関連性	多職種連携演習等、類似及び関連科目を担当。
指定規則の位置付け	理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1（理学療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 別表2（作業療法士課程） 保健医療福祉とリハビリテーションの理念 保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 （看護師課程） 統合分野 看護の統合と実践

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	必修
担当教員			
宮越 幸代			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		主要授業科目：○
添付ファイル			

授業目標	災害の種類と災害サイクル、各災害に伴う疾病構造や健康課題の特徴を理解し、対象となる人や集団(場所)、災害各期に求められる災害医療の原則と看護支援の基本を学ぶ。		
学修目標	1. 災害および災害時の保健医療・看護に関する基礎知識に基づき、防災・減災における看護職の役割を説明する。 2. 災害サイクルや災害の種類による健康被害の特徴を踏まえ、二次災害の予防に必要な保健医療の原則を整理して述べる。 3. 災害看護の場と対象ごとに求められる留意点を整理し、発災後の時間経過に沿った具体的な支援とその方法を列挙する。 4. 過去の災害支援を例に多職種間の連携と協働の実際をイメージし、看護職の役割と活動の準備を整理して記述する。 5. 避難生活における対象ごとの健康課題の特徴を踏まえた、看護の原則と具体的な方法が説明できる。 6. 被災者および災害支援にあたる人々の心理の特徴とそれを踏まえた具体的な支援方法を事例を通して考える。		
授業計画	第1回	災害および災害時の保健医療・看護に関する基礎知識(講義) 4/8(火)1限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第2回	災害の種類と健康問題(講義) 4/8(火)2限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第3回	災害看護の対象と場、災害看護の特徴と役割(事例検討・講義) 4/15(火)1限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第4回	災害各期の医療と看護活動① 発災直後の活動・急性期の臨床(講義) 4/15(火)2限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第5回	復習テスト①・災害急性期の3T's(トリアージ、トランスポート、トリートメント)の基本(講義) 4/22(火)1限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第6回	災害急性期の3T's「トリアージ」の実際と課題(机上演習) 4/22(火)2限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第7回	災害急性期における公衆衛生、放射線災害への対応(講義) 4/29(火)1限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第8回	災害各期の医療と看護活動② 避難所開設の初動と運営(事例検討) 4/29(火)2限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第9回	災害各期の医療と看護活動③ 避難所における健康管理と医療体制(事例検討) 5/6(火)1限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第10回	対象の特徴に基づいた看護①：災害時要配慮者・避難行動要支援者(講義) 5/6(火)2限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第11回	対象の特徴に基づいた看護②：慢性疾患患者・在宅療養者(講義) 5/13(火)1限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第12回	対象の特徴に基づいた看護③：精神面の支援が必要な方々(講義) 5/13(火)2限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第13回	復習テスト②・災害後の被災者および支援者の心理と支援(講義) 5/20(火)1限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第14回	災害や突発的事故による遺族への支援(演習・講義) 5/20(火)2限 実Ⅲ (担当：宮越)	
	第15回	国内外における看護師の災害支援派遣活動とシステム、準備(講義) 5/20(火)3限 S300 (担当：宮越)	
教科書	浦田喜久子編「系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践③ 災害看護学・国際看護学」第5版 医学書院		
参考図書	1. 小原真理子ほか「災害看護 心得おきたい基本的な知識」改訂第3版 南山堂 2. 國井修「災害時の公衆衛生 私たちにできること」南山堂 3. 山崎達枝「災害現場でのトリアージと応急処置」日本看護協会出版会 4. 小井土雄一ほか「多職種で支える災害医療 身につけるべき知識・スキル・対応力」医学書院 5. 特定非営利活動法人難民支援会「スフィア・プロジェクト人道憲章と人道対応に関する最低基準」(2018年日本語訳版) The Sphere Project 6. 黒田裕子ほか「事例を通して学ぶ避難所・仮設住宅の看護ケア」日本看護協会出版会 7. 日本公衆衛生協会 全国保健師長会「災害時の保健活動推進マニュアル」 8. アメリカ国立子どもトラウマティックストレス・ネットワークほか「災害時のこころのケア サイコロジカ		

	ルフィーストエイド 実践の手引き 原書第2版（日本語版）」医学書院
予習・復習内容	予習：事前に該当する教科書の単元部分を熟読し、事前学習が指定された回はシートの指定課題に取り組み提出する。 復習：授業レジュメおよび教科書の該当部分について、不明部分がないよう各自で整理しておく。ミニテストや復習テストの答え合わせを自主的に行う。
成績評価方法	ワークシートや事前学習の提出状況および内容40%、定期試験60%
履修上の注意	災害看護の対象や実践の場は幅広く、職種や専門性にとらわれない幅広い関心と力が求められる。また、災害ごとに特徴があり関連する法制度等も更新されるため、日常的に関心をもって最新の情報を見聞しておくましよう。
担当教員への連絡方法	Email:miyakoshi.sachiyo@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	日本災害看護学会等による被災地調査を複数回経験しており、国際緊急援助隊医療チームやNPOによる看護師として国内外での災害支援派遣の経験を積んでいる。 また、JICA緊急援助隊、災害支援ナースの登録員のほか災害支援NPOが開催する定期的な訓練に参加している。
実務経験と授業科目の関連性	経験や訓練から得た知識、技術をもとに災害の種類や地域、災害後のフェーズごとに異なる災害看護の実践について具体的な事例や映像をもとにタイムリーな内容を教育に反映できる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 （保健師課程） 公衆衛生看護管理論 別表3 （看護師課程） 統合分野 看護の統合と実践

講義科目名称： 看護の専門と発展

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	必修
担当教員			
松本 あつ子、林 かおり、ミルズ しげ子、今西 亮			
年間授業回数：15回		主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	看護の質向上を目指して、我が国では専門看護師、認定看護師及び認定看護管理者育成の制度がある。本科ではその制度について理解するとともに、がんや老人、小児などの専門看護師から役割や活動の実際について事例を通して学ぶとともに、皮膚・排泄ケア、集中ケア、緩和ケア、摂食・嚥下障害看護、がん性疼痛看護、訪問看護、感染管理、糖尿病看護、不妊症看護などの認定看護師の役割や活動の実際を学ぶ。また修士課程や博士課程へ進み学ぶことの意義と重要性について理解する。さらに海外で活躍する看護職にその経緯や意義、課題について学ぶ。これらを通して、生涯教育の重要性や専門性を極めることの意義、さらにはこれからの自身のキャリア形成プランを考える機会とする。		
学修目標	1. 看護師の多様なキャリアと資格制度について理解する。 2. 継続教育・卒後教育について理解する。 3. ジェネラリスト・スペシャリストの活動の実態を知る。 4. 自らのキャリア形成プランを検討する。		
授業計画	第1回	これからのキャリア形成プランを考えるにあたって、看護職育成制度について 生涯教育の重要性と専門性を極めることの意義についての概要と学習の進め方 4/9(水)1限 S202 (担当：松本)	
	第2回	看護基礎教育・生涯学習における免許と資格、資格の更新について。専門看護師・認定看護師・特定行為研修の仕組みとカリキュラムについて 4/9(水)2限 S202 (担当：松本)	
	第3回	認定看護管理者の育成と役割・看護提供システムと看護師の配置 4/16(水)1限 S202 (担当：ミルズ)	
	第4回	地域・在宅看護の実際と、それぞれの看護が目指すもの 専門（地域看護・在宅看護・家族看護）認定（在宅ケア） 4/16(水)2限 S202 (担当：松本)	
	第5回	老年看護の実際と、それぞれの看護が目指すもの 専門（老年看護）認定（認知症・摂食嚥下） 4/23(水)1限 S202 (担当：林)	
	第6回	慢性期疾患看護の実際と、それぞれの看護が目指すもの 専門（慢性期疾患看護）認定（脳卒中・腎不全・心不全・呼吸器疾患・糖尿病・皮膚排泄ケア） 4/23(水)2限 S202 (担当：林)	
	第7回	がん看護の実際と、それぞれの看護が目指すもの 専門（がん看護・放射線看護）認定（緩和ケア・がん薬物療法・乳がん看護・がん放射線看護） 4/30(水)1限 S202 (担当：ミルズ)	
	第8回	小児、母性、遺伝等看護の実際と、それぞれの看護が目指すもの 専門（小児看護・母性看護・遺伝看護）認定（新生児集中ケア・小児プライマリケア・生殖看護） 4/30(水)2限 S202 (担当：松本)	
	第9回	急性期・重症患者の看護と、それぞれの看護が目指すもの 専門（急性・重症疾患看護）認定（クリティカルケア・手術看護） 5/7(水)1限 S202 (担当：ミルズ)	
	第10回	病院での新人看護師の育成、キャリア支援について 5/7(水)2限 S202 (担当：ミルズ)	
	第11回	感染症に関する看護の実際と、それぞれの看護が目指すもの 専門（感染症看護）認定（感染管理） 5/14(水)1限 S202 (担当：今西)	
	第12回	精神看護、災害看護の実際と、それぞれの看護が目指すもの 専門（精神看護・災害看護） 5/14(水)2限 S202 (担当：林)	
	第13回	看護管理及び地域包括ケアの実際と、それぞれの看護が目指すもの 5/21(水)1限 S202 (担当：松本)	
	第14回	さまざまな選択から起業した看護職の活動の実際 5/21(水)2限 S202 (担当：松本)	
	第15回	まとめ 5/28(水)2限 S201、202、203、実Ⅲ (担当：松本・ミルズ)	
教科書	なし		
参考図書	なし		
予習・復習内容	事前・事後の学習課題を示す		

成績評価方法	レポート100%
履修上の注意	関心を持ち積極的に調べ質問すること
担当教員への連絡方法	e-mail:matsumoto.atsuko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	産科病棟での実務経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	助産師としての産科病棟での実務経験を有することから、母子及び家族に対する看護について理論と実践を伝えていくことで、より理解や興味が深まる
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 看護の統合と実践

講義科目名称： 看護課題探求 I

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	2単位	必修
担当教員			
田中（高）、松本、西村、元山、宮越（幸）、鈴木、ミルズ、小林（由）、横関、小林（康）、箕口、松石、ヒー、山本、寺島、宮越（由）、今西、高野			
年間授業回数：30回	授業形態：演習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	講義や臨地実習を通して関心や疑問を持ったテーマについて文献検討を行い看護に関する研究課題を見出すとともに、抽出された研究課題を解決するために適した研究デザインを選び研究計画書を作成する。このプロセスを通して、基本的な研究枠組みと方法について学び看護に関する課題探求への態度を修得する。		
学修目標	1. 関心をもったテーマについて文献検討を行い、看護に関する研究課題を作成する。 2. 研究課題を解決するための方策を計画する。 3. 研究計画書（課題探求計画）を完成させる。		
授業計画	第1回 オリエンテーション 4/8(火)3限～5限 S300 (担当：上記教員) 第2回 関心のある看護実践の課題の明確化 (担当：上記教員) 第3回～第28回 課題解決に向けた活動、課題に関連した文献検討、課題の位置づけの明確化（問題の陳述）、看護課題探求（研究）方法の検討、看護課題探求（研究）計画書の作成 (担当：上記教員) 第29回 発表およびディスカッション (担当：上記教員) 第30回 発表およびディスカッション (担当：上記教員)		
教科書	「看護研究法」の項参照		
参考図書	「看護研究法」の項参照		
予習・復習内容	看護研究法で既習した内容を復習して授業に臨むこと、授業終了時に提示される課題に取り組むこと		
成績評価方法	研究計画書80%、発表20%		
履修上の注意	積極的・計画的にとりくむこと		
担当教員への連絡方法	E-mail: tanaka.takamasa@shitoku.ac.jp		
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当教員は一般病棟、ICU、救急救命センター、小児病棟、透析室、手術室、精神科病棟での実務経験を有する。		
実務経験と授業科目の関連性	看護大学での指導実績にもとづいて学生の個別指導を行うことができる		
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 （看護師課程） 看護の統合と実践		

講義科目名称： 看護課題探求Ⅱ

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4年	2単位	選択
担当教員			
田中（高）、松本、西村、元山、宮越（幸）、鈴木、ミルズ、小林（由）、横関、小林（康）、箕口、松石、ヒ一、山本、寺島、宮越（由）、今西、高野			
年間授業回数：30回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	看護課題探求Ⅰで作成した研究計画書に基づいてデータを収集・分析し、研究論文を作成する一連の過程を通して、看護における課題を探究するための基礎的能力を修得する。
学修目標	1. 研究計画書（看護課題探求計画）に基づいてデータを収集し分析する。 2. 研究論文を作成し発表する。
授業計画	第1回 オリエンテーション 9/26(金)3限 実Ⅲ（担当：上記教員） 第2回 関心のある看護実践の課題の明確化 （担当：上記教員） 第3回～第28回 課題解決に向けた活動、研究計画書にもとづいた方法論の確認、データ収集・分析・結果の考察・記述、報告書の作成 （担当：上記教員） 第29回 発表およびまとめ （担当：上記教員） 第30回 発表およびまとめ （担当：上記教員）
教科書	「看護研究法」の項参照
参考図書	「看護研究法」の項参照
予習・復習内容	看護研究法で既習した内容を復習して授業に臨むこと、授業終了時に提示される課題に取り組むこと
成績評価方法	研究報告書80%、発表20%
履修上の注意	積極的・計画的にとりくむこと。 人を対象とする研究を進める場合には所定の倫理委員会の審査と承認を得る必要がある。
担当教員への連絡方法	E-mail: tanaka.takamasa@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当教員は一般病棟、ICU、救急救命センター、小児病棟、透析室、手術室、精神科病棟での実務経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	看護大学での指導実績にもとづいて学生の個別指導を行うことができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 看護の統合と実践

講義科目名称： エンドオブライフ・ケア

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	2単位	選択
担当教員			
横関 祐子、鈴木 真理子、山本 順子			
添付ファイル			

授業目標	エンドオブライフにある人々の全人的苦痛と家族等が抱える苦悩を知り、エンドオブライフ・ケアに必要な基本的知識・技術・態度を理解する。また、エンドオブライフ・ケアを学ぶ中で、自己の死生観について考え、死に逝く人々とその家族に向き合える基本的態度を養う。		
学修目標	1. エンドオブライフ・ケアの歴史を理解することができる。 2. エンドオブライフにある人々と家族等に対する苦痛緩和のための基本的な看護が理解することができる。 3. アドバンスケアプランニング（人生会議）について考えることができる。 4. がん看護を通してエンドオブライフ・ケアを理解することができる。 5. スピリチュアルケアについて理解することができる。 6. グリーフケアについて考えることができる。 7. 在宅での看取りと地域の取り組み活動について理解できる。		
授業計画	第1回 エンドオブライフ・ケアの概要と歴史 4/11(金)3限 S300、実Ⅲ（担当：横関） 第2回 地域の文化から考えるデス・エデュケーション 4/11(金)4限 S300（担当：横関） 第3回 特徴的な症状に対する緩和ケア、多様な疾患をもつ人への緩和ケア 4/18(金)3限 S300（担当：山本） 第4回 家族ケア 4/18(金)4限 S300（担当：山本） 第5回 〔演習〕エンドオブライフ・ケアを支えるアドバンスケアプランニング：人生会議 4/25(金)3限 S300（担当：横関） 第6回 〔演習〕エンドオブライフ・ケアを支えるアドバンスケアプランニング：人生会議 4/25(金)4限 S300（担当：横関） 第7回 がん看護について 5/2(金)3限 S300（担当：鈴木） 第8回 AYA世代のがん：現状と支援について・がんサバイバーへの就労支援 5/2(金)4限 S300（担当：鈴木） 第9回 緩和ケアの実践の基本的な考え方 5/9(金)3限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：山本） 第10回 緩和ケアの実際 5/9(金)4限 実Ⅰ、実Ⅲ（担当：山本） 第11回 エンドオブライフ・ケアの実践者 5/16(金)4限 S300（担当：横関） 第12回 グリーフケア 5/23(金)3限 S300（担当：横関） 第13回 スピリチュアルケア 5/23(金)4限 S300（担当：山本） 第14回 がん看護に関わる看護職の実際①（痛みを抱えて生活する患者への継続看護） 5/30(金)3限 実Ⅲ（担当：鈴木） 第15回 がん看護に関わる看護職の実際② 5/30(金)4限 実Ⅲ（担当：鈴木）		
教科書	梅田恵他編・緩和ケア・南江堂		
参考図書	小澤竹俊「死を前にした人に あなたは何ができますか？」医学書院		
予習・復習内容	予習：教科書の関連箇所を読んでくる		
成績評価方法	定期試験60%、課題および演習における振り返り40%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	yokoseki.yuko@shitoku.ac.jp suzuki.mariko@shitoku.ac.jp yamamoto.junko@shitoku.ac.jp		
授業に関する大学教員以外の実務経験	行政機関での訪問指導において看取りの経験や家族の支援の経験を有する。また地域でのグリーフサポートグループの世話人の経験を有する。がん専門病院で看護師としての実務経験を有する。終末期病棟での実務経験を有する。		

実務経験と授業科目の関連性	経験を踏まえ、科目を展開することができる
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 看護の統合と実践

講義科目名称： 国際看護学

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4年	2単位	選択
担当教員			
宮越 幸代			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	国際看護の実践に先立ち基本となる国際保健医療に関する知識や方法を学ぶと同時に、国内外の具体的な場面に関する事例を元に、幅広い視野で地球上の事象や対象をとらえ、看護職に求められる考え方や判断力を養う。		
学修目標	1. 国際看護の実践に必要な基礎的知識と方法を学び、国や地域、文化や人種などの違いを超えた看護実践の特徴を具体例をあげて説明する。 2. 看護職として具体的な状況判断が必要な事例への対応方法について学び、多文化共生や効果的な国際協力の原則を例示しながら自分の考えを具体的に説明する。 3. ヒトや生物、自然現象の多様性に合わせた柔軟な考え方を、自身が目指す看護職のキャリアに組み込んで考えることができる。 4. 学習した基本事項をもとに、国や地域、文化や人種などの違いを超えた国際看護の実践を国内外に生かす方法について、自分の考えを整理して述べる。		
授業計画	第1回 オリエンテーション・重要ポイントの解説（ミニテスト・講義） 9/30(火)3限 実Ⅲ（担当：宮越） 第2回 国際看護の定義と国際看護学の学習内容（講義・意見交換） 9/30(火)4限 実Ⅲ（担当：宮越） 第3回 国際保健協力を展開する場と対象、協力の原則（講義・意見交換） 10/7(火)3限 実Ⅲ（担当：宮越） 第4回 IPW/IPEの国際展開とエスノグラフィーによるメキシコの臨地実習フィールドワークの事例（講義） 10/7(火)4限 実Ⅲ（担当：宮越） 第5回 国際社会の課題と目標（講義） 10/14(火)3限 実Ⅲ（担当：宮越） 第6回 国際保健医療で提唱される原則と考え方（講義・意見交換） 10/14(火)4限 実Ⅲ（担当：宮越） 第7回 多様性に満ちた地球で実現しうる「幸せ」の形（講義・意見交換） 10/21(火)3限 実Ⅲ（担当：宮越） 第8回 ニューノーマルの保健戦略（意見交換） 10/21(火)4限 実Ⅲ（担当：宮越） 第9回 医療処置や看護技術のエビデンス（事前学習に基づく意見交換） 10/28(火)3限 実Ⅲ（担当：宮越） 第10回 日本と異なる医療処置や看護技術への考え方と対応（講義・意見交換） 10/28(火)4限 実Ⅲ（担当：宮越） 第11回 多様な文化を考慮した看護に必要な考え方（講義・意見交換） 11/4(火)3限 実Ⅲ（担当：宮越） 第12回 在日外国人の生活と健康課題、保健医療支援（講義・演習） 11/4(火)4限 実Ⅲ（担当：宮越） 第13回 多文化共生の概念と看護の実践に基本となる概念（講義） 11/11(火)3限 実Ⅲ（担当：宮越） 第14回 文化的背景が異なる対象の看護アセスメントと実践（講義・演習レポート①） 11/11(火)4限 実Ⅲ（担当：宮越） 第15回 看護実践の国際展開とキャリア形成 私にとっての「グローバル・ナーシング」（講義・課題レポート②） 11/18(火)3限 実Ⅲ（担当：宮越）		
教科書	浦田喜久子編 「系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践③ 災害看護学・国際看護学」第5版 医学書院		
参考図書	1. 柳澤理子「国際看護学 - 看護の統合と実践 - 開発途上国への看護実践を踏まえて」 PILAR PRESS 2. 大橋一友ら「国際化と看護：日本と世界で実践するグローバルな看護をめざして」 メディカ出版 3. 丸井英二ら「国際看護・国際保健」 弘文堂 4. 日本国際保健医療学会「国際保健医療学」 杏林書院 5. デビッド・ワーナー「医者はいないところで 村のヘルスケア手引書」（日本語版） SHARE 6. エーリッヒ・ショイルマン「パパラギ はじめて文明を見た南海の酋長ツイアピの演説集」 立風書房 7. くさばよしみ「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」 汐文社 8. ブレイディみかこ「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」 新潮社（文庫版もあり）		

	9. プレイディみかこ 「他者の靴を履く アナーキック・エンパシーのすすめ」 文藝春秋
予習・復習内容	・重要な要点は初回授業で解説します。以降、動画や画像を中心に様々な対象やその価値観をイメージしながら、時には常識の眼鏡をはずして、自由に意見交換できる準備をお願いします。 ・資料は前日にはTEAMSの「ファイル」に提示しますので一読し、自分の考えが説明できるよう準備してきてください。 ・看護実践の基本的な知識・技術のエビデンスを復習し、同じ技術や医療行為でも国や文化が異なるとどうなるか、なぜそのように行われるのか、どう協働できるのか、具体的な場面での対応を説明できるようにしましょう。
成績評価方法	意見交換やグループワークの課題 50%、 2回分の課題レポート 50%
履修上の注意	・国際看護は国外での実践だけを指すものではなく、4年間の最後の時期に、これまで学んできた日本の医療・看護のエビデンスを改めて見直したり、文化人類学や哲学などの観点からなど広く「医療や看護」を捉えなおす機会にしましょう。 ・国際社会は何を本質として追及しているのか。新聞やニュースなど身近な事象から、多様性に満ちた地球上で実現しうる「幸せ」や「健康」について改めて考えてみましょう。 ・Think globally, act locally 国際看護で学んだ内容を自分の拠り所となる場で、どう応用できるか考えましょう。
担当教員への連絡方法	Email:miyakoshi.sachiyo@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	JICA青年海外協力隊派遣でのボリビア国国立大学看護学科での国際協力、メキシコ山岳地域での約1年間にわたる看護大学生による社会奉仕実習のフィールド調査、ネパールやトルコ大地震後の看護師としての災害医療支援経験等を有する。
実務経験と授業科目の関連性	海外の医療や看護の実例を映像、調査研究結果などをもとに解説し、日本の看護や特有の価値観を多角的な視点からとらえなおし、ニューノーマルの時代に求められる保健医療・看護活動について、リスク管理を含めた指導が可能である。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 看護の統合と実践

講義科目名称： 早期体験実習

授業コード： 63010

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年	1単位	必修
担当教員			
西村 明子、小林 由枝、寺島 公江、松石 健太郎、松本 あつ子、宮越 由賀			
	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	保健医療福祉に共通する対人援助の基盤となるコミュニケーションの実際を学ぶ。看護は良好なコミュニケーションに裏打ちされた患者と看護師との人間関係・信頼関係のもとで行われる。本科目では、入学した早期に、人間と人間の間を築き・深めるためのコミュニケーションに関する理論と方法及び態度を学び、対人関係の基盤を創る。また、基礎的な救急蘇生の実際について必要な手技を修得する。
学修目標	1. 対人関係の基盤となるコミュニケーションについて、概念やモデルに基づいた技法の基礎を述べるができる。 2. 看護実践におけるコミュニケーションの意義、目的を説明できる。 3. 地域で暮らす人々の健康や療養生活に注目しながらコミュニケーションを実践することができる。 4. 他者とのコミュニケーションを通して、そこでの出来事とその意味について考察できる。 5. 対人関係の基盤となるコミュニケーションにおける自己の課題について述べるができる。 6. 看護実践において人間と人間の間を築き深めるために、コミュニケーションの知識、技法、態度を修得する重要性に気づくことができる。 7. 日常生活において発生する突発的な事故や病気に対処する基礎的知識・技術を修得できる。
授業計画	実習内容 1. 対人関係の基盤となるコミュニケーションの概念や理論、モデル、技法を学ぶ。 2. 看護を必要とする対象者とのコミュニケーションの実際を学ぶ。 3. 不慮の事故や突然の疾病といった緊急事態に、適切に対処するための基礎的知識について学ぶ。 4. 一次救命処置（心臓マッサージ、AEDの使い方）の基礎的な手技を実践する。 実習方法 1. 対人関係を築き、看護を実践するためのコミュニケーションについて、事前学習を行う。 2. 病院、介護保険施設で看護師のシャドウイングを通してコミュニケーション場面を見学する。 3. 救急蘇生に必要な知識、心臓マッサージの方法、AEDの使い方を、実技体験を通して修得する。 実習場所 ケアハウス南長野 グリーンヒル グリーンヒル篠ノ井中央館 長野赤十字病院 長野市民病院 篠ノ井総合病院 千曲中央病院
教科書	なし
参考図書	志自岐康子 他編「ナースング・グラフィカ基礎看護学①（看護学概論）」第7版 メディカ出版
予習・復習内容	1年前期の開講科目である人間関係論、看護学概論で学習したコミュニケーションに関する内容をしっかり復習してください
成績評価方法	目標の達成度100%（実習50%、記録30%、課題20%による総合評価）
履修上の注意	なし
担当教員への連絡方法	E-mail:nishimura.akiko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当教員は看護師として病院に勤務し、患者・家族に対する看護の実践経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	このことから、療養生活を営む患者の看護におけるコミュニケーションの重要性や、臨床での実践経験を教授することで学生の理解を促すことが可能となる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 （看護師課程） 臨地実習 基礎看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	必修
担当教員			
西村 明子、小林 由枝、松石 健太郎、宮越 由賀			
	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	看護実践の場に身を置き、病棟実習を通して看護師の活動の実際に触れ、どのように看護を展開していくかを学ぶ
学修目標	1. 看護技術が提供される場面を見学し、適用された看護技術の目的と特徴を説明することができる。 2. 実在する患者の健康上の問題を理解するために、効果的なコミュニケーションを用いることができる。 3. 患者の反応と看護師の反応を観察することができる。 4. 実習を通して学習したことを他者と共有することができる。
授業計画	実習内容 1. 受け持ち患者に関心を向けながら、患者に合わせた意図的なコミュニケーションを図る。 2. 実習での体験を通して、コミュニケーションにおける自己の課題を見出す。 3. 入院患者の生活の場を観察し患者の健康障害や入院生活について理解する。 4. 患者のニーズに合った看護援助を考え安全・安楽・自立を考えて実施できる。 5. 実習を通して学習したことを他者と共有する。 実習方法 1. 病院で実習を行う。 2. 実習指導者から病棟オリエンテーションを受ける。 3. 実習目標に基づき、行動計画を立案する。 4. 日々の行動計画は実習指導者および担当教員、グループメンバーと調整しながら実施する。 5. 対象者とコミュニケーションを図り自己の課題を明確にする。 6. 日々自身の活動を振り返りながら学習成果と課題を明確化し、実習指導者および担当教員、グループメンバーと共有する。 実習場所 長野赤十字病院 南長野医療センター篠ノ井総合病院 長野市民病院 千曲中央病院
教科書	なし
参考図書	看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント方法論Ⅰ、病態・疾病治療論Ⅰ・Ⅱで使用した教科書、配布資料、その他を適宜紹介する。
予習・復習内容	本実習に臨むためには、看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント方法論Ⅰ、形態機能学Ⅰ・Ⅱ、病態・疾病治療論Ⅰ・Ⅱなどの講義や演習で学んだことを復習しておいてください。
成績評価方法	目標の達成度100%（実習60%、提出物40%による総合評価）
履修上の注意	単位を取得していることが必要な科目：それまでに開講される「専門基礎科目」の必修科目、看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ、基礎看護技術論Ⅱ、ヘルスアセスメント方法論Ⅰ、早期体験実習
担当教員への連絡方法	E-mail:nishimura.akiko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当教員は病院勤務経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	担当教員は病院勤務経験を有することから、治療過程における看護技術について、理論と実践に基づいた実習を提供することができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 臨地実習 基礎看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
西村 明子、小林 由枝、松石 健太郎、宮越 由賀			
	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント方法論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学実習の学習内容を基盤に安全と安楽に配慮して実在する患者の日常生活を支える看護を実践する。本実習を通して、看護学の知識・技術・態度を統合し、看護実践能力を養う。
学修目標	1. 実在する患者を受け持ち、看護過程を適用し看護を展開することができる。 2. 受け持ち患者の看護行為を責任を持って行うことができる。 3. 患者や医療従事者、他の学生や指導者と効果的にコミュニケーションを図ることができる。 4. 実習体験を振り返り、根拠に基づいた看護を提供するための自己課題を見出すことができる。
授業計画	実習内容 1. 受け持ち患者を理解するための効果的なコミュニケーションを適用する。 2. 受け持ち患者の生活や健康上の問題を解決・回避するために看護過程を適用する。 3. 受け持ち患者に対する倫理的配慮を実践する。 4. 受け持ち患者を取り巻く専門職者との情報を共有する。 5. 学習成果と学習課題を明確化する。 実習方法 1. 病院で実習を行う。 2. 実習指導者から病棟オリエンテーション、受け持ち患者の紹介を受ける。 3. 1人の学生が1名の患者を受け持つ。 4. 実習目標に基づき、実習計画を立案する。 5. 日々の実習計画は実習指導者および担当教員、グループメンバーと調整しながら実施する。 6. 受け持ち患者に看護技術を提供する際は、看護職者または担当教員が同行する。 7. 日々自身の活動を振り返りながら学習成果と課題を明確化し、実習指導者および担当教員、グループメンバーと共有する。 実習場所 長野赤十字病院 南長野医療センター篠ノ井総合病院 長野市民病院 千曲中央病院
教科書	なし
参考図書	看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント方法論Ⅰ・Ⅱ、病態・疾病治療論Ⅰ・Ⅱで使用した教科書、配布資料、その他を適宜紹介する。
予習・復習内容	本実習に臨むためには、看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント方法論Ⅰ・Ⅱ、形態機能学Ⅰ・Ⅱ、病態・疾病治療論Ⅰ・Ⅱなどの講義や演習で学んだことを復習しておいてください。
成績評価方法	目標の達成度100%（実習60%、提出物40%による総合評価）
履修上の注意	単位を取得していることが必要な科目：それまでに開講される「専門基礎科目」の必修科目、ヘルスアセスメント方法論Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰ
担当教員への連絡方法	E-mail:nishimura.akiko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当教員は病院勤務経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	担当教員は病院勤務経験を有することから、治療過程における看護技術について、理論と実践に基づいた実習を提供することができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 臨地実習 基礎看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	必修
担当教員			
横関 祐子、山本 順子			
		授業形態：実習	
添付ファイル			

授業目標	地域の中で療養する人々やその家族を理解し、その人らしい在宅生活の継続に向けた看護の実践について学ぶ。また対象や多職種との関わりを通して、看護観、死生観を深め、地域で看護を実践するための能力と態度を養う。
学修目標	1. 在宅の療養者および家族の日常生活を尊重した支援の実践を知り、援助関係の構築について理解することができる。 2. 在宅の療養者および家族の願い・困難・価値観・支えとなる関係について関心をもち援助の必要性を考えることができる。 3. チームケアの協働・連携の必要性を理解することができる。 4. 在宅看護における看護倫理について学び、実践することができる。 5. 実習を通して、自己の人間観、看護観を養うことができる。
授業計画	実習内容 1. 訪問看護ステーションや地域包括支援センター等の役割・特徴・活動の理解 2. 在宅の療養者および家族の日常生活を尊重した支援の実践の理解 3. 在宅の療養者および家族の生活に適した援助の実践の理解 4. 実際の活動場面から、療養者および家族との援助関係の構築についての理解 5. 在宅の療養者および家族の願い・困難・価値観・支えとなる関係などについての関心および援助の必要性の理解 6. 在宅におけるチームケアの協働・連携の必要性の理解と看護の役割の理解 7. 施設から地域への医療・看護の継続性の理解 実習方法 1. 訪問看護ステーション 1) 訪問看護師に同行し、援助の実践を見学する 2) 訪問看護師の指導のもとに、バイタルサインの測定や体位変換等の補助を行う 3) 訪問看護師と療養者および家族の相互場面を観察し、訪問看護師が、なぜそれを行ったのか分析し、訪問看護師に確認する 4) 担当する1事例についてアセスメントし関連図を書き、療養者および家族の願い、困難、価値観・支えとなる関係を理解する 2. 地域包括支援センター等(地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、地域医療連携課、デイサービスセンター) 1) 援助の実践を可能な限り見学し、チームケアとしての協働・連携および看護の役割を理解する 実習場所 長野赤十字訪問看護ステーション 訪問看護ステーションしののけ 訪問看護ステーションしんまち 訪問看護ステーションまつしる 訪問看護ステーションアブリコット 訪問看護ステーションはる風 むすびの森篠ノ井訪問看護ステーション 居宅介護支援事業所長野赤十字病院 長野松代総合病院地域医療連携課 長野市地域包括支援センター篠ノ井総合病院 居宅介護支援事業所新町病院 千曲中央病院医療相談室 デイサービスむすびの森
教科書	なし
参考図書	参考書は指定しない。適宜紹介いたします。
予習・復習内容	(1) 在宅看護論実習の全般にわたり必要となる知識について学習する。 (糖尿病、慢性閉塞性肺疾患、アルツハイマー型認知症、在宅酸素、CVポートなど) (2) 介護保険法に関しては十分学習し、常に参考にできるように実習施設に持参する。 (3) 訪問時のマナー、コミュニケーションについては講義や演習内容を復習し、ポイントをまとめ実習施設に持参する。
成績評価方法	目標の達成度100%（実習60%、提出物40%による総合評価）
履修上の注意	単位を取得していることが必要な科目：地域・在宅看護学Ⅰ、地域・在宅看護学Ⅱ、地域・在宅看護学方法論
担当教員への連絡方法	実習オリエンテーション時に説明いたします
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当教員は、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、行政機関での訪問指導、高齢者の相談業務経験を有する。また赤十字健康生活支援講習の指導員として地域の講習会の指導経験の実務経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	経験を踏まえ、科目を展開することができる
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 臨地実習 地域・在宅看護論

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	4単位	必修
担当教員			
ミルズ しげ子、寺島 公江、今西 亮			
		授業形態：実習	
添付ファイル			

授業目標	健康上の問題を有する成人期の対象に対し理解を深める。発達段階、社会的役割の側面などから入院・加療し社会へ戻っていく中でどのような関わりが必要かを実際に対象を受け持ち考えていく。その中で対象に必要なこととして、日常の観察から臨床判断、問題解決を優先順位を含め考えていく。また、家族と援助関係を形成し、健康問題や生活環境を知り、保健、医療、福祉と連携をとりながら問題解決を図る過程について学ぶ。対象の人生や価値観を尊重し、健康生活のあり方や意思決定を支援するとともに、他職種と協働しながら患者や患者を取り巻く人々への援助を実践する。実習期間中には病棟以外の治療・療養の場での患者の過ごし方と看護について見学し必要な看護援助について考えを深める。（緩和ケア病棟、透析室、ICU、CCU、手術室等）
学修目標	1. 成人各期の発達段階、発達課題を踏まえて対象を理解する。 2. 健康障害を有する対象の病態、治療について正確に理解し、患者が安全に医療を受けることができるための援助を考え、実践することができる。 3. 患者（とその家族）がより健康的で、その人らしい生活を維持・拡大するのに必要な支援について考えることができる。 4. 患者とその家族へ関心をもち、看護学生として適切な人間関係を築くように努める。 5. 保健医療チームの一員としての自覚をもち、連絡・報告・相談ができる。 6. 他職種との協働における看護の役割について考えることができる。
授業計画	実習内容 1. 一般病棟において健康障害をもち、入院加療している患者を受け持ち、身体的変化ならびに心理社会的問題について主に看護過程を用いて思考を整理し、適切な看護を実践する。 2. 治療後の回復過程ならびに退院に向けて必要な看護を実践する 3. カンファレンスを通して、情報・知識・体験を分かち合い、学びを広げる 4. 実習を通して自己の傾向と課題を明確にする 5. 患者の療養・治療環境ならびに看護の継続性について学びを深める 実習方法 1. 4週間/Gのうち2週間は病棟にて、原則1名の患者（例：急性期・慢性期）を受け持つ。 2. 原則、受け持った患者とともに実習場所を移動する。（例：手術室、ICU/HCU、透析室、リハビリ室、各種特殊外来等） 3. 自分が困ったことや疑問、問題に感じたことをテーマにしたカンファレンスや受け持ち患者を紹介し、その患者への看護について共有し深めるためのケースカンファレンスなど、適宜必要なカンファレンスを行う。 4. 記録用紙、カンファレンス、面談等にてリフレクションを行う。 5. 4週間/Gのうち数日間は病棟以外の場（例：緩和ケア病棟、手術室、ICU/HCU/CCU、透析室、外来等）での見学実習を組む。 実習場所 実習に関する詳細な内容については別途実習要項を配布する。 長野赤十字病院 南長野医療センター篠ノ井総合病院 信州上田医療センター
教科書	なし
参考図書	必要時提示します
予習・復習内容	成人看護学概論、成人看護学方法論ⅠⅡの講義、演習内容ならびに基礎看護技術や病態疾病治療論等の知識が全て必要となるため、必ず復習をしておくこと
成績評価方法	目標の達成度100%（実習60%、提出物40%による総合評価）
履修上の注意	単位を取得していることが必要な科目：成人看護学概論、成人看護学方法論Ⅰ・Ⅱ
担当教員への連絡方法	実習オリエンテーションでアナウンスします
授業に関する大学教員以外の実務経験	実習指導を担当する教員はさまざまな分野にて看護師として豊富な臨床経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	実習指導を担当する教員はさまざまな分野にて看護師として豊富な臨床経験を有する
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 臨地実習 成人看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	4単位	必修
担当教員			
鈴木 真理子			
	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	高齢者の生活の場を考慮し、地域の多様なケア施設、地域包括ケアに位置づけられる医療機関などを視野に入れ、認知機能低下や慢性疾患を持つ高齢者を対象として、身体面・心理面・社会面からの健康状態を包括的にアセスメントする能力を養う。また、実践の場の特徴を理解し、多職種チームメンバーの一員として協働しながら、看護実践する。
学修目標	1. 加齢変化や疾病・治療が高齢者の健康状態や生活機能に及ぼす影響を考察できる。 2. 高齢者と家族にとって環境の意味を理解し、高齢者の特性を踏まえた生活環境を考察できる。 3. 高齢者の全体像を身体的、心理的、社会的側面から捉え、包括的アセスメントし、療養上の課題を明確にできる。 4. 高齢者とその家族の価値観や意思を捉え、高齢者の尊厳を重視した看護実践ができる。 5. 実習の経験を振り返り、自己洞察を深め、看護者としての自己の課題を明確にできる。
授業計画	実習内容 1. 高齢者への看護実践(看護過程の展開)を中心に主体的に学習計画を立案する 1) 受持ち患者の選択 2) 実習指導者との調整 3)カンファレンス 2. 専門技術の履修 1) コミュニケーション技術の工夫と確立 2) 高齢者の療養環境のアセスメントと適切な環境整備 3)測定技術の履修 4) 高齢者と家族への支援・関係調整 (退院調整、社会資源の紹介を含む) 実習方法 1. 医療施設に入院する高齢者を原則1名受け持ち、学習目標を達成する 2. 高齢者との実際のコミュニケーションや関わりを通して、その人の価値観や社会的ニーズなどについて考える 3. 介護保険施設における介護・看護・医療の連携と看護の役割を学ぶ 4. 高齢者を包括的にアセスメントし、療養生活上の課題を明確にし、指導者とともに看護実践する 5. 医療施設の地域連携部門等における専門職の活動を体験し、高齢者の退院後の生活を見据えた退院調整を学ぶ 6. カンファレンスや日々の実習記録などを通して学びを深める 実習場所 ケアハウス南長野 グリーンヒル 介護老人保健施設ひまわり メディケア千曲中央 長野赤十字病院 千曲中央病院
教科書	教科書は使用しない
参考図書	老年看護学概論、老年看護学方法論で配布した資料や提示した参考図書、病態・疾病治療論Ⅰ～Ⅴなどで使用した教科書や配布資料、その他、必要に応じて適宜紹介する
予習・復習内容	実習要項を熟読し、記載内容を十分に理解すること。これまでに学習した老年看護学概論、老年看護学方法論などの講義や演習で学んだ内容を復習すること。
成績評価方法	目標の達成度（実習80%、提出物20%）による総合評価
履修上の注意	単位を取得していることが必要な科目：看護展開論実習、老年看護学概論、老年看護学方法論
担当教員への連絡方法	E-mail:suzuki.mariko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	急性期医療を担う医療機関の勤務経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	看護理論と看護実践とのつながりを探求できる学習を提供できる
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 (看護師課程) 臨地実習 老年看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	必修
担当教員			
元山 彩織、箕口 ゆう子			
		授業形態：実習	
添付ファイル			

授業目標	さまざまな発達段階・健康レベルにある子どもとその家族に接する体験を通して、小児看護の対象を理解し、看護過程の一連のプロセスの展開を通して必要な援助・支援を実践する。入院・治療・検査において、小児の成長・発達や家族への影響を理解し、日常生活援助を実践するとともに、小児看護特有の基本的な看護技術・態度を習得する。
学修目標	1. 子どもの発達に応じた方法で、コミュニケーションをとり相互作用ができる。 2. 子どもを取り巻く環境や成長・発達の家庭に基づいて対象を理解する。 3. 子どもの健康レベルを理解する。 4. 子どもの発達と健康レベルに応じた必要な援助を計画し、実践する。 5. 子どもをめぐる保健・医療・福祉・教育における役割を考える。 6. 子どもと家族を尊重し、誠実な態度で関わる。 7. 医療・看護チームの一員としての自覚を持ち、責任ある行動をとる。
授業計画	実習内容 1. 子どもの生活する環境の理解 2. 子どもと家族との意図的なコミュニケーションによる相互作用の展開 3. 子どもの安全に配慮した実践 4. 子どもの成長・発達ならびに子どもの健康レベルのアセスメント 5. 病気や障がい子どもと家族の発達や日常生活に及ぼす影響のアセスメント 6. 子どもと家族への看護計画の立案、実施、評価 7. 遊びおよび教育機会の保証、子どもの権利、継続看護の重要性について理解ならびに看護の実践 8. 保健・医療・福祉および教育に関わる多職種との連携の実際と看護師の役割についての理解 9. 子どもと家族の生活を支える社会資源の理解 実習方法 1. 小児病棟と医療型障害児入所施設において実習を行う。 2. グループメンバーや実習指導者および担当教員からの意見、さらには子どもや家族からの希望をもとに看護の方向性を明らかにし、子どもと看護を家族に適した実践する。 3. 日々のカンファレンスでは、小児看護に特徴的なテーマについて話し合い看護の意義を見出す。 4. 実習最終日のカンファレンスでは、自身の看護実践を振り返り、グループメンバーと学びを共有すると共に、今後の課題を明確にする。 実習場所 長野赤十字病院 南長野医療センター篠ノ井総合病院 まつもと医療センター 稲荷山医療福祉センター
教科書	なし
参考図書	小児看護学概論、小児看護学方法論、病態・疾病治療論Ⅰ・Ⅱ等で使用した教科書、配付資料。その他、必要に応じて適宜紹介します
予習・復習内容	本実習に臨むにあたり、これまで学習した小児看護学概論、小児看護学方法論、病態・疾病治療論などの講義や演習で学んだことを、しっかり復習してください。学習の積み重ねができるよう自己の課題を明確にし、実習に臨んでください。
成績評価方法	目標の達成度100%（実習60%、提出物40%）による総合評価
履修上の注意	単位を取得していることが必要な科目：小児看護学概論、小児看護学方法論
担当教員への連絡方法	授業内で連絡する
授業に関する大学教員以外の実務経験	なし
実務経験と授業科目の関連性	なし
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 臨地実習 小児看護学

講義科目名称： 母性看護学実習

授業コード： 6350A

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	必修
担当教員			
小林 康子、ヒー チン ピン			
	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	妊娠、分娩、産褥及び育児期にある母体の生理的変化と胎児・新生児の成長・発達や胎外生活適応への過程に関する理解を踏まえ、母子及び家族を対象として健康を保持・増進するためのアセスメント及び必要な知識・技術・態度を統合し、看護過程を展開する。
学修目標	1. 妊婦・胎児及びその家族が妊娠によって生ずる変化に適応し、分娩および育児に向けて最良の状態でこの時期を過ごせるように支援するための看護ケアを理解することができる。 2. 産婦及び胎児が分娩によって生ずる変化に適応し、安全で快適にこの時期を過ごし満足いく出産体験ができるケアとは何かについて考え、理解することができる。 3. 褥婦に生ずる心身の変化を理解すると共に、褥婦及びその家族が親としての役割を遂行していくために必要な看護ケアを理解し、提供することができる。 4. 新生児の胎外生活への適応過程及びその後の成長発育を理解し、必要な看護ケアを提供することができる。 5. 地域における母子及びその家族の生活を継続して支援するための母子保健システムを理解することができる。
授業計画	実習内容 1. 妊婦・産婦・褥婦及び新生児に対する生理的変化の理解と必要な看護ケアの理解。 2. 親となる過程の理解と必要な看護ケアの理解。 3. 妊産婦及び新生児に対するフィジカルアセスメント及び基本的な看護技術の修得。 4. 乳幼児の成長発達と保育園の役割の理解。 5. 母子及び家族を支える母子保健システムの実践と母子保健チーム活動の理解。 実習方法 1. 妊産褥婦及び新生児が入院する医療機関の病棟及び外来において、実習を行う。 2. 実習はじめに、妊産褥婦及び新生児に関するOSCE（客観的臨床能力試験）を実施する。 3. 母子及び家族を受け持ち、必要な情報の収集、看護計画の立案、実施、評価の一連の看護過程を展開する。 4. 保育園実習を通して乳幼児と触れ合い子どもの成長発達を理解すると共に、保育園の役割や意義を共有する。 5. 適宜カンファレンスを行い、各自の看護過程を振り返ると共に、グループメンバーと学びを共有する。 また母性看護学実習の中からテーマを抽出し、話し合いの過程を通して、各自の思考過程を発展させるとともに、その意義を理解する。 6. 実習に関する詳細は、別途「母性看護学実習要項」を配付するとともに、母性看護学関連授業の中で説明する。 実習場所 南長野医療センター篠ノ井総合病院 清水産婦人科医院 長野県立こども病院 信州上田医療センター 川中島こども園
教科書	1. 森恵美他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ母性看護学①(母性看護学概論)」 医学書院 2022年出版 2. 森恵美他著「系統看護学講座 専門分野Ⅱ母性看護学②(母性看護学各論)」 医学書院 2022年出版
参考図書	1. 医療情報科学研究所「病気がみえる Vol.10産科」 メディックメディア 2. 百枝幹夫、他 NICE看護学テキスト「病態治療論13 産科婦人科疾患」 南江堂 3. 櫛引美代子「カラー写真で学ぶ 周産期の看護技術」 医歯薬出版 4. 櫛引美代子「カラー写真で学ぶ 妊産褥婦のケア」 医歯薬出版 5. 杉山充弘「ナースの産科学」 中外医学社 など適宜紹介します。
予習・復習内容	母性看護学概論及び母性看護学方法論の講義や演習の中で学んだ事柄を復習し実習に臨んでください。なお実習はじめに実施する筆記試験とOSCE（客観的臨床能力試験）に合格しなければ、臨床実習に出向くことはできません。
成績評価方法	評価配分：OSCE（客観的臨床能力試験） 40%、母性看護学実習目標の達成度 40%、実習に取り組む姿勢や態度 20%
履修上の注意	単位を取得していることが必要な科目：母性看護学概論、母性看護学方法論
担当教員への連絡方法	E-mail:kobayashi.yasuko@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	産科病棟、周産期病棟での実務経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	担当する教員はそれぞれが助産師としての実務経験を有することから母子及び家族に対する看護について理論と実践を伝えていくことで、より理解や興味が深まる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 （看護師課程） 臨地実習 母性看護学

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	必修
担当教員			
田中 高政、高野 隆善			
	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	精神障害をもつ人々との関わりを通して、保健・医療・福祉・チーム医療について理解を深め、看護の役割と協働について学ぶ。対人コミュニケーション能力を高め、心の看護を実践するための知識、技術、態度を身につける。
学修目標	1. 精神看護の対象となる人と精神看護の行われる環境について理解することができる。 2. 精神看護の対象となる人を治療的コミュニケーションを通して全人的にアセスメントすることができる。 3. 精神看護の対象となる人の生活上の困難や強みを理解し精神看護を実践することができる。 4. 精神医療チームの一員としての看護師の役割について理解することができる。 5. 実践した看護場面をふりかえりながら自己洞察することができる。 6. 精神看護における人権擁護や倫理的課題について感性を高めることができる。 7. 地域社会における精神看護の役割と重要性について理解することができる。
授業計画	実習内容 1. 精神障害を持つ人と援助的関係を形成しながら、その人を全人的に理解する。 2. 精神障害を持つ人の地域での生活状況を理解し、社会資源と必要な支援および精神保健・医療福祉について理解を深める。 3. 精神看護を実践しながら自己洞察を深める。 実習方法 1. 病棟実習では精神科病院で患者を1名受け持ち、精神に障害がある「人」について心理的・身体的・社会的に理解する。 2. 精神科デイケアや就労継続支援事業所では、精神疾患を持ちながら地域で生活する人々への支援や課題について理解する。 3. プロセスレコードを記述し、精神看護実践をふりかえるとともに自己洞察を行う。 4. グループメンバー・実習指導者・教員とカンファレンスを行い学びを共有する。 5. 多職種カンファレンスに参加し、精神科におけるチーム医療について理解する。 6. リハビリテーションやレクリエーションに患者とともに参加し、治療的意味について理解する。 実習場所 長野赤十字病院、篠ノ井橋病院、就労継続支援施設、障害者福祉施設
教科書	精神看護学概論、精神看護学方法論で使用した教科書
参考図書	随時紹介します
予習・復習内容	1. 統合失調症および感情障害の病態・検査・治療・看護 2. 精神障害に関連する法律・制度・福祉 3. 地域の社会資源
成績評価方法	目標の達成度100%（実習70%、提出物30%による総合評価）
履修上の注意	単位を取得していることが必要な科目：精神看護学概論、精神看護学方法論、基礎看護学実習Ⅱ
担当教員への連絡方法	E-mail: tanaka.takamasa@shitoku.ac.jp
授業に関する大学教員以外の実務経験	担当教員は、精神科病棟だけでなく精神科外来、一般病棟、ICU、救急救命センター、小児病棟、透析室、手術室での実務経験を有する。
実務経験と授業科目の関連性	幅広い実務経験により、精神看護の知識と技術を実践的に教授することができる
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3 （看護師課程） 臨地実習 精神看護学

講義科目名称： 統合実習Ⅰ（管理実習）

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	1単位	必修
担当教員			
鈴木 真理子、田中 高政、横関 祐子、ミルズ しげ子、小林 康子、箕口 ゆう子、寺島 公江、山本 順子、 ヒー チンピン、今西 亮、高野 隆善			
	授業形態：実習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	看護サービスを患者に効果的・効率的に提供するために統制された看護組織とそのシステム、医療職者の役割と機能について、リーダーシップ及びメンバーシップの実際を経験し学ぶ。これらの過程を通して、組織の一員として参画するプロセスや患者への看護過程の展開に必要な要因を理解する。
学修目標	1. 実習病院の特徴、地域での役割や位置づけを理解し説明できる 2. 患者やその家族に対して効果的・効率的な看護サービスを提供するための看護組織および看護以外の他部門との関連性について理解し説明できる 3. リーダーシップの視点を持ち、看護管理と医療安全の実践を理解し説明できる 4. リーダーシップの視点を持ちながら、メンバーとして責任をもって行動できる 5. 看護実践に必要なコミュニケーションを実践することができる
授業計画	実習内容 1. 看護サービスを患者家族に効果的・効率的に提供するために必要な看護組織やシステムに関する理解。 2. メンバーシップ、リーダーシップに対する役割の理解と、組織の一員として参画するプロセスの理解。 実習方法 1. 管理者（看護部長、副看護部長等）からの講義 2. 看護師長やリーダー等のシャドウイング 3. 看護実践をする中で適宜リーダーあるいはグループメンバーに報告、連絡、相談を行う 実習時間：8：30～15：30 実習スケジュールおよび実習内容・方法等についての詳細は実習施設ごとに提示 実習場所 長野赤十字病院 南長野医療センター篠ノ井総合病院 信州上田医療センター 千曲中央病院 安曇野赤十字病院、長野市民病院
教科書	適宜紹介する
参考図書	適宜紹介する
予習・復習内容	1年次～3年次に開講される全ての看護基礎科目、専門科目及び看護学実習で修得した知識・技術・態度を統合できるよう必要な予習や復習を進める。
成績評価方法	目標の達成度100%（実習60%、提出物40%による総合評価）
履修上の注意	1年次～3年次に開講される全ての看護基礎科目、専門科目及び看護学実習の単位取得
担当教員への連絡方法	南館事務室へ伝言してください
授業に関する大学教員以外の実務経験	看護職者として看護組織の中での実務経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	担当する教員それぞれが臨床における実務経験が豊富なことから、看護組織の構築や患者家族に対する看護について理論と実践を伝えていくことで、より理解や興味が深まる
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程） 臨地実習 看護の統合と実践

講義科目名称： 統合実習Ⅱ（地域包括ケア実習）

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	2単位	必修
担当教員			
鈴木 真理子、田中 高政、横関 祐子、ミルズ しげ子、小林 康子、箕口 ゆう子、寺島 公江、山本 順子、ヒュー チンピン、今西 亮、高野 隆善			
		授業形態：実習	主要授業科目：○
添付ファイル			

授業目標	病院、地域連携室、退院支援カンファレンスへの参画、外来、訪問看護ステーション、在宅、地域等での実習を通して、病院から地域、在宅へ「つなぐ」を視点に、医師や看護職、ケアマネージャー、理学療法士、作業療法士、介護士などの多職種連携 / 協働によるチームアプローチや役割について学ぶとともに、健康に寄与する看護職の役割を理解する。また、地域で生活する人々の健康レベルや健康課題に応じた地域包括ケアの意義を学ぶとともに、これからの地域ケアシステムのあり様を考える。
学修目標	1. 受け持ち患者に対して患者の健康状態、治療の内容と経過、患者の反応、その人の願いや価値観等から全体像を把握し必要な継続看護を考え、実践する 2. 受け持ち患者への退院支援（の一部）に関わり、退院調整プランを作成する 3. 受け持ち患者への多職種の関わりと連携を知り、継続看護に生かすことができる 4. チーム医療を担うメンバーとして多重課題（例：時間管理、ケアの優先順位等）における「正確さ」「安全性」の確保を考えながら行動できる 5. 看護の対象および全てのチームメンバーに対し尊重した態度で接するとともに、看護の実践を通して倫理観を高め、医療者として誠実に行動できる 6. 統合実習Ⅰ・Ⅱ及びこれまでの実習を振り返り、自身の看護への向き合い方、自分が大事にしたいことやめざす看護を考え・深め・論じることができる
授業計画	実習内容 1. 受け持ち患者の全体像の把握と必要な看護の実践 2. 受け持ち患者の退院調整プランの作成 3. 受け持ち患者に対しての多職種の関わりと連携の実践 4. 多重課題（例：時間管理、ケアの優先順位等）における「正確さ」「安全性」を考えた行動 実習方法 1. 患者を受け持ち、患者の全体像を把握しアセスメントを行い、必要な看護を実践する 2. 病棟スタッフとともに退院支援（の一部）に関わり、退院調整プランを作成する 3. 必要時、退院支援、退院調整に関わる部門（例：地域連携室等）の見学や看護チーム活動への同行、外来部門（例：看護専門外来、がん支援室、通院治療センター等）の見学 4. 多職種合同カンファレンスへの参加 5. 家屋調査、退院時訪問、院外訓練等への同行 実習時間：8：30～15：30 実習スケジュールおよび実習内容、実習方法等についての詳細は実習施設ごとに提示 実習場所 長野赤十字病院 南長野医療センター篠ノ井総合病院 信州上田医療センター 千曲中央病院 安曇野赤十字病院、長野市民病院
教科書	適宜紹介する
参考図書	適宜紹介する
予習・復習内容	1年次～3年次に開講される全ての看護基礎科目、専門科目及び看護学実習で修得した。知識・技術・態度を統合できるよう必要な予習や復習を進める。
成績評価方法	目標の達成度100%（実習60%、提出物40%による総合評価）
履修上の注意	単位を修得していることが必要な科目：1年次～3年次に開講される全ての看護基礎科目、専門科目及び看護学実習
担当教員への連絡方法	単位を修得していることが必要な科目：1年次～3年次に開講される全ての看護基礎科目、専門科目及び看護学実習
授業に関する大学教員以外の実務経験	看護職者として臨地での実務経験を有する
実務経験と授業科目の関連性	担当する教員それぞれが臨地における実務経験が豊富なことから、患者家族に対する継続看護や地域包括ケア推進に向けて様々な実践や基盤となる事柄を伝えていくことで、より理解や興味が深まる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表3（看護師課程）臨地実習 看護の統合と実践

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	選択
担当教員			
依田 明子、宮崎 紀枝、吉澤 恵子、堀内 和子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	公衆衛生看護の基本理念、目的、関連する概念や理論、公衆衛生看護の変遷について学ぶとともに、公衆衛生看護の対象となる個・家族への支援に必要な理論を学ぶ。さらに、PDCAサイクルで展開する公衆衛生看護活動の基本と公衆衛生看護における倫理について学ぶ。		
学修目標	1. 公衆衛生看護学の理念・概念について説明できる 2. 公衆衛生学・公衆衛生看護学的なアプローチによる、地域や集団を対象とした支援について説明できる 3. 公衆衛生看護活動に求められる倫理的実践について説明できる		
授業計画	第1回 オリエンテーション 保健師業務の根拠と活動指針 4/8(火)3限 実Ⅲ (担当：依田) 第2回 公衆衛生看護活動と教育の歴史 4/8(火)4限 実Ⅲ (担当：依田) 第3回 公衆衛生看護の基本理念、関連する概念 4/14(月)5限 実Ⅲ (担当：堀内) 第4回 社会環境の変化と健康課題 4/15(火)1限 S201 (担当：堀内) 第5回 公衆衛生看護活動の視点とアプローチ 4/22(火)3限 実Ⅲ (担当：堀内) 第6回 公衆衛生看護の対象：個人・家族 4/22(火)4限 実Ⅲ (担当：吉澤) 第7回 公衆衛生看護の対象：グループ・集団 4/29(火)3限 実Ⅲ (担当：堀内) 第8回 公衆衛生看護の対象：地域 4/29(火)4限 実Ⅲ (担当：依田) 第9回 公衆衛生看護と公衆衛生看護活動、演習①オリエンテーション 5/6(火)3限 実Ⅲ (担当：依田) 第10回 演習①公衆衛生看護と公衆衛生看護活動（グループワーク）（1） 5/6(火)4限 実Ⅲ (担当：依田、吉澤、堀内) 第11回 演習①公衆衛生看護と公衆衛生看護活動（グループワーク）（2） 5/13(火)3限 実Ⅲ (担当：依田、吉澤、堀内) 第12回 保健師活動における倫理、演習②オリエンテーション 6/3(火)3限 実Ⅲ (担当：宮崎) 第13回 演習②保健師活動における倫理 事例検討（1） 6/3(火)4限 実Ⅲ (担当：宮崎) 第14回 演習②保健師活動における倫理 事例検討（2） 6/6(金)3限 実Ⅲ (担当：宮崎) 第15回 まとめ 公衆衛生看護の責務 6/6(金)4限 実Ⅲ (担当：宮崎)		
教科書	1. 荒賀直子、後閑容子編 公衆衛生看護学jp 第6版 インターメディカル 2. 厚生労働統計協会 国民衛生の動向		
参考図書	1. 鳩野洋子他編 公衆衛生実践キーワード 医学書院 2. 麻原きよみ編 公衆衛生看護学テキスト1 公衆衛生看護学原論 第2版 医歯薬出版 3. 宮崎美砂子他編 最新 公衆衛生看護学総論 第3版 日本看護協会出版会 その他、授業で提示します		
予習・復習内容	事前に授業内容に該当する教科書・参考図書を読んで参加してください		
成績評価方法	評価配分：提出物 40%、定期試験 60%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	初回授業で連絡します		
授業に関する大学教員以外の実務経験	病院看護師・保健師（地域健康管理活動）行政保健師（市町村）		

実務経験と授業科目の関連性	病院看護師・保健師、地域健康管理活動等の実務経験があり、経験を踏まえ事例を交えながら科目を展開することができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 （保健師課程） 公衆衛生看護学概論

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3年	2単位	選択
担当教員			
依田 明子、吉澤 恵子、堀内 和子、宮越 幸代			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	公衆衛生看護活動について、ライフステージ別・対象別・対象集団別の特性やニーズ、関連する法・制度・施策を知る。そのうえで、対象特性に合わせて行う、それぞれの公衆衛生看護活動の目的、活動の実際および展開方法、活動の基盤となる関連理論等について、知識を修得する。		
学修目標	1. ライフステージ別・対象別・対象集団別の特性と健康課題、関連法・制度を理解し、必要な支援（ニーズ）と活用できる法・制度を述べることができる。 2. 個人・集団・地域を対象とした公衆衛生看護活動について理解し、述べることができる。		
授業計画	第1回	オリエンテーション 地域保健活動の基本 5/13(火)4限 実Ⅲ（担当：依田）	
	第2回	母子保健活動（対象集団の現状・課題と関連法・制度） 5/20(火)3限 実Ⅲ（担当：吉澤）	
	第3回	母子保健活動（保健活動の実際） 5/20(火)4限 実Ⅲ（担当：吉澤）	
	第4回	成人保健活動（対象集団の現状・課題と関連法・制度） 5/27(火)3限 実Ⅲ（担当：堀内）	
	第5回	成人保健活動（保健活動の実際） 5/27(火)4限 実Ⅲ（担当：堀内）	
	第6回	国際保健活動（国際保健における課題と対策、アプローチ） 6/10(火)3限 実Ⅲ（担当：宮越）	
	第7回	精神保健活動（対象集団の現状・課題と関連法・制度） 6/10(火)4限 実Ⅲ（担当：吉澤）	
	第8回	高齢者保健活動（対象集団の現状・課題と関連法・制度） 6/17(火)3限 実Ⅲ（担当：依田）	
	第9回	高齢者保健活動（保健活動の実際） 6/17(火)4限 実Ⅲ（担当：依田）	
	第10回	障害者保健・難病保健活動（対象集団の現状・課題と関連法・制度） 6/24(火)3限 実Ⅲ（担当：吉澤）	
	第11回	感染症保健活動（近年の動向、関連法・制度、保健活動の実際） 6/24(火)4限 実Ⅲ（担当：堀内）	
	第12回	学校保健活動（近年の動向、関連法・制度、保健活動の実際） 7/1(火)3限 実Ⅲ（担当：堀内）	
	第13回	環境保健と保健師活動（近年の動向と課題と関連法・制度） 7/1(火)4限 実Ⅲ（担当：堀内）	
	第14回	産業保健活動（対象集団の現状・課題と関連法・制度、保健活動の実際） 7/8(火)3限 実Ⅲ（担当：堀内）	
	第15回	まとめ 地域への支援と健康なまちづくり 7/8(火)4限 実Ⅲ（担当：依田）	
教科書	1. 荒賀直子、後閑容子編 公衆衛生看護学jp 第6版 インターメディカル 2. 宮崎美砂子他編 最新 公衆衛生看護学各論2 第3版2025年版 日本看護協会出版会 3. 厚生労働統計協会 国民衛生の動向		
参考図書	1. 岡本玲子編 公衆衛生看護学テキスト3 公衆衛生看護活動Ⅰ 第2版 医歯薬出版 2. 荒木田美香子編 公衆衛生看護学テキスト4 公衆衛生看護活動Ⅱ 第2版 医歯薬出版 3. 宮崎美砂子他編 最新 公衆衛生看護学各論1 第3版 日本看護協会出版会 その他、授業で提示します		
予習・復習内容	事前に授業内容に該当する教科書・参考図書を読んで参加してください		
成績評価方法	評価配分：提出物 30%、定期試験 70%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	初回授業で連絡します		
授業に関する大学教員以外の実務経	病院看護師・保健師（地域健康管理活動）行政保健師（市町村）		

験	
実務経験と授業科目の関連性	病院看護師・保健師、地域健康管理活動等の実務経験があり、経験を踏まえ事例を交えながら科目を展開することができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 （保健師課程） 公衆衛生看護活動展開論

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3年	2単位	選択
担当教員			
依田 明子、吉澤 恵子、堀内 和子			
年間授業回数：30回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	公衆衛生看護活動の基本理念と関連概念、ライフステージ別・対象別・対象集団別の課題やニーズを踏まえて、公衆衛生看護活動を行ううえで、必要な方法論と基本的な技術を講義・演習を通して習得する。さらに、長野県における公衆衛生看護実践例を通して具体的に理解する。		
学修目標	1. 公衆衛生看護活動の理念・概念と保健師活動について理解し、説明できる 2. 対象・地域の特性を踏まえた適切な支援技術の選択と支援方法について理解し、述べることができる 3. 公衆衛生看護活動に必要な技術を習得できる 4. 地区組織の育成・支援の方法について理解し、述べることができる。		
授業計画	第1回 オリエンテーション 公衆衛生看護と保健師活動 12/23(火)1限 実Ⅲ (担当：依田) 第2回 保健師が行う家庭訪問 -目的・計画・実施・評価 12/23(火)2限 実Ⅲ (担当：依田) 第3回 保健師が行う家庭訪問の実際 -プロセス 計画・実施から評価まで 12/23(火)3限 実Ⅲ (担当：依田) 第4回 保健師が行う家庭訪問の実際 -訪問かばん、物品による測定 12/23(火)4限 実Ⅲ (担当：吉澤) 第5回 演習① オリエンテーション 12/23(火)5限 実Ⅲ (担当：依田) 第6回 保健師が行う健康相談 -目的・対象・方法 12/24(水)1限 実Ⅲ (担当：吉澤) 第7回 保健師が行う健康相談の実際 -プロセス 計画・実施から評価まで 12/24(水)2限 実Ⅲ (担当：吉澤) 第8回 保健師が行う健康教育 -目的・対象・方法 12/24(水)3限 実Ⅲ (担当：堀内) 第9回 保健師が行う健康教育 -関連理論の活用 12/24(水)4限 実Ⅲ (担当：堀内) 第10回 健康教育の実際 -プロセス 計画・実施から評価まで 12/24(水)5限 実Ⅲ (担当：堀内) 第11回 健康診査と保健師の役割 1/6(火)1限 実Ⅲ (担当：吉澤) 第12回 健康診査の実際 -プロセス 計画・実施から評価まで 1/6(火)2限 実Ⅲ (担当：吉澤) 第13回 演習①家庭訪問計画の立案 (1) (グループワーク) 1/6(火)3限 実Ⅲ (担当：依田、吉澤、堀内) 第14回 演習①家庭訪問計画の立案 (2) (グループワーク) 1/6(火)4限 実Ⅲ (担当：依田、吉澤、堀内) 第15回 演習①家庭訪問計画の立案 (3) (グループワーク) 1/6(火)5限 実Ⅲ (担当：依田、吉澤、堀内) 第16回 演習①家庭訪問ロールプレイ発表 (1) 1/7(水)1限 実Ⅲ (担当：依田、吉澤、堀内) 第17回 演習①家庭訪問ロールプレイ発表 (1) 1/7(水)2限 実Ⅲ (担当：依田、吉澤、堀内) 第18回 演習①家庭訪問ロールプレイ発表 (2) 1/7(水)3限 実Ⅲ (担当：依田、吉澤、堀内) 第19回 演習①家庭訪問ロールプレイ振り返り、発表 1/7(水)4限 実Ⅲ (担当：依田、吉澤、堀内) 第20回 家庭訪問 (健康相談・健康診査・健康教育) まとめ 1/7(水)5限 実Ⅲ (担当：依田、吉澤、堀内) 第21回 健師が行うグループ支援、地域組織活動 -意義と役割 1/9(金)1限 S300 (担当：堀内) 第22回 保健師が行うグループ支援、地域組織活動 -関連理論と方法論		

	1/9(金)2限 S300 (担当：堀内) 第23回 保健師が行うグループ支援/地域組織活動 –住民の活動支援 1/9(金)3限 実Ⅲ (担当：吉澤) 第24回 保健師が行う地区活動 1/9(金)4限 実Ⅲ (担当：依田) 第25回 演習②オリエンテーション 1/9(金)5限 実Ⅲ (担当：依田) 第26回 演習②保健師が行う地区活動（グループ・ワーク）(1) 1/13(火)1限 実Ⅲ (担当：依田、吉澤、堀内) 第27回 演習②保健師が行う地区活動（グループ・ワーク）(2) 1/13(火)2限 実Ⅲ (担当：依田、吉澤、堀内) 第28回 演習④保健師が行う地区活動（グループ・ワーク）(3) 1/13(火)3限 実Ⅲ (担当：依田、吉澤、堀内) 第29回 演習④保健師が行う地区活動（発表） 1/13(火)4限 実Ⅲ (担当：依田、吉澤、堀内) 第30回 まとめ 保健師の活動と地域づくり 1/13(火)5限 実Ⅲ (担当：依田)
教科書	荒賀直子、後閑容子編 公衆衛生看護学.jp 第6版 インターメディカル
参考図書	1. 佐伯和子編 公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護の方法と技術 第2版 医歯薬出版 2. 宮崎美砂子他編 最新 公衆衛生看護学総論 第3版 日本看護協会出版会 その他、授業で提示します
予習・復習内容	事前に授業内容に該当する教科書・参考図書を読んで参加してください
成績評価方法	提出物 40%、定期試験（レポート）60%
履修上の注意	基本的には演習形式であるので主体的に参加してください
担当教員への連絡方法	初回授業で連絡します
授業に関する大学教員以外の実務経験	病院看護師・保健師（地域健康管理活動）行政保健師（市町村）
実務経験と授業科目の関連性	病院看護師。保健師、地域健康管理活動等の実務経験があり、経験を踏まえ事例を交えながら科目を展開することができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 （保健師課程） 公衆衛生看護活動展開論

講義科目名称： 公衆衛生看護学方法論Ⅱ

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	2単位	選択
担当教員			
依田 明子、吉澤 恵子、堀内 和子			
年間授業回数：30回	授業形態：演習		
添付ファイル			

授業目標	公衆衛生看護活動の基盤であり、地域の健康課題を解決するために行う地域診断の進め方について、そのプロセスを理論を踏まえて理解する。さらに、演習を通してこれらの実践力を身につける。		
学修目標	1. 地域診断に基づく公衆衛生看護活動の計画・実践・評価までの一連のプロセスを理解し、説明できる 2. 地域診断の考え方と方法を学び、模擬的に実施することができる 3. 地域住民の健康課題とその背景を明らかにし、解決方法を見出すプロセスと技術について述べるができる 4. エビデンスに基づく公衆衛生看護実践について理解し、述べるができる		
授業計画	第1回 オリエンテーション 地域診断：地域診断の目的・プロセス 4/9(水)3限 S201 (担当：堀内) 第2回 地域診断：地域診断の方法 4/9(水)4限 S201 (担当：堀内) 第3回 健康指標関連データの活用方法、演習①②オリエンテーション 4/9(水)5限 S201 (担当：堀内) 第4回 演習①地域の健康と生活に関するデータの収集と解釈 (1) (グループワーク) 4/16(水)3限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第5回 演習①地域の健康と生活に関するデータの収集と解釈 (2) (グループワーク) 4/16(水)4限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第6回 演習①地域の健康と生活に関するデータの収集と解釈 (3) (グループワーク) 4/16(水)5限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第7回 演習②地域の社会資源に関するデータの収集と解釈 (1) (グループワーク) 4/23(水)3限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第8回 演習②地域の地域資源に関するデータの収集と解釈 (2) (グループワーク) 4/23(水)4限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第9回 演習③地区踏査 オリエンテーション 4/23(水)5限 S201 (担当：吉澤) 第10回 演習③地区踏査計画の立案 (グループワーク) 4/24(木)2限 S201 (依田、吉澤、堀内) 第11回 演習③地区踏査の実施 (1) (グループワーク) 4/30(水)3限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第12回 演習③地区踏査の実施 (2) (グループワーク) 4/30(水)4限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第13回 演習③地区踏査の実施 (3) (グループワーク) 4/30(水)5限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第14回 演習③地区踏査結果まとめ (1) (グループワーク) 5/7(水)3限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第15回 演習③地区踏査結果まとめ (2) (グループワーク) 5/7(水)4限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第16回 演習③地区踏査結果まとめ (3) (グループワーク) 5/7(水)5限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第17回 演習③地区踏査結果まとめ (4) (グループワーク) 5/14(水)3限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第18回 演習③地区踏査結果グループ発表、振り返り (1) 5/14(水)4限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第19回 演習③地区踏査結果グループ発表、振り返り (2) 5/14(水)5限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第20回 演習④地域アセスメント オリエンテーション 5/21(水)3限 S201 (担当：堀内) 第21回 演習④地域アセスメント、健康課題の抽出 (1) (グループワーク) 5/21(水)4限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第22回 演習④地域アセスメント、健康課題の抽出 (2) (グループワーク)		

	5/21(水)5限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第23回 演習④地域アセスメント、健康課題の抽出 (3) (グループワーク) 5/28(水)3限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第24回 演習④地域分析結果グループ発表 (1) 5/28(水)4限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第25回 演習④地域分析結果グループ発表 (2) 5/28(水)5限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第26回 演習⑤地域診断発表の準備 (1) (グループワーク) 6/25(水)1限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第27回 演習⑤地域診断発表の準備 (2) (グループワーク) 6/25(水)2限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第28回 演習⑤地域診断発表の準備 (3) (グループワーク) 6/25(水)3限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第29回 演習⑤地域診断発表の準備 (4) (グループワーク) 6/25(水)4限 S201 (担当：依田、吉澤、堀内) 第30回 まとめ 保健師の活動と地域づくり 6/25(水)5限 S201 (担当：依田)
教科書	1. 厚生労働統計協会 国民衛生の動向 2. 荒賀直子、後閑容子編 公衆衛生看護学.jp 第6版 インターメディカル
参考図書	佐伯和子編 公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護の方法と技術 第2版 医歯薬出版 その他、授業で提示します
予習・復習内容	事前に授業内容に該当する教科書・参考図書を読んで参加してください
成績評価方法	評価配分：提出物 70%、定期試験（レポート）30%
履修上の注意	基本的には演習形式であるので主体的に参加してください
担当教員への連絡方法	初回授業で連絡します
授業に関する大学教員以外の実務経験	病院看護師・保健師（地域健康管理活動）行政保健師（市町村）
実務経験と授業科目の関連性	病院看護師・保健師、地域健康管理活動等の実務経験があり、経験を踏まえ事例を交えながら科目を展開することができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 （保健師課程） 公衆衛生看護活動展開論

講義科目名称： 公衆衛生看護管理論

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4年	2単位	選択
担当教員			
宮崎 紀枝、依田 明子、吉澤 恵子、堀内 和子			
年間授業回数：15回	授業形態：講義		
添付ファイル			

授業目標	行政組織、行政組織における保健師の役割を理解するとともに、行政組織における公衆衛生看護管理の目的や機能、公衆衛生看護管理者の役割、健康危機管理について、理論と実践例から理解する。また、管理機能を果たすうえで必要な理論や技術を学ぶ。		
学修目標	1. 行政組織、行政組織における保健師の役割について理解し、述べることができる 2. 行政組織における公衆衛生看護管理の目的や機能について理解し、説明できる 3. 保健師の基礎・継続教育について理解し、専門的自律のために必要なことを述べることができる		
授業計画	第1回 オリエンテーション 公衆衛生看護管理：公衆衛生看護管理の定義、目的と特徴 9/22(月)3限 S201 (担当：宮崎) 第2回 基本的な公衆衛生看護管理機能：情報管理、業務管理、予算管理、地域ケアの質の管理 9/22(月)4限 S201 (担当：依田) 第3回 行政組織と組織運営管理、人事管理 9/22(月)5限 S201 (担当：堀内) 第4回 保健医療福祉計画の策定、事業化・施策化 9/29(月)3限 S201 (担当：吉澤) 第5回 健康危機管理：健康危機管理の基本、フェーズに対応した保健活動 9/29(月)4限 S201 (担当：堀内) 第6回 災害時における保健師・保健師管理者の役割 9/29(月)5限 S201 (担当：堀内) 第7回 演習①新規事業の企画：企画書の作成 (1) (グループワーク) 10/6(月)3限 S300 (担当：依田、吉澤、堀内) 第8回 演習①新規事業の企画：企画書の作成 (2) (グループワーク) 10/6(月)4限 S300 (担当：依田、吉澤、堀内) 第9回 演習①新規事業の企画：企画書の作成 (3) (グループワーク) 10/6(月)5限 S300 (担当：依田、吉澤、堀内) 第10回 演習①新規事業の企画：ヒアリング準備 (1) (グループワーク) 10/20(月)3限 S300 (担当：依田、吉澤、堀内) 第11回 演習①新規事業の企画：ヒアリング準備 (2) (グループワーク) 10/20(月)4限 S300 (担当：依田、吉澤、堀内) 第12回 演習①新規事業の企画：ヒアリング準備 (3) (グループワーク) 10/20(月)5限 S300 (担当：依田、吉澤、堀内) 第13回 演習①グループ発表 (1) 10/27(月)3限 S300 (担当：宮崎、依田、吉澤、堀内) 第14回 演習①グループ発表 (2) 10/27(月)4限 S300 (担当：宮崎、依田、吉澤、堀内) 第15回 まとめ 施策化・政策化と保健師 10/27(月)5限 S300 (担当：宮崎)		
教科書	1. 荒賀直子、後関容子編 公衆衛生看護学.jp 第5版データ更新版 インターメディカル 2. 宮崎美砂子他編 最新 公衆衛生看護学各論2 第3版2024年版 日本看護協会出版会		
参考図書	1. 麻原きよみ編 公衆衛生看護学テキスト1 公衆衛生看護学原論 第2版 医歯薬出版 2. 佐伯和子編 公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護の方法と技術 第2版 医歯薬出版 3. 宮崎美砂子他編 最新 公衆衛生看護学総論 第3版 日本看護協会出版会 その他、授業で提示します		
予習・復習内容	事前に授業内容に該当する教科書・参考図書を読んで参加してください		
成績評価方法	演習成果物 40%、定期試験（レポート）60%		
履修上の注意	なし		
担当教員への連絡方法	初回授業で連絡します		
授業に関する大学教員以外の実務経験	保健師・助産師・看護師（市町村・都道府県・病院）の実務経験		

実務経験と授業科目の関連性	行政保健師等の実務経験があり、経験を踏まえ事例を交えながら科目を展開することができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (保健師課程) 公衆衛生看護管理論

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	3単位	選択
担当教員			
依田 明子、吉澤 恵子、堀内 和子			
	授業形態：実習	主要授業科目：○	
添付ファイル			

授業目標	特定の個人および集団を対象に、地域診断に基づく保健活動の計画立案・実施、評価、事業や取組等の提案を行い、公衆衛生看護の実践力を習得する。
学修目標	1. 公衆衛生看護の対象となる人々および場を理解することができる。 2. 基礎的な知識や技術を統合した、公衆衛生看護の展開を理解できる。 3. 他職種・他部署・他機関・地域住民等との協働・連携の重要性と実際を理解できる。 4. 保健師の役割を考え、専門性を深めることができる。
授業計画	実習内容 実習オリエンテーション 保健所等実習(5日間)、市町村保健センター等実習(10日間) グループディスカッション(学内)と実習報告会(グループ発表) 実習方法 ・保健所、精神保健福祉センター、保健センター・地域包括支援センター等において実習を行う。 ・実習先の都道府県・市町村が行っている保健福祉行政の特性と保健活動について理解する。 ・個人家族、あるいは健康課題を持つ集団に対する支援について、見学及び一部補助の実施をとおして、公衆衛生看護活動の実際と保健師の役割を学ぶ。 ・個人家族が主体的に問題解決できるよう、発達段階に応じた支援方法を考える。 ・地域診断に基づいた地域特性と健康課題に基づく保健事業、公衆衛生看護活動の関連を理解する。 ・地域住民が健康な生活を送るための地域ケアシステム、健康管理のシステムについて理解し、地域特性に基づいた公衆衛生看護を考える。 実習場所 長野保健福祉事務所/北信保健福祉事務所/長野市保健所/長野市北部保健センター/長野市三陽保健センター/長野市吉田保健センター/長野市東部保健センター/長野市西部保健センター/長野市厚南保健センター/長野市真島保健センター/飯山市保健センター/千曲市更埴保健センター/須坂市保健センター/須坂市地域包括支援センター/坂城町保健センター
教科書	荒賀直子、後閑容子編 公衆衛生看護学.jp 第5版データ更新版 インターメディカル
参考図書	実習オリエンテーションで提示します
予習・復習内容	・実習開始前のオリエンテーションで、実習方法の確認を行うこと。 ・実習要項を熟読し、記載内容を十分に理解すること。 ・これまで講義・演習で学んだ内容について復習すること(教科書、配布資料は少なくとも精読する)。 ・実習先の市町村に関する地域診断を通して地域特性と健康課題を把握しておくこと。ただし、地域診断結果は、実習期間中に修正・追加等を行い、アセスメントを深めること。 ・実習終了後は、実習記録の整理、課題レポートの作成を個人で行うとともに、グループで作成する資料はリーダーがまとめ、期日までに提出すること。
成績評価方法	目標の達成度100% (実習60%、提出物40%による総合評価)
履修上の注意	保健師課程を選択した者のみ 単位を取得していることが必要な科目：公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学活動論、公衆衛生看護学方法論Ⅰ、公衆衛生看護学方法論Ⅱ、公衆衛生看護管理論
担当教員への連絡方法	実習オリエンテーションで提示します
授業に関する大学教員以外の実務経験	病院看護師・保健師（地域健康管理活動）行政保健師（市町村）
実務経験と授業科目の関連性	病院看護師・保健師、地域健康管理活動等の実務経験があり、経験を踏まえ事例を交えながら科目を展開することができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (保健師課程) 臨地実習 公衆衛生看護活動展開論実習 別表1 (保健師課程) 臨地実習 公衆衛生看護管理論実習

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4年	2単位	選択
担当教員			
依田 明子、堀内 和子、吉澤 恵子			
	授業形態：実習		
添付ファイル			

授業目標	学校保健や職域保健において、特定の集団を対象に、地域診断に基づく保健活動の計画立案・実施、評価、事業や取組等の提案を行い、公衆衛生看護の実践力を習得する。
学修目標	1. 対象となる児童生徒の理解、学校保健活動と養護教諭の役割を理解できる。 2. 働く人々の理解、産業保健活動と産業保健師の役割を理解できる。 3. 基礎的な知識や技術を統合した、健康課題の適切な判断と対応方法を理解できる 4. 組織・チームの一員としての役割、他職種・関係者・関係機関との協働・連携の実際と重要性を理解できる
授業計画	実習内容 実習オリエンテーション、グループワーク(学内) 小中学校実習(5日間) 企業等(3日) グループディスカッション(学内)と実習報告会(グループ発表) 実習方法 ・小中学校、企業等において実習を行う。 【学校保健】 ・ 配当学級での活動や授業参観を通して、児童生徒の理解を深める。 ・ 学校保健活動の見学及び一部補助を実施し、活動の実際と養護教諭の役割を学ぶ。 ・ 健康上のリスクをもつ児童生徒への支援の実際を学ぶ。 【産業保健】 ・ 働く場や労働の特徴を知り、健康課題について理解する。 ・ 各実習施設の産業保健活動の実際と役割について学びを深める。 ・ 働く人々の健康課題に対して行われている産業保健師の健康支援の具体を学ぶ。 ・ 働く人々の労働と健康の調和に果たす産業保健師の役割と活動のあり方を考える。 ・ 関係機関や関係職種との連携、学校保健や職域保健と地域との連携の実際と重要性を理解する。 実習場所 長野産業保健総合支援センター/長野県総務部職員課/長野県教育委員会保健厚生課/長野県警察本部厚生課/(株)八十二銀行/(株)みすずコーポレーション/大日本法令印刷(株)/オリオン機械株式会社/エムケー精工株式会社/山洋電気(株)上田営業所 川中島中学校/東北中学校/広徳中学校/昭和小学校/川中島小学校/青木島小学校/下米飽小学校/三本柳小学校/真島小学校/共和小学校
教科書	1. 荒賀直子、後閑容子編 公衆衛生看護学.jp 第5版データ更新版 インターメディカル 2. 宮崎美砂子他編 最新 公衆衛生看護学各論2 第3版2024年版 日本看護協会出版会
参考図書	実習オリエンテーションで提示します
予習・復習内容	・ 実習開始前のオリエンテーションで、実習方法の確認を行うこと ・ 実習要項を熟読し、記載内容を十分に理解すること。 ・ これまで講義・演習で学んだ内容について復習すること(教科書、配布資料は少なくとも精読する)。 ・ 実習先の概要と事業内容等を事前に把握しておくこと。 ・ 実習終了後は、実習記録の整理、課題レポートの作成を個人で行うとともに、グループで作成する資料はリーダーがまとめ、期日までに提出すること
成績評価方法	目標の達成度100% (実習60%、提出物40%による総合評価)
履修上の注意	保健師課程を選択した者のみ 単位を取得していることが必要な科目：公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護学活動論、公衆衛生看護学方法論Ⅰ、公衆衛生看護学方法論Ⅱ、公衆衛生看護管理論
担当教員への連絡方法	実習オリエンテーションで提示します
授業に関する大学教員以外の実務経験	行政保健師(都道府県)、地域保健行政での実務経験あり
実務経験と授業科目の関連性	行政での実務経験(含健康管理活動)があり、経験を踏まえ事例を交えながら科目を展開することができる。
指定規則の位置付け	保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める別表の種類と教育内容 別表1 (保健師課程) 臨地実習 個人・家族・集団・組織の支援実習